

令和元年度

「家庭教育に関する調査」 報告書

～ 回答に見える特徴的なデータ ～

この報告書は、秋田県教育委員会が令和元年度に実施した「家庭教育に関する調査」の回答と特徴的なデータについて紹介するものです。

令和元年3月に発行した「グラフで見る秋田の家庭教育」とあわせてご活用ください。

秋田県生涯学習センター

－ 目 次 －

1	実施要項	1
2	調査用紙	2
3	回答集	
問1	現在の子どもを取り巻く環境について	8
問2	ご自身の子育てについて	1 3
問3	ご自身の子育てについて、力を入れていると思うこと	2 1
問4	家庭の教育（しつけ等）についての悩みや不安について	3 2
問5	家庭教育への行政の支援について	3 5
問6	「家庭の教育力が低下しているのではないか」という意見について	4 0
問7	家庭教育に関する情報の入手先について	4 3
問8	子どもと一緒に過ごす時間について	6 2
問9	平日、子どもと一緒に過ごす時間について	6 6
問10	子どもを含めた家族とのコミュニケーションについて	6 8
	自由記述	7 0
	「家庭教育について日頃感じていることや、PTA・地域団体等、 学校教育、行政に対する要望、考えていることや感じていること」	

【 付 録 】 グラフでみる秋田の家庭教育（令和2年3月発行）

1 実 施 要 項

家庭教育に関する調査 実施要項

秋田県生涯学習センター

1 調査の目的

家庭を取り巻く環境の変化にともない、家庭の教育力低下等が指摘される現状や、メディア対策、父親の子育て参加といった現代的課題も踏まえ、幼児期から思春期までの家庭教育の状況や、保護者の意識と実態を把握する。

また、今回の調査結果について、平成18年度及び平成24年度の実施結果と比較し、状況の推移を把握した上で、学校と家庭のあり方、PTAや社会教育団体と家庭教育のあり方、行政の家庭教育支援の方策等について、基礎資料を得ることも目的とする。

2 調査時期及び回数

令和元年10月18日（金）から11月7日（木）間の1回

3 調査の対象および内容

県内の幼稚園・保育所及び認定こども園、小学校、中学校、高等学校の4歳、7歳、10歳、13歳、16歳の幼児・児童・生徒の保護者に対して、家庭教育に関する意識・実態を調査する。

年齢	学校種類（学年）	調査人数
4歳	幼稚園・保育所・認定こども園	140人
7歳	小学校（2年生）	160人
10歳	小学校（5年生）	180人
13歳	中学校（2年生）	180人
16歳	高等学校（2年生）	200人

※「調査人数」は
各年齢人口の
約2.5%

4 調査実施校の抽出方法

（1）幼稚園・保育所及び認定こども園保護者の調査を依頼する園・所は、都市部と農山村部等のバランスを考慮して、幼保推進課と県生涯学習センターが選定する。

（2）小・中学校保護者の調査を依頼する学校は、都市部と農山村部等のバランスを考慮して、各教育事務所と県生涯学習センターが選定する。

	小2	小5	中2
北管内	30名程度	30名程度	40名程度
中央管内	80名程度	100名程度	90名程度
南管内	50名程度	50名程度	50名程度

（3）高等学校保護者の調査を依頼する学校は、都市部と農山村部等のバランスを考慮して、高校教育課と県生涯学習センターが選定する。

5 調査依頼及び手順

（1）対象の幼稚園・保育所及び認定こども園、高等学校へは、県生涯学習センターが依頼及び調査票を送付する。調査実施園・校は、幼児・生徒を通じて調査用紙を保護者へ配布・回収後、県生涯学習センターへ提出する。

（2）対象の小学校・中学校へは、県生涯学習センターが依頼及び調査票を送付する。調査実施校は、児童・生徒を通じて調査用紙を保護者へ配布・回収し、県生涯学習センターへ提出する。

（3）集計は、県生涯学習センターで行う。

2 調査用紙

家庭教育に関する調査

令和元年10月
秋田県生涯学習センター

この調査は、家庭教育支援の充実に向け、県教育委員会の施策を考える上での基礎資料とするために、実施するものです。学校や個人が特定されることはありませんので、安心してご回答ください。

回答は、保護者の方がこの用紙に直接ご記入のうえ、別添の封筒に封入して、11月1日（金）までに学校へ提出してください。

どうぞよろしくお願いいたします。

□はじめに

ご回答くださる方について、それぞれあてはまるものを1つだけ選んで数字に○をつけてください。

①回答者は、この調査用紙を持ち帰られたお子様からみてどなたですか。

1) 父親 2) 母親 3) 祖父 4) 祖母 5) 1～4以外の家族

②回答者の年齢は、次のうちどれにあてはまりますか。

1) 20代 2) 30代 3) 40代 4) 50代 5) 60代以上

□問Ⅰ－Ⅰ あなたは現在の子どもを取り巻く環境について、総合的に見てどのように感じますか。

次の項目からあてはまるものを1つだけ選んで数字に○をつけてください。

- 1) 良い
- 2) どちらかといえば良い
- 3) どちらかといえば良くない
- 4) 良くない
- 5) 分からない

□問Ⅰ－Ⅱ 現在の子どもを取り巻く環境について、あなたが良いと感じるのは、どのような点ですか。

次の項目からあてはまるものをいくつでも選んで数字に○をつけてください。

- 1) さまざまな学びや体験をする機会・場がたくさん用意されている点
- 2) 経済的に豊かになり、生活が便利になっている点
- 3) 近所の人など、子どもを取り巻く人たちとの関わりがある点
- 4) 学校（園）が子どもに気を配り、きちんと教育してくれている点
- 5) インターネットの普及などで情報化が進み、視野や知識を拓けるのが容易となっている点
- 6) 子育て施設の充実など、環境の整備が進み、子育てがしやすくなっている点
- 7) 父親の子育て参加が奨励されるなど、子育てに対する社会的な意識が高まっている点
- 8) その他（)

□問１－３ 現在の子どもを取り巻く環境について、あなたが良くないと感じるのは、どのような点ですか。

次の項目からあてはまるものをいくつでも選んで数字に○をつけてください。

- 1) 小さいうちから受験勉強に追われざるを得なくなっている点
- 2) 親が子どもに接する時間が十分とれなくなっている点
- 3) 世の中が物騒になり、子どもの安全が脅かされている点
- 4) 子どもの遊び場が制限され、遊ぶ環境が豊かでなくなっている点
- 5) 近所の人や地域の住民が、子どもに無関心になっている点
- 6) 子どもが成長の過程で多様な経験を積むことが難しくなっている点
- 7) 情報やモノが氾濫し、親や学校の価値観が伝わりにくくなっている点
- 8) 少子化の影響で、一緒に遊ぶ兄弟や友達が少なくなっている点
- 9) 経済情勢や少子高齢化など、将来に向けて明るい希望がもちにくくなっている点
- 10) インターネットがより身近になり、子どもが有害情報やネット犯罪の危機にさらされている点
- 11) その他 ()

□問２ あなたご自身の子育てについて、次のように思うことがありますか（またはありましたか）。

各項目の思いの程度について、該当する数字に○をつけてください。

	思う	やや 思う	あまり 思わない	思わない
1) 我慢することがたくさんある（あった）	1	2	3	4
2) よくわからないことがたくさんある（あった）	1	2	3	4
3) 楽しく子育てができる（できた）	1	2	3	4
4) 生きがいをもって子育てができる（できた）	1	2	3	4
5) 子育てはもう二度としたくない	1	2	3	4
6) 厳しくしすぎた	1	2	3	4
7) 甘やかしすぎた	1	2	3	4

□問３ あなたご自身の子育てについて、力を入れている（または入れてきた）と思うことがありますか。

各項目の思いの程度について、該当する数字に○をつけてください。

	思う	やや 思う	あまり 思わない	思わない
1) なんでも家族でよく話し合う	1	2	3	4
2) 子どもの手本となる生き方や考え方を示す	1	2	3	4
3) 早寝早起き朝ごはんなど、良い生活習慣を身につけさせる	1	2	3	4
4) ルールやきまりの大切さをしっかり教え、守らせる	1	2	3	4
5) 良いことをした時は、しっかりとほめる	1	2	3	4
6) 悪いことをした時は、厳しく叱る	1	2	3	4
7) 一緒に遊んだり出かけたり、家族で一緒に楽しむ時間をもつ	1	2	3	4
8) 本の読みきかせをしたり、勉強を見たりしている	1	2	3	4
9) 年中行事や誕生日など、家族の行事を大切にする	1	2	3	4
10) 子どもが将来の夢を叶えられるよう、応援し、励ます	1	2	3	4

□問4-1 あなたは家庭での教育(しつけ等)について、悩みや不安がありますか。
次の項目からあてはまるものを1つだけ選んで数字に○をつけてください。

- | | | |
|--------------|---|------------------------------|
| 1) 非常にある | } | 1) 2) を選んだ方は、問4-2へ進んでください |
| 2) 多少ある | | |
| 3) あまりない | } | 3) 4) 5) を選んだ方は、問5-1へ進んでください |
| 4) 全くない | | |
| 5) どちらともいえない | | |

□問4-2 問4-1で 1) または 2) と答えた方にお聞きます。どのような悩みや不安がありますか。
次の項目からあてはまるものをいくつでも選んで数字に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--|
| 1) 早寝早起きなどの生活習慣のこと | 9) 性格や考え方、人との接し方などのこと |
| 2) 子どもの健康・体力、発達などのこと | 10) 子どもとのふれあいやコミュニケーション、親子の信頼関係などのこと |
| 3) 子どもの友人関係などのこと | |
| 4) 非行や反抗期などのこと | 11) 配偶者や家族の協力や教育方針などのこと |
| 5) 子どものしつけ方や、マナーなどのこと | 12) テレビ・ゲーム・インターネットといった、メディアとの付き合い方などのこと |
| 6) 勉強や進学、将来の進路のこと | |
| 7) いじめ・引きこもり・不登校などのこと | 13) 学校・園や、先生との関係づくりなどのこと |
| 8) 教育情報の入手や、相談相手などのこと | 14) その他 () |

□問5-1 あなたは、家庭教育について行政の支援は必要だと思いますか。
次の項目からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

家庭教育支援の具体例については「問5-2」の項目を参照してください。

- | | | |
|------------|---|---------------------------|
| 1) 思う | } | 1) 2) を選んだ方は、問5-2へ進んでください |
| 2) ある程度思う | | |
| 3) あまり思わない | } | 3) 4) を選んだ方は、問5-3へ進んでください |
| 4) 思わない | | |
| 5) 何ともいえない | } | 5) を選んだ方は、問6-1へ進んでください |

□問5-2 問5-1で 1) または 2) と答えた方にお聞きます。どのような支援が必要だと思いますか。
次の項目からあてはまるものをいくつでも選んで数字に○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1) 各種施設を開放する | 7) 子どもが日常的に集まれる場をつくる |
| 2) 何でも気軽に相談できる場をつくる | 8) 家庭では体験できない活動の場をつくる |
| 3) 子どもの自由時間を充実させる | 9) 地域の人々が親しくなれる場や機会をつくる |
| 4) 社会環境の浄化に努める | 10) 身近に相談できる人材を確保する |
| 5) 子育て等のサークル活動を充実させる | 11) 家庭教育等の知識を習得できる機会を提供する |
| 6) 子どもが参加できるグループをつくる | 12) その他 () |

□問5－3 問5－1で3)または4)と答えた方にお聞きします。支援が必要ないと考える理由について、次の項目からあてはまるものをいくつでも選んで数字に○をつけてください。

- 1) 家庭で行う教育に、行政はあまり関与すべきでないと考えるため
- 2) 育児書やインターネットが普及しており、親が自分で情報を得られる時代であるため
- 3) 家庭教育支援よりも、他に優先して行うべき施策があると考えため
- 4) 行政で行う支援には、あまり効果が期待できないため
- 5) その他 ()

□問6－1 近年、「家庭の教育力が低下しているのではないか」という意見がありますが、あなたはどのように思いますか。次の項目からあてはまるものを1つだけ選んで数字に○をつけてください。

- | | | |
|-------------|---|----------------------------|
| 1) そう思う | } | 1) 2) を選んだ方は、問6－2へ進んでください |
| 2) ある程度そう思う | | |
| 3) あまり思わない | } | 3) 4) 5) を選んだ方は、問7へ進んでください |
| 4) 思わない | | |
| 5) 何ともいえない | | |

□問6－2 問6－1で1)または2)と答えた方にお聞きします。低下の理由について、次の中であてはまるものをいくつでも選んで数字に○をつけてください。

- 1) テレビ・ゲーム・インターネットなどのメディアによる影響
- 2) 親に対する子どもの信頼感の低下
- 3) 親子がふれあい、一緒に行動する機会の不足
- 4) 子どもが親以外の大人（祖父母や近所の人）とふれあう機会の不足
- 5) 過保護、甘やかしすぎや過干渉な親の増加
- 6) しつけや教育に無関心な親の増加
- 7) しつけや教育に自信をもてない親や、やり方がわからない親の増加
- 8) しつけや教育について、悩んだ時に相談する相手や場が不足
- 9) 学校や塾など外部の教育機関に、しつけや教育を過度に依存する親の増加
- 10) 父親の存在感の低下
- 11) 共働きの増加や長時間の勤務など、親の仕事の多忙化
- 12) 働く親の姿を知る機会の不足
- 13) わからない
- 14) その他 ()

□問7 あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報をどこから(または誰から)得ていますか。
記入例にならい、【情報の入手先(選択肢)】から主なものを3つまで選んで記入してください。

- (例) 早寝早起きなどの生活習慣 (い ・ か ・ け)
- 1) 早寝早起きなどの生活習慣 (. .)
 - 2) あいさつやしつけ、マナー (. .)
 - 3) 遊び場や子育て施設の情報 (. .)
 - 4) 各種行政サービスの情報 (. .)
 - 5) 相談窓口やサークルの情報 (. .)
 - 6) 講座や研修会などの学習機会 (. .)
 - 7) 勉強、進学、進路 (. .)
 - 8) 子どもの健康や体力、医療 (. .)
 - 9) 子どもとのコミュニケーション (. .)
 - 10) 親子で参加できる行事やイベント (. .)

- 【情報の入手先(選択肢)】
- あ 夫や妻
 - い 友人、知人
 - う 祖父母、親族
 - え 育児雑誌、書籍
 - お 新聞、テレビ、ラジオ
 - か インターネット
 - き 各種講座、研修会、講演会
 - く 学校(園)、教職員、PTA
 - け 市町村の広報紙、回覧板
 - こ 役場窓口、公民館など公的機関
 - さ パンフレットなどの公的発行物
 - し 情報を得ていない

□問8 あなたが、子どもと一緒に過ごす時間はどれくらいですか。(別室で過ごす時間は除く)
平均的なものを1つ選んで、数字に○をつけてください。

- | | | | |
|------|-----------|------|-----------|
| 【平日】 | 1) ほとんどない | 【休日】 | 1) ほとんどない |
| | 2) 1時間未満 | | 2) 1時間未満 |
| | 3) 1～3時間 | | 3) 1～3時間 |
| | 4) 3～5時間 | | 4) 3～5時間 |
| | 5) 5時間以上 | | 5) 5時間以上 |

□問9 あなたが平日、子どもと一緒に過ごす時間としてあてはまるのは、主にどのようなことですか。
次の項目からあてはまるものを3つまで選んで数字に○をつけてください。

- | | | |
|------------------|---------------|-----------------|
| 1) 家族そろっての食事 | 6) テレビ等を一緒に見る | 11) 家族団らんの時間 |
| 2) 家事を一緒にする | 7) 勉強を見る | 12) ペットの世話 |
| 3) 家族で出かける | 8) 家族でスポーツ、散歩 | 13) 家族共通の趣味を楽しむ |
| 4) ゲームを一緒にする | 9) 一緒に本を読む | 14) インターネットの閲覧 |
| 5) 携帯・パソコンのメール利用 | 10) その他 () | |

□問10 あなたは子どもを含め、家族とのコミュニケーションをどのようにとりたいと考えていますか。
当てはまるものをいくつでも選んで数字に○をつけてください。

- | | | |
|------------------|---------------|-----------------|
| 1) 家族そろっての食事 | 6) テレビ等を一緒に見る | 11) 家族団らんの時間 |
| 2) 家事を一緒にする | 7) 勉強を見る | 12) ペットの世話 |
| 3) 家族で出かける | 8) 家族でスポーツ、散歩 | 13) 家族共通の趣味を楽しむ |
| 4) ゲームを一緒にする | 9) 一緒に本を読む | 14) インターネットの閲覧 |
| 5) 携帯・パソコンのメール利用 | 10) その他 () | |

☆ あなたが家庭教育について日頃感じていることや、PTA・地域団体等、学校教育、行政に対する要望、考えていることや感じていることなど、ご自由にお書きください。

調査は以上で終わりです。

この調査用紙と一緒に配布された封筒に封入して、
11月1日（金）までに学校へ提出してください。

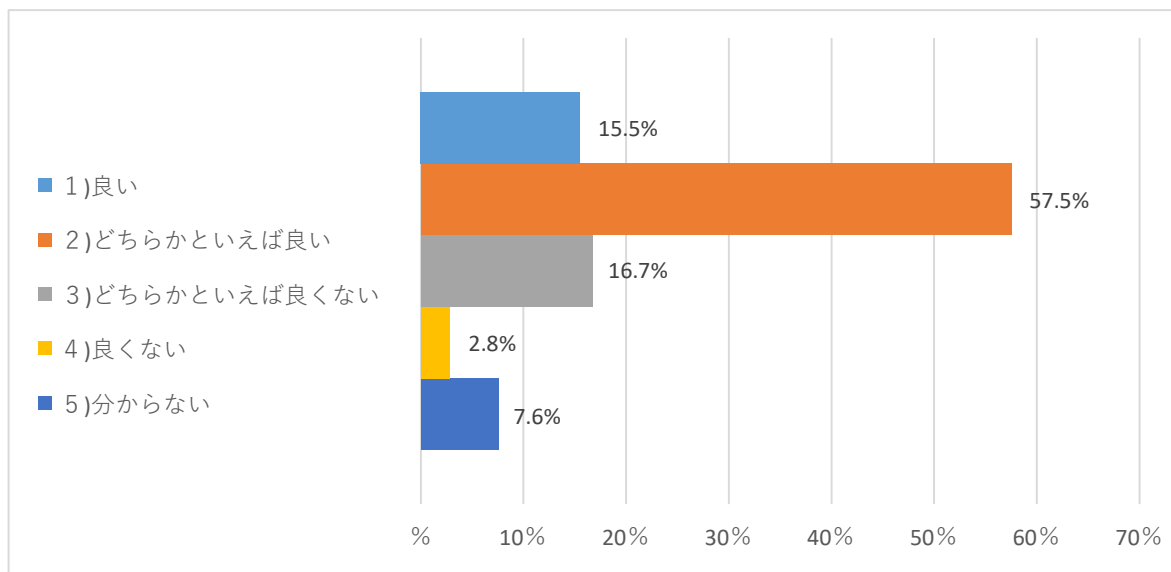
このたびは、ご協力ありがとうございました。

3 回 答 集

問1－1

あなたは現在の子どもを取り巻く環境について、総合的に見てどのように感じますか。

項目	回答数	割合
1)良い	129	15.5
2)どちらかといえば良い	478	57.4
3)どちらかといえば良くない	139	16.7
4)良くない	23	2.8
5)分からない	63	7.6
合計	832	100



[回答にみえる特徴的なデータ]

<都市部と農村部における回答の比較>

・特徴的な差は見られなかった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

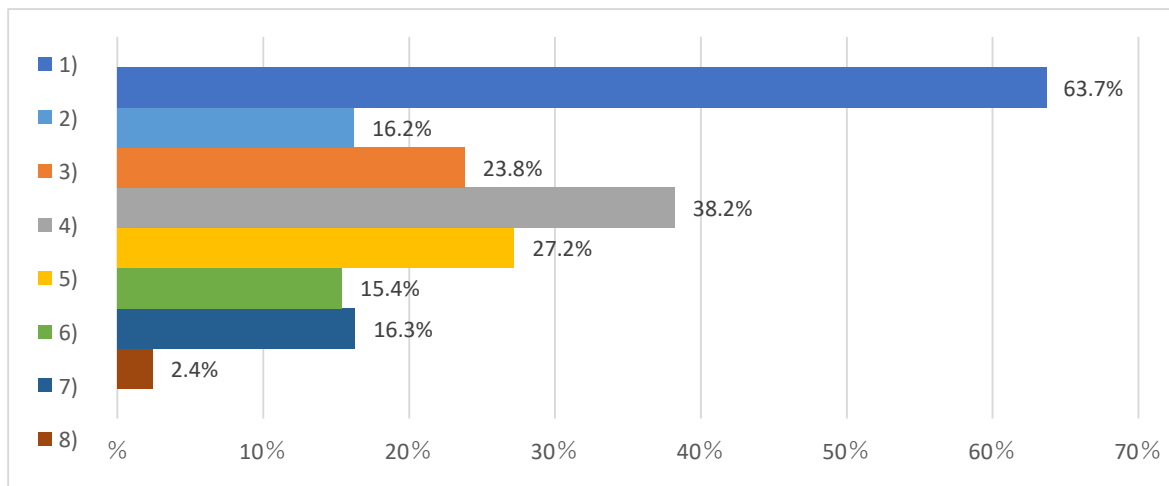
・特徴的な差は見られなかった。

問1－2

現在の子どもを取り巻く環境について、あなたが良いと感じるのは、どのような点ですか。

総回答者数：798人

項目	回答数	割合
1) さまざまな学びや体験をする機会・場がたくさん用意されている点	508	63.7
2) 経済的に豊かになり、生活が便利になっている点	129	16.2
3) 近所の人など、子どもを取り巻く人たちとの関わりがある点	190	23.8
4) 学校（園）が子どもに気を配り、きちんと教育してくれている点	305	38.2
5) インターネットの普及などで情報化が進み、視野や知識を拓けるのが容易となっている点	217	27.2
6) 子育て施設の充実など、環境の整備が進み、子育てがしやすくなっている点	123	15.4
7) 父親の子育て参加が奨励されるなど、子育てに対する社会的な意識が高まっている点	130	16.3
8) その他	19	2.4
合計	1621	



【その他】（記述）

- ・体罰、いじめ反対の風潮が高まっている点
- ・自然が豊か
- ・環境が良いと感じる点が少ない。
- ・安全に通学できている。
- ・どれも疑問です。
- ・祖父母が居てくれる。
- ・ない。
- ・担任の先生を始め学校の先生方がとても熱心に支援してくれている。
- ・部活動
- ・以前よりも、時間にゆとりがある。
- ・父親が子育てに積極的に参加している。
- ・（子どもを取り巻く環境、という文言が）漠然としすぎている。
- ・私の再婚で叱ってくれる人ができた。でも、私より甘やかしている…と思う。
- ・少子化により大人の目が行き届くようになった。
- ・祖母が家にいるため、学童を利用しなくても良い点

※記載なし 4

<都市部と農村部における回答の比較>

- ・3)4)5)について、都市部と農村部との間に10pt以上の大きな差がみられた。
- ・2)について、農村部で9.1pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・3)について、都市部が10.9pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・4)について、都市部が12.9pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・5)について、農村部が23.0pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

【4歳】

- ・4)は21.5pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・5)は6.4pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。

【7歳】

- ・5)は9.6pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。

【10歳】

- ・6)は6.6pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。

【13歳】

- ・1)は6.4pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・4)は6.4pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。

【16歳】

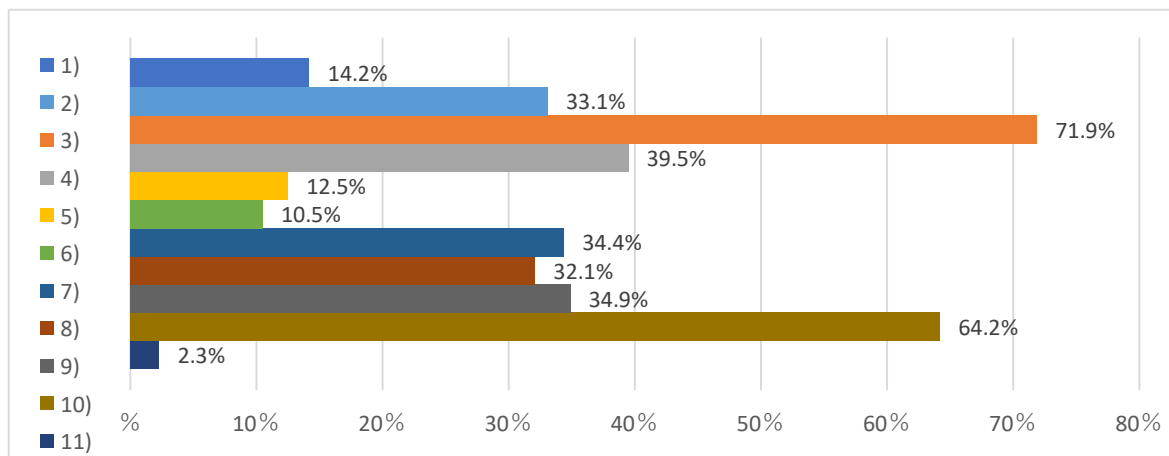
- ・2)は7.8pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・3)は6.7pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・4)は16.5pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・5)は24.0pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

問 1 - 3

現在の子どもを取り巻く環境について、あなたが良くないと感じるのは、どのような点ですか。

総回答者数：825人

項目	回答数	割合
1) 小さいうちから受験勉強に追われざるを得なくなっている点	117	14.2
2) 親が子どもに接する時間が十分とれなくなっている点	273	33.1
3) 世の中が物騒になり、子どもの安全が脅かされている点	593	71.9
4) 子どもの遊び場が制限され、遊ぶ環境が豊かでなくなっている点	326	39.5
5) 近所の人や地域の住民が、子どもに無関心になっている点	103	12.5
6) 子どもが成長の過程で多様な経験を積むことが難しくなっている点	87	10.5
7) 情報やモノが氾濫し、親や学校の価値観が伝わりにくくなっている点	284	34.4
8) 少子化の影響で、一緒に遊ぶ兄弟や友達が少なくなっている点	265	32.1
9) 経済情勢や少子高齢化など、将来に向けて明るい希望が持ちにくくなっている点	288	34.9
10) インターネットがより身近になり、子どもが有害情報やネット犯罪の危機にさらされている点	530	64.2
11) その他	19	2.3
合計	2048	



【その他】（記述）

- ・スーパーやショッピングセンター等に子ども用のトイレや遊び場が他県にくらべ圧倒的に少ない。子ども寄りではなく、どちらかと言えば高齢者寄りなサービスが多い。
- ・学習の前倒して低学年から勉強が大変になっている。
- ・のびのびと暮らせていない気がする。
- ・公共の交通機関が少なく、親の送り迎えて、他の子と交流が少ない。
- ・子どもが自由に行動できる、のんびりできる時間が少ないし、卒からはみ出させないようにまと
- ・山形県のように無料でたくさん遊べる施設（児童館）をもっと作ってほしい。
- ・DVにより子の父と別居して2年になるが、その間養育費の支払いが全くない。籍が入っているため、扶養手当ももらえず、経済的に困るため。
- ・無料の遊び場は車が止められず、利用しにくい。
- ・先生を先生と思わないモンスターが増えている気がする。
- ・学校の統廃合（子供のいない世帯）により、日常で子供を目にする機会が減少した。
- ・ゲームのやりすぎ
- ・物のありがたみが乏しい。ネットの普及で、ハマりすぎて病気か！と言うくらい触ってる。
- ・親がカレンダー通りに仕事を休めているわけではないので、安心して子どもを保育、預かってもら
- ・部活動やスポ少等、やりたくても人数がいなく団体競技に制限ができてしまう。
- ・共働きが増え、親と子どもの過ごす時間が少なくなった点
- ・スマホ等を持つ事が当たり前になり、友達関係が分からない。

※記載なし 3

＜都市部と農村部における回答の比較＞

- ・7)について、農村部が7.2pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・8)について、都市部が18.7pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・9)について、農村部が8.2pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。

＜全回答者に対する各年齢における回答の比較＞

【4歳】

- ・3)は7.7pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・7)は7.0pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・8)は6.0pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・10)は7.5pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。

【7歳】

- ・3)は6.1pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・4)は6.1pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

【10歳】

- ・2)は8.3pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

【13歳】

- ・2)は11.1pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・3)は7.7pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・4)は8.6pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・8)は8.6pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・10)は6.8pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・親の影響による家族で過ごす生活時間の遅延及び地域における遊び場の減少等、身近なことを問題視するのではなく、インターネットなど社会環境を問題視する傾向がみられる。

【16歳】

- ・7)は10.0pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・8)は12.6pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・9)は6.5pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

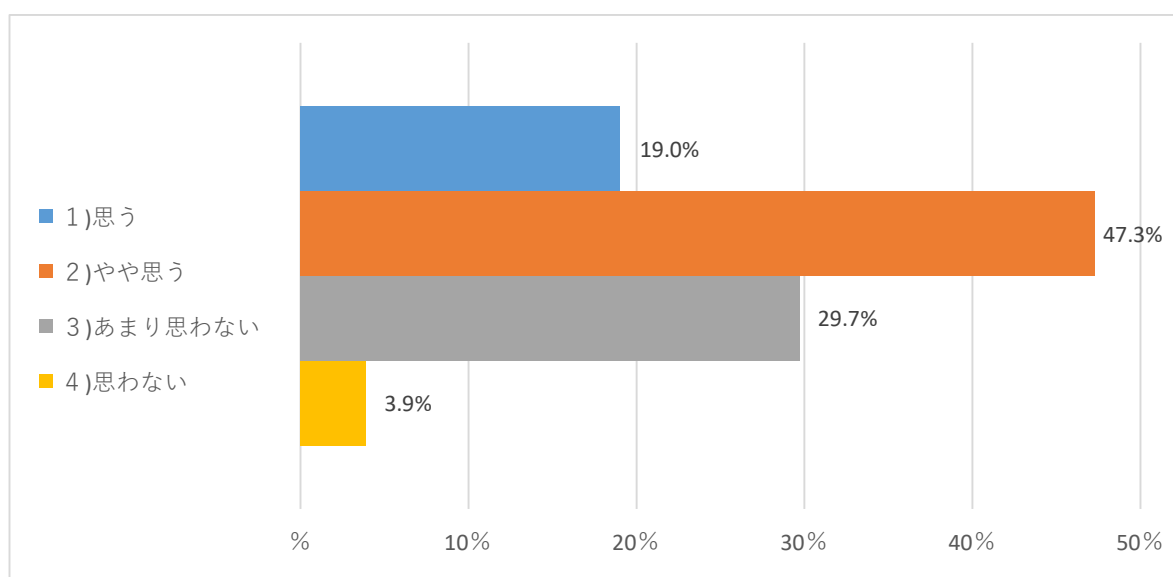
問2（1）

あなたご自身の子育てについて、次のように思うことがありますか。

（またはありましたか）

1)我慢することがたくさんある（あった）

項目	回答数	割合
1)思う	158	19
2)やや思う	393	47.3
3)あまり思わない	247	29.7
4)思わない	32	3.9
	1	0.1
合計	831	100



[回答にみえる特徴的なデータ]

<都市部と農村部における回答の比較>

・特徴的な差は見られなかった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

【7歳】

- ・「思う・やや思う」は6.4pt高い。
- ・「あまり思わない・思わない」は6.3pt低い。

【13歳】

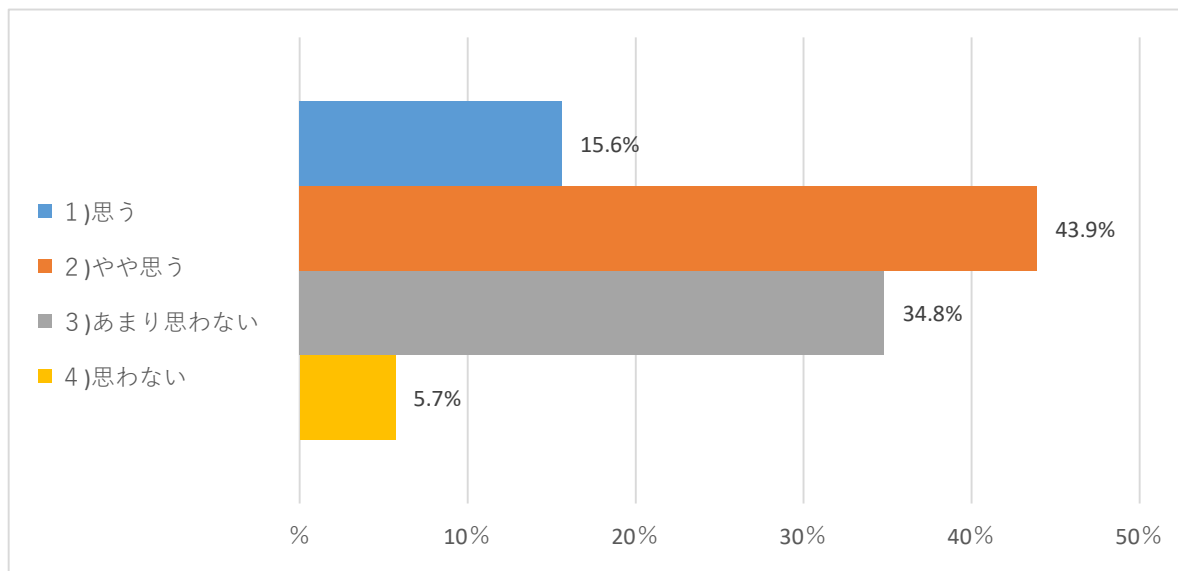
- ・「思う・やや思う」は8.8pt低い。
- ・「あまり思わない・思わない」は8.9pt高い。

問2（2）

あなたご自身の子育てについて、次のように思うことがありますか。
（またはありましたか）

2)よくわからないことがたくさんある（あった）

項目	回答数	割合
1)思う	129	15.6
2)やや思う	362	43.9
3)あまり思わない	287	34.8
4)思わない	47	5.7
合計	825	100



〔 回答にみえる特徴的なデータ 〕

<都市部と農村部における回答の比較>

・特徴的な差は見られなかった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

【13歳】

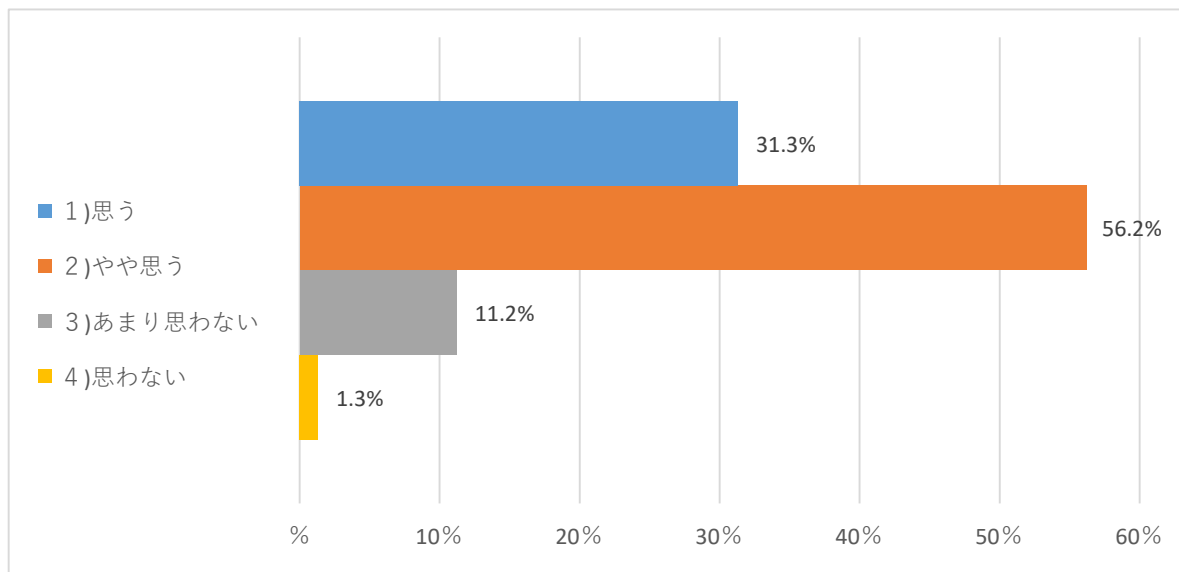
- ・「思う・やや思う」は7.9pt低い。
- ・「あまり思わない・思わない」は7.9pt高い。

問2（3）

あなたご自身の子育てについて、次のように思うことがありますか。
（またはありましたか）

3)楽しく子育てができる（できた）

項目	回答数	割合
1)思う	260	31.3
2)やや思う	466	56.2
3)あまり思わない	93	11.2
4)思わない	11	1.3
合計	830	100



[回答にみえる特徴的なデータ]

<都市部と農村部における回答の比較>

・特徴的な差は見られなかった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

・特徴的な差は見られなかった。

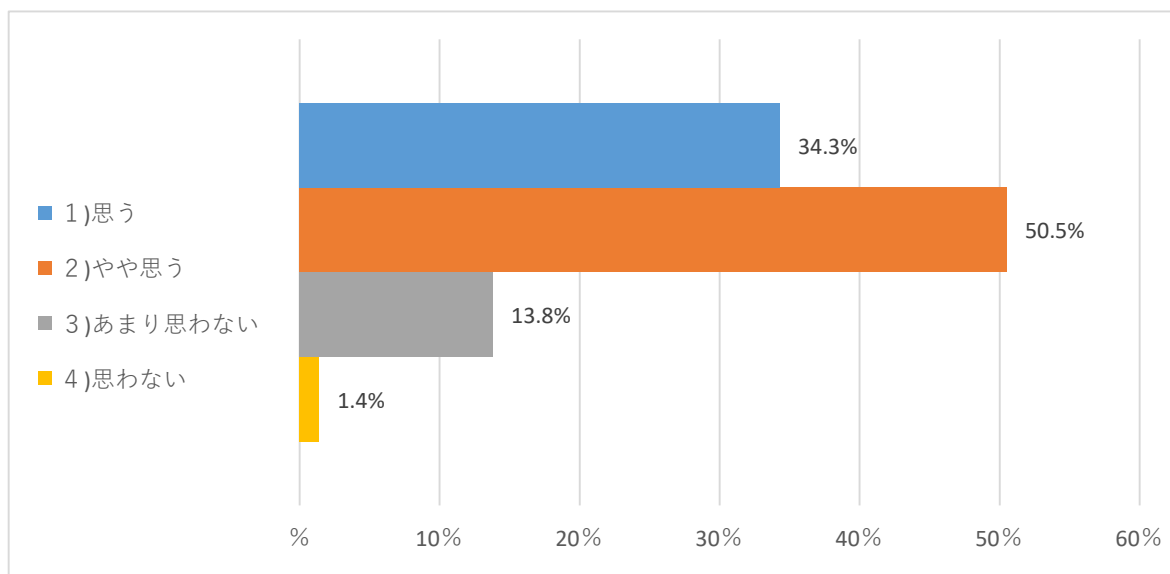
問2（4）

あなたご自身の子育てについて、次のように思うことがありますか。

（またはありましたか）

4)生きがいをもって子育てができる（できた）

項目	回答数	割合
1)思う	284	34.3
2)やや思う	419	50.5
3)あまり思わない	114	13.8
4)思わない	12	1.4
合計	829	100



[回答にみえる特徴的なデータ]

<都市部と農村部における回答の比較>

・特徴的な差は見られなかった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

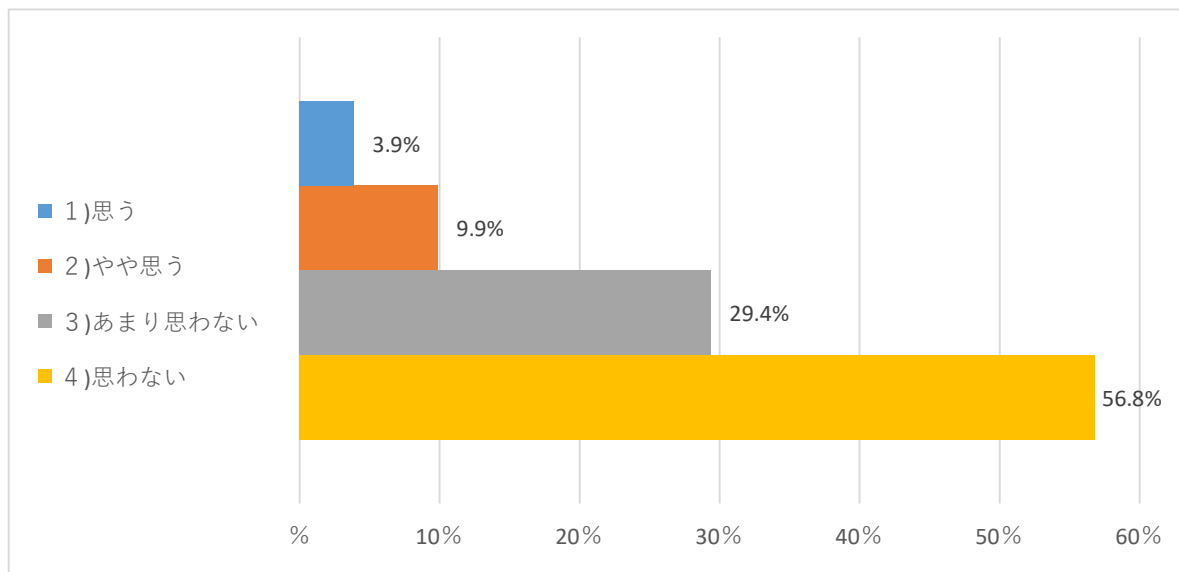
・特徴的な差は見られなかった。

問2（5）

あなたご自身の子育てについて、次のように思うことがありますか。
（またはありましたか）

5)子育てはもう二度としたくない

項目	回答数	割合
1)思う	32	3.9
2)やや思う	82	9.9
3)あまり思わない	244	29.4
4)思わない	473	56.8
合計	831	100



[回答にみえる特徴的なデータ]

<都市部と農村部における回答の比較>

・特徴的な差は見られなかった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

・特徴的な差は見られなかった。

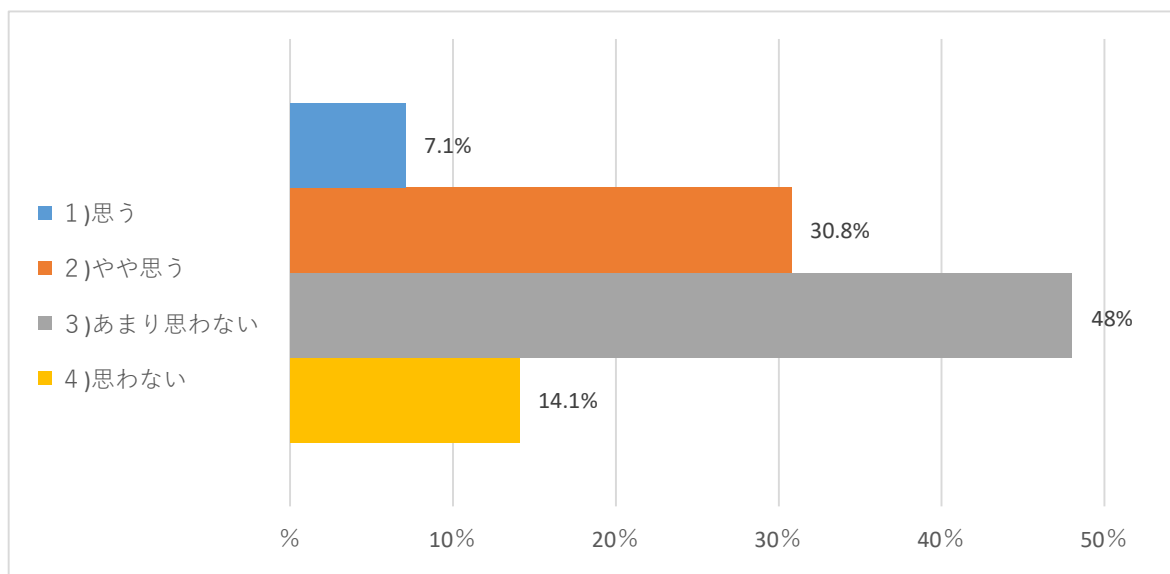
問2（6）

あなたご自身の子育てについて、次のように思うことがありますか。

（またはありましたか）

6)厳しくしすぎた

項目	回答数	割合
1)思う	59	7.1
2)やや思う	255	30.8
3)あまり思わない	396	48
4)思わない	117	14.1
合計	827	100



＜都市部と農村部における回答の比較＞

- ・特徴的な差は見られなかった。

＜全回答者に対する各年齢における回答の比較＞

【４歳】

- ・「思う・やや思う」は11.2pt高い。
- ・「あまり思わない・思わない」は11.1pt低い。
- ・子育てについて、厳しくしすぎたと感じている人が多い。

【７歳】

- ・「思う・やや思う」は6.2pt高い。
- ・「あまり思わない・思わない」は6.1pt低い。
- ・子育てについて、厳しくしすぎたと感じている人が多い。

【１３歳】

- ・「思う・やや思う」は6.2pt低い。
- ・「あまり思わない・思わない」は6.3pt高い。
- ・子育てについて、厳しくしすぎたと感じている人が少ない。

【１６歳】

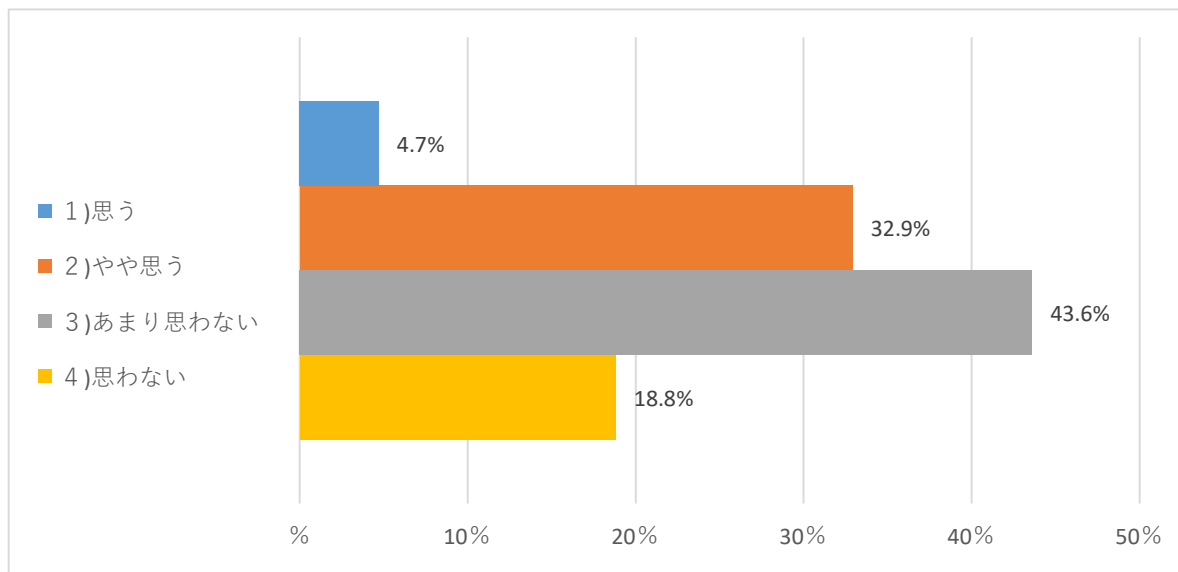
- ・「思う・やや思う」は9.7pt低い。
- ・「あまり思わない・思わない」は9.9pt高い。
- ・子育てについて、厳しくしすぎたと感じている人が少ない。

問2（7）

あなたご自身の子育てについて、次のように思うことがありますか。
（またはありましたか）

7) 甘やかしすぎた

項目	回答数	割合
1) 思う	4	4.7
2) やや思う	28	32.9
3) あまり思わない	37	43.6
4) 思わない	16	18.8
合計	85	100



[回答にみえる特徴的なデータ]

<都市部と農村部における回答の比較>

・特徴的な差は見られなかった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

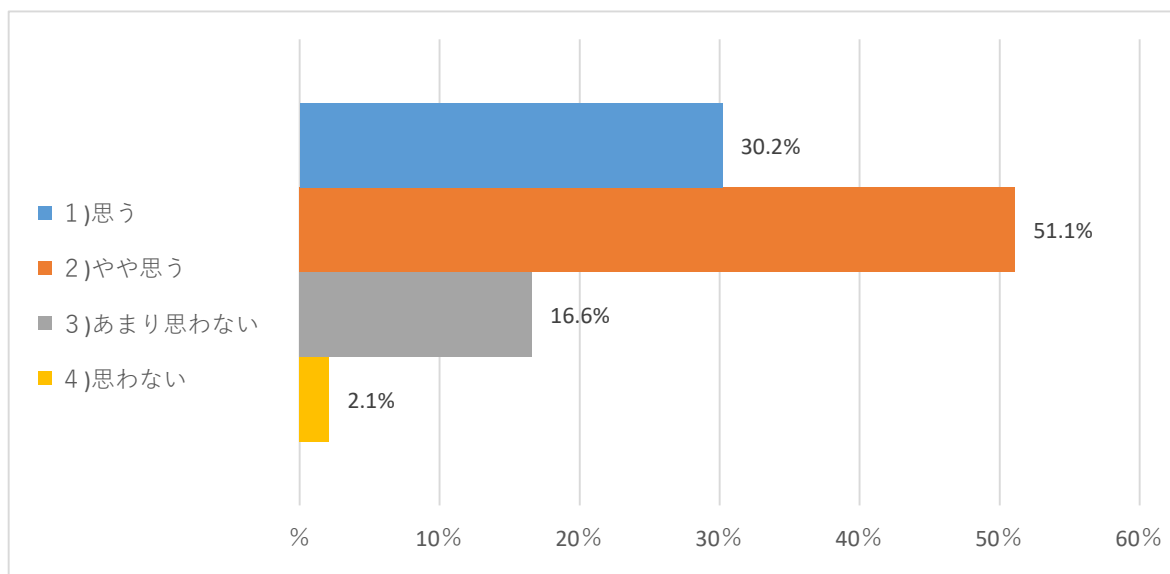
・特徴的な差は見られなかった。

問3（1）

あなたご自身の子育てについて、力を入れている（または入れてきた）と思うことがありますか。

1)なんでも家族でよく話し合う

項目	回答数	割合
1)思う	250	30.2
2)やや思う	423	51.1
3)あまり思わない	137	16.6
4)思わない	17	2.1
合計	827	100



〔 回答にみえる特徴的なデータ 〕

<都市部と農村部における回答の比較>

- ・1)2)について、農村部が7.8pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・3)4)について、農村部が8.1pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

【7歳】

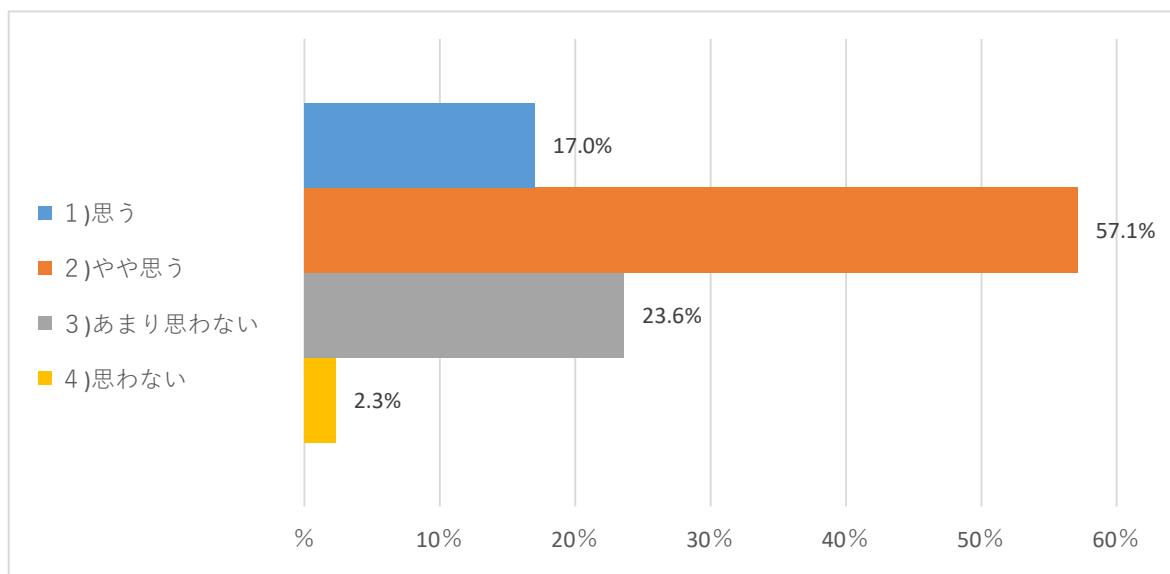
- ・「思う・やや思う」は6pt高い。
- ・「あまり思わない・思わない」は6pt低い。
- ・なんでも家族でよく話し合うという人が多い。

問3（2）

あなたご自身の子育てについて、力を入れている（または入れてきた）と思うことがありますか。

2)子どもの手本となる生き方や考え方を示す

項目	回答数	割合
1)思う	141	17
2)やや思う	474	57.1
3)あまり思わない	196	23.6
4)思わない	19	2.3
合計	830	100



[回答にみえる特徴的なデータ]

<都市部と農村部における回答の比較>

・特徴的な差は見られなかった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

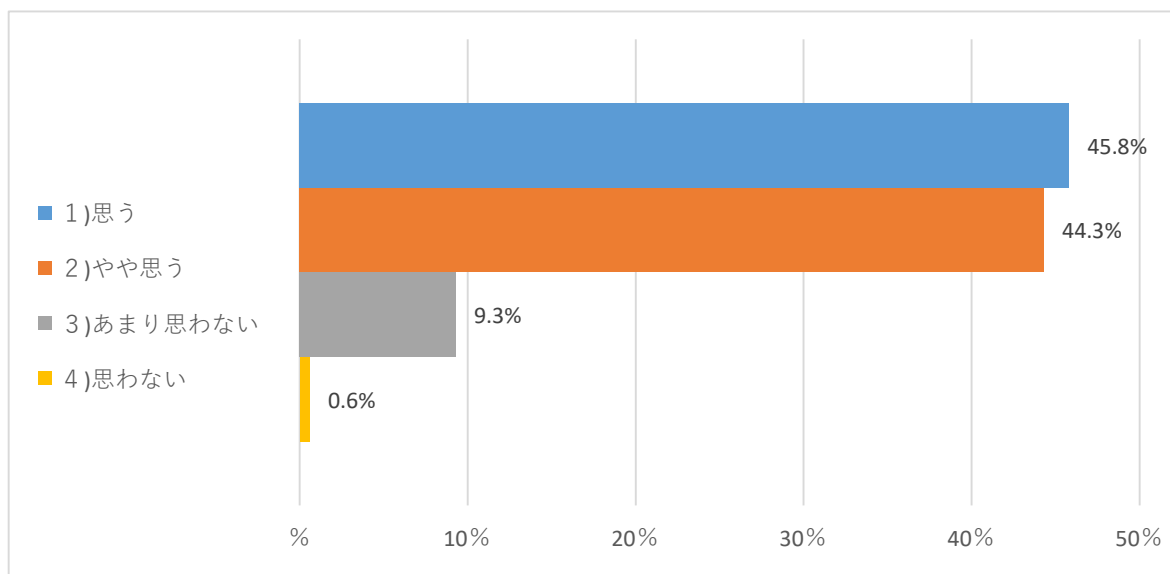
・特徴的な差は見られなかった。

問3（3）

あなたご自身の子育てについて、力を入れている（または入れてきた）と思うことがありますか。

3)早寝早起き朝ごはんなど、良い生活習慣を身につけさせる

項目	回答数	割合
1)思う	380	45.8
2)やや思う	368	44.3
3)あまり思わない	77	9.3
4)思わない	5	0.6
合計	830	100



[回答にみえる特徴的なデータ]

<都市部と農村部における回答の比較>

・特徴的な差は見られなかった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

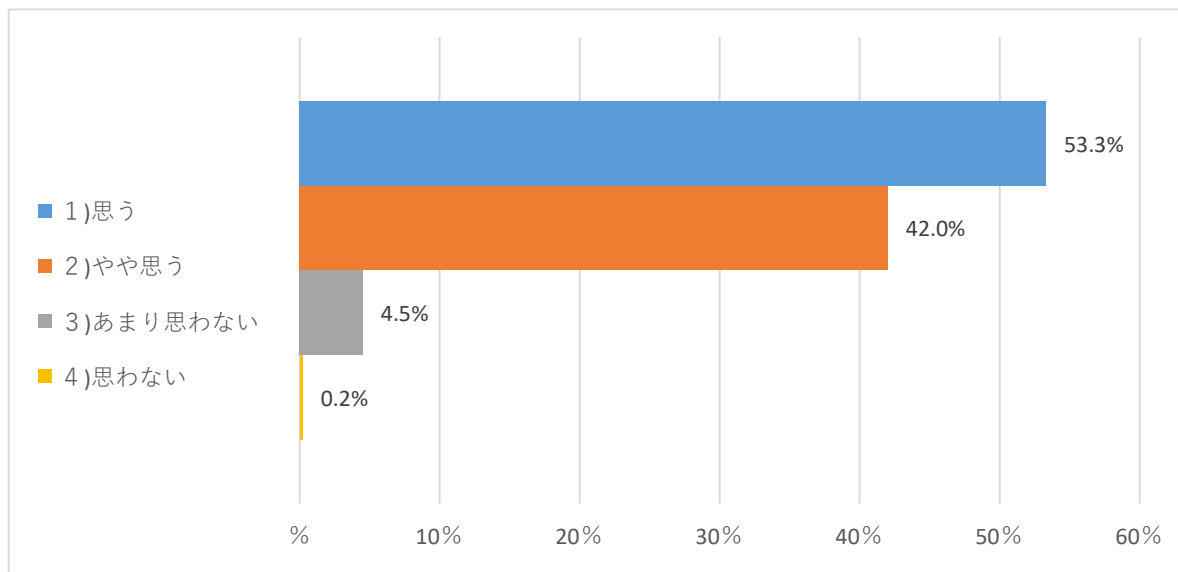
・特徴的な差は見られなかった。

問3（4）

あなたご自身の子育てについて、力を入れている（または入れてきた）と思うことがありますか。

4)ルールやきまりの大切さをしっかり教え、守らせる

項目	回答数	割合
1)思う	442	53.3
2)やや思う	349	42
3)あまり思わない	37	4.5
4)思わない	2	0.2
合計	830	100



[回答にみえる特徴的なデータ]

<都市部と農村部における回答の比較>

・特徴的な差は見られなかった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

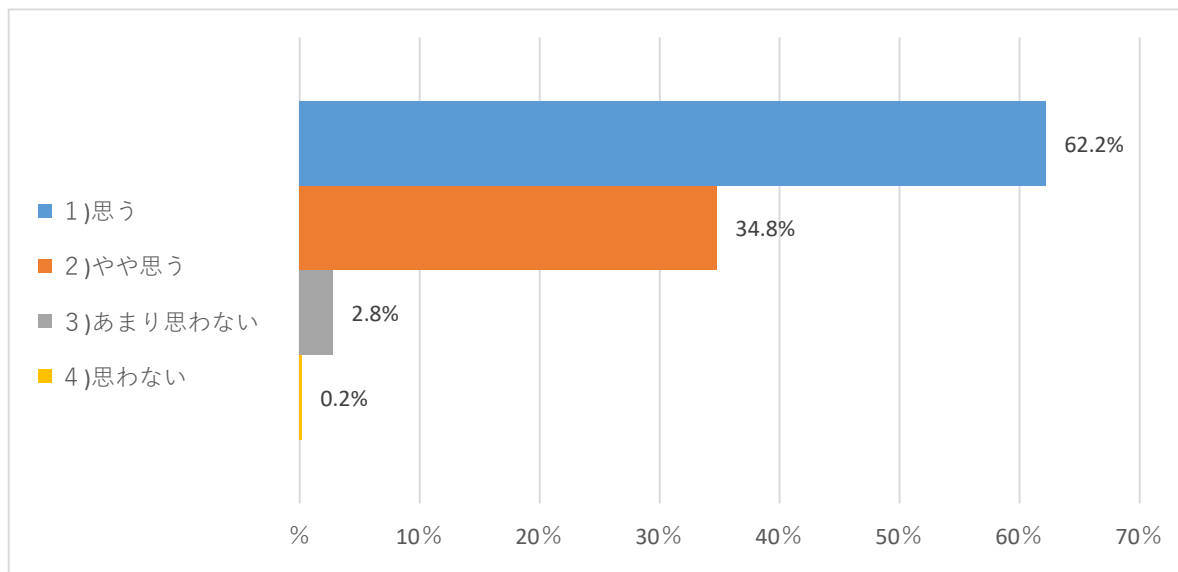
・特徴的な差は見られなかった。

問3（5）

あなたご自身の子育てについて、力を入れている（または入れてきた）と思うことがありますか。

5)良いことをした時は、しっかりとほめる

項目	回答数	割合
1)思う	515	62.2
2)やや思う	288	34.8
3)あまり思わない	23	2.8
4)思わない	2	0.2
合計	828	100



[回答にみえる特徴的なデータ]

<都市部と農村部における回答の比較>

・特徴的な差は見られなかった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

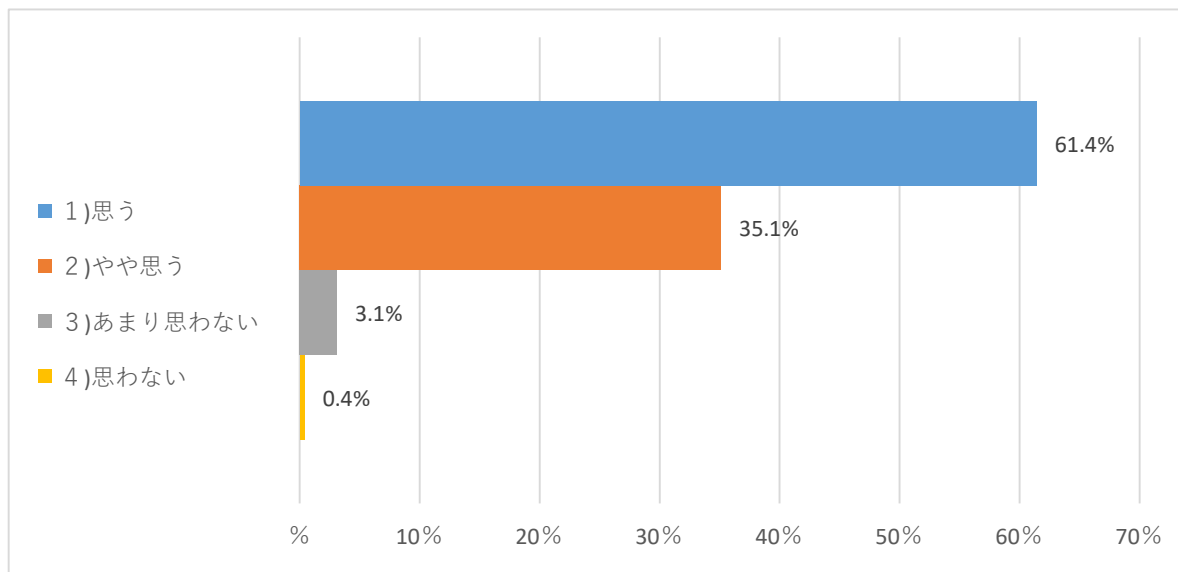
・特徴的な差は見られなかった。

問3（6）

あなたご自身の子育てについて、力を入れている（または入れてきた）と思うことがありますか。

6)悪いことをした時は、厳しく叱る

項目	回答数	割合
1)思う	512	61.4
2)やや思う	292	35.1
3)あまり思わない	26	3.1
4)思わない	3	0.4
合計	833	100



[回答にみえる特徴的なデータ]

<都市部と農村部における回答の比較>

・特徴的な差は見られなかった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

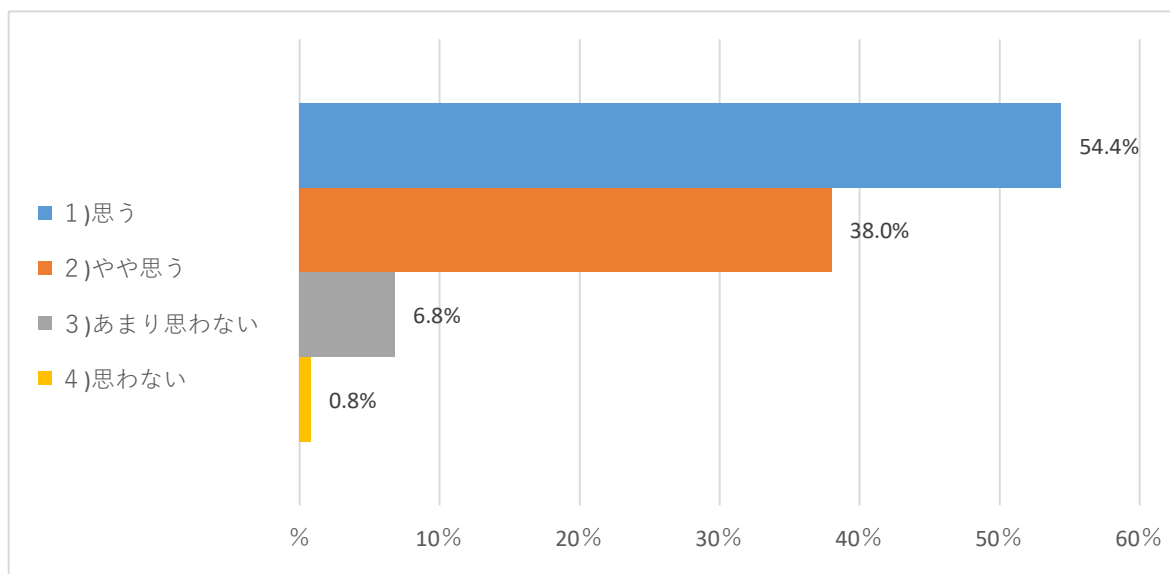
・特徴的な差は見られなかった。

問3（7）

あなたご自身の子育てについて、力を入れている（または入れてきた）と思うことがありますか。

7)一緒に遊んだり出かけたり、家族で一緒に楽しむ時間を持つ

項目	回答数	割合
1)思う	453	54.4
2)やや思う	317	38
3)あまり思わない	57	6.8
4)思わない	7	0.8
合計	834	100



[回答にみえる特徴的なデータ]

<都市部と農村部における回答の比較>

・特徴的な差は見られなかった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

【16歳】

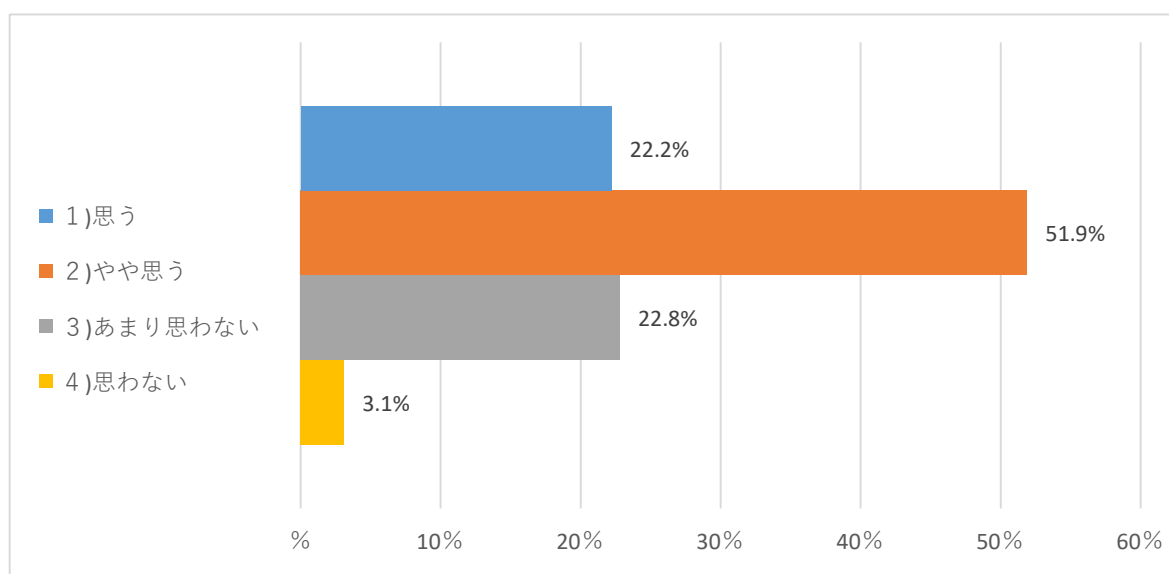
- ・「思う・やや思う」は6pt低い。
- ・「あまり思わない・思わない」は6.1pt高い。
- ・一緒に遊んだり出かけたり、家族で一緒に楽しむ時間を持つという人が少ない。

問3（8）

あなたご自身の子育てについて、力を入れている（または入れてきた）と思うことがありますか。

8)本の読みきかせをしたり、勉強を見たりしている

項目	回答数	割合
1)思う	184	22.2
2)やや思う	431	51.9
3)あまり思わない	189	22.8
4)思わない	26	3.1
合計	830	100



＜都市部と農村部における回答の比較＞

- ・1)2)について、農村部が9.1pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・3)4)について、農村部が9.2pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。

＜全回答者に対する各年齢における回答の比較＞

【4歳】

- ・「思う・やや思う」は10.0pt高く、割合も高い。
- ・「あまり思わない・思わない」は10.0pt低く、割合も低い。
- ・本の読みきかせをしたり、勉強を見たりしている人がかなり多い。

【7歳】

- ・「思う・やや思う」は13.2pt高く、割合も高い。
- ・「あまり思わない・思わない」は13.2pt低く、割合も低い。
- ・本の読みきかせをしたり、勉強を見たりしている人がかなり多い。

【13歳】

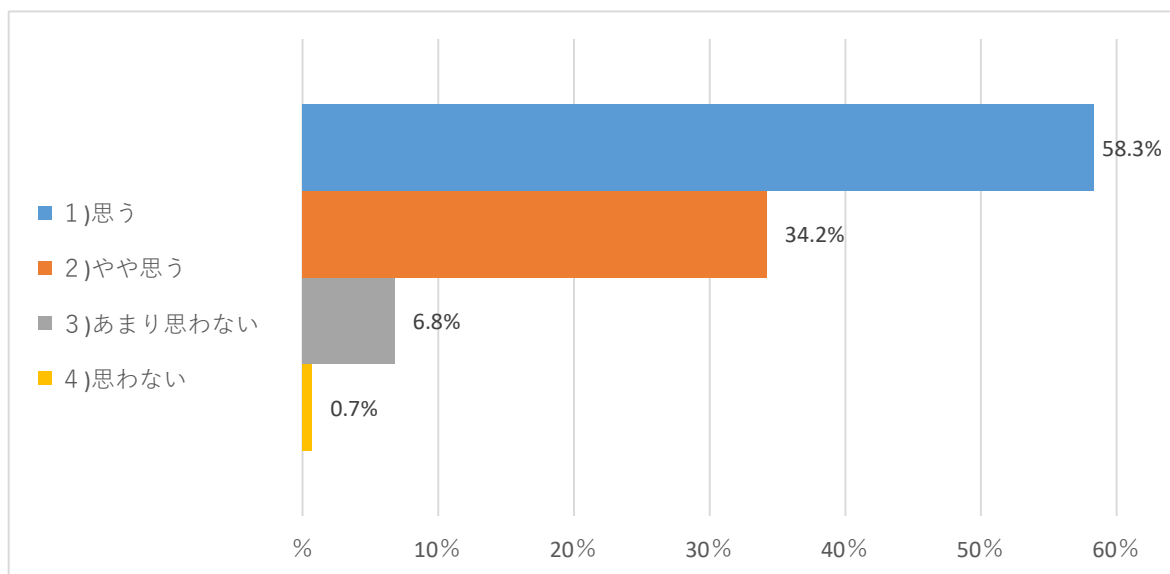
- ・「思う・やや思う」は7.0pt低い。
- ・「あまり思わない・思わない」は7.0pt高い。
- ・本の読みきかせをしたり、勉強を見たりしている人が少ない。
- ・7歳までの回答傾向と逆になった。

問3（9）

あなたご自身の子育てについて、力を入れている（または入れてきた）と思うことがありますか。

9)年中行事や誕生日など、家族の行事を大切にする

項目	回答数	割合
1)思う	485	58.3
2)やや思う	285	34.2
3)あまり思わない	57	6.8
4)思わない	6	0.7
合計	833	100



[回答にみえる特徴的なデータ]

<都市部と農村部における回答の比較>

・特徴的な差は見られなかった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

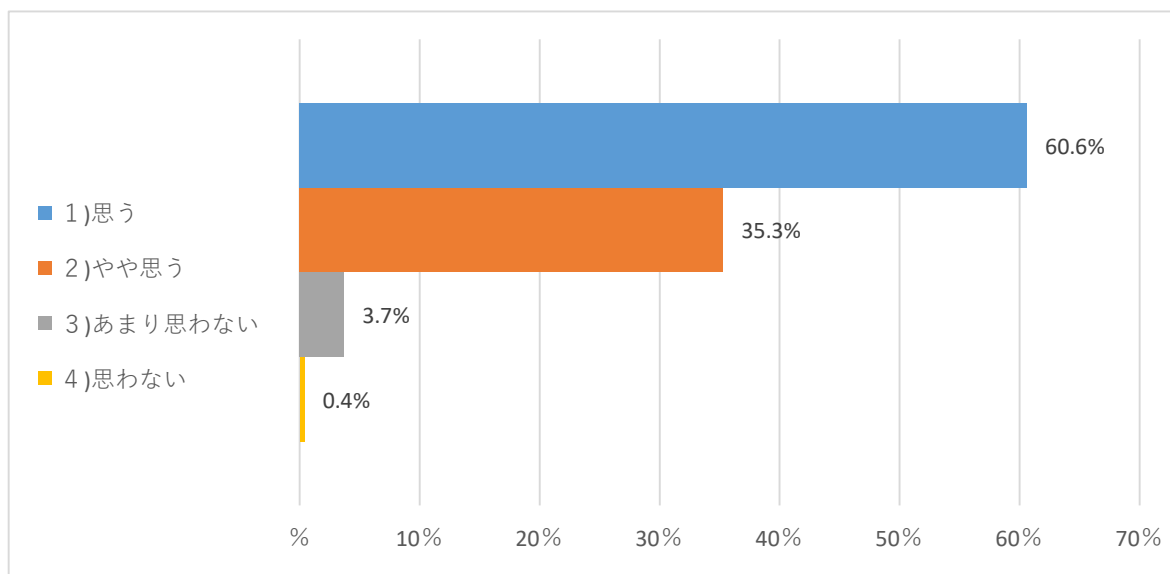
・特徴的な差は見られなかった。

問3（10）

あなたご自身の子育てについて、力を入れている（または入れてきた）と思うことがありますか。

10)子どもが将来の夢を叶えられるよう、応援し、励ます

項目	回答数	割合
1)思う	504	60.6
2)やや思う	293	35.3
3)あまり思わない	31	3.7
4)思わない	3	0.4
合計	831	100



[回答にみえる特徴的なデータ]

<都市部と農村部における回答の比較>

・特徴的な差は見られなかった。

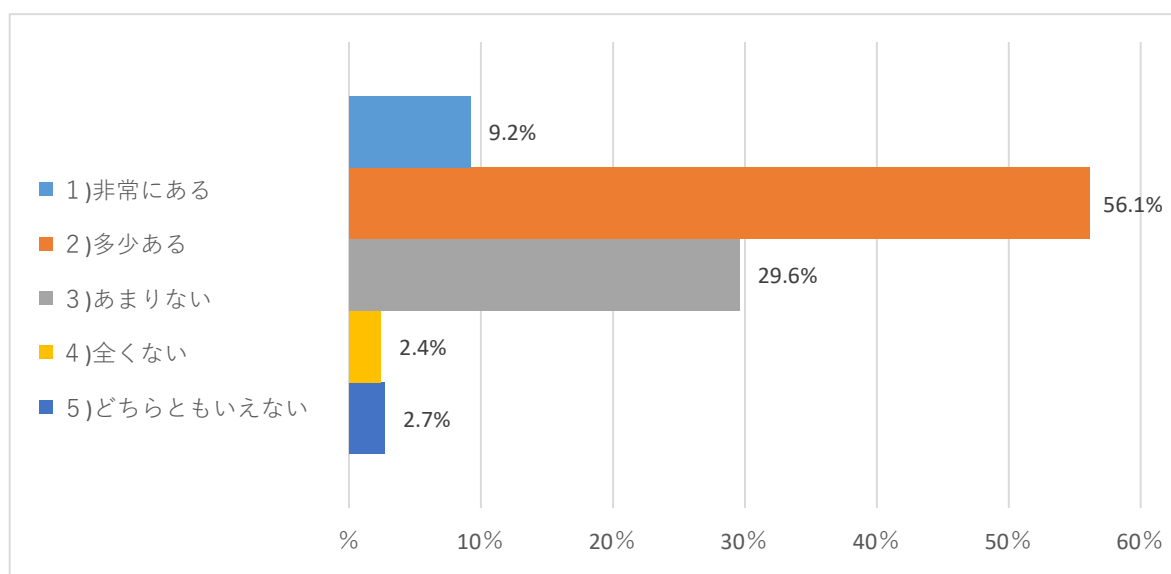
<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

・特徴的な差は見られなかった。

問4－1

あなたは家庭での教育（しつけ等）について、悩みや不安がありますか。

項目	回答数	割合
1)非常にある	76	9.2
2)多少ある	464	56.1
3)あまりない	245	29.6
4)全くない	20	2.4
5)どちらともいえない	22	2.7
合計	827	100



〔 回答にみえる特徴的なデータ 〕

<都市部と農村部における回答の比較>

・特徴的な差は見られなかった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

【4歳】

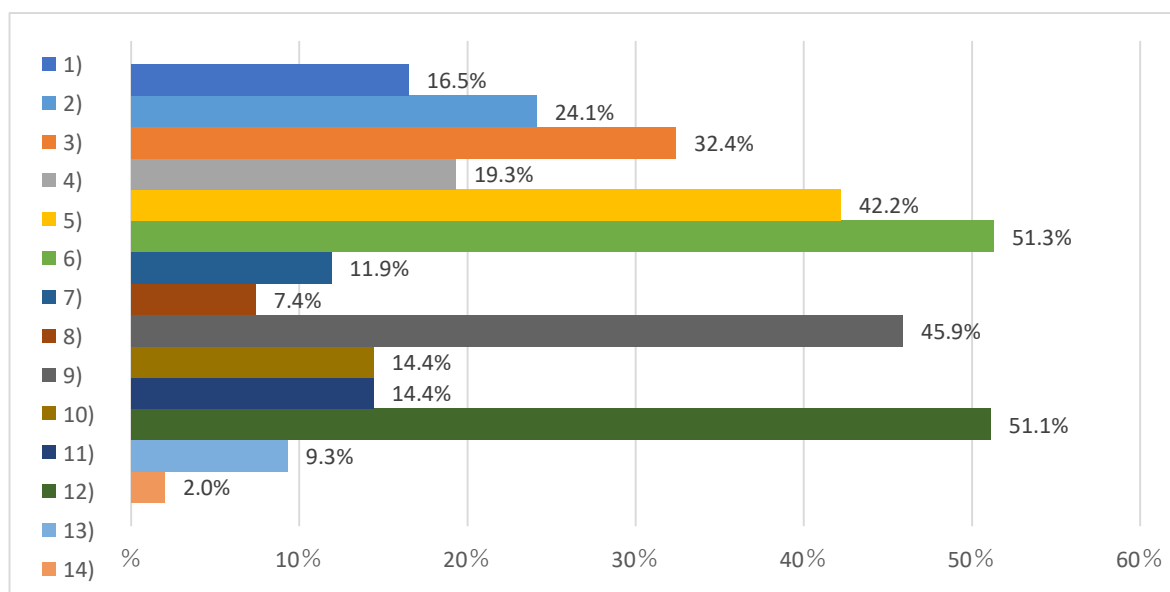
・「非常にある・多少ある」は9.4pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

問4－2

問4－1で「1」または「2」と答えた方にお聞きします。どのような悩みや不安がありますか。

総回答者数：540人

項目	回答数	割合
1) 早寝早起きなどの生活習慣のこと	89	16.5
2) 子どもの健康・体力、発達などのこと	130	24.1
3) 子どもの友人関係などのこと	175	32.4
4) 非行や反抗期などのこと	104	19.3
5) 子どものしつけ方や、マナーなどのこと	228	42.2
6) 勉強や進学、将来の進路のこと	277	51.3
7) いじめ・引きこもり・不登校などのこと	64	11.9
8) 教育情報の入手や、相談相手などのこと	40	7.4
9) 性格や考え方、人との接し方などのこと	248	45.9
10) 子どもとのふれあいやコミュニケーション、親子の信頼関係などのこと	78	14.4
11) 配偶者や家族の協力や教育方針などのこと	78	14.4
12) テレビ・ゲーム・インターネットといった、メディアとの付き合い方などのこと	276	51.1
13) 学校・園や、先生との関係づくりなどのこと	50	9.3
14) その他	11	2
合計	1848	



【その他】（記述）

- ・性教育
- ・整理整頓やものの価値感など
- ・社会への不安
- ・スポ少をやらせたいが送迎ができない。
- ・お金との付き合い方、使い方、子どもが関係している事件など
- ・教育における経済面
- ・子どもに対するおこり方。言い聞かせるのは、また同じ事でおこられる。（なおらない）。おこりすぎも罪悪感になる。
- ・子育てに正解がないと思うので悩むことがある。
- ・父子家庭特有の悩み
- ・母子家庭なので、仕事の為子どもと接する時間が少なくなる。
- ・スポ少

<都市部と農村部における回答の比較>

前問において、悩みがあると回答した割合に大きな差は見られなかったが、その具体については差が見られた。

- ・3)[子どもの友人関係などのこと]が、都市部よりも農村部で17.7pt高かった。
- ・4)[非行や反抗期などのこと]が、都市部よりも農村部で8.9pt高かった。
- ・6)[勉強や進学、将来の進路のこと]が、農村部よりも都市部で11.9pt高かった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

【4歳】

- ・5)は18.0pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・6)は29.3pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・9)は6.6pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・12)は12.1pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。

【7歳】

- ・3)は8.9pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・6)は9.2pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・7)は6.4pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・小学校教育で直面しそうな対人関係の問題について関心が高く、進路等についてはまだ差し迫っていない問題と捉えている傾向がみられる。

【10歳】

- ・4)は6.8pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・6)は6.1pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・低学年では関心が薄かった学習課題についてや発達課題について比較的関心が高い傾向がみられる。

【13歳】

- ・2)は6.9pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・5)は16.9pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・6)は17.4pt高く、割合も高いことから、肯定的にとらえている人がかなり多い。
- ・9)は11.6pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・健康面や、成長するうえで必要となる基本的態度等については、幼・小における生活課題と認め、進路選択等といった職業選択や就労について関心が高い傾向がみられる。

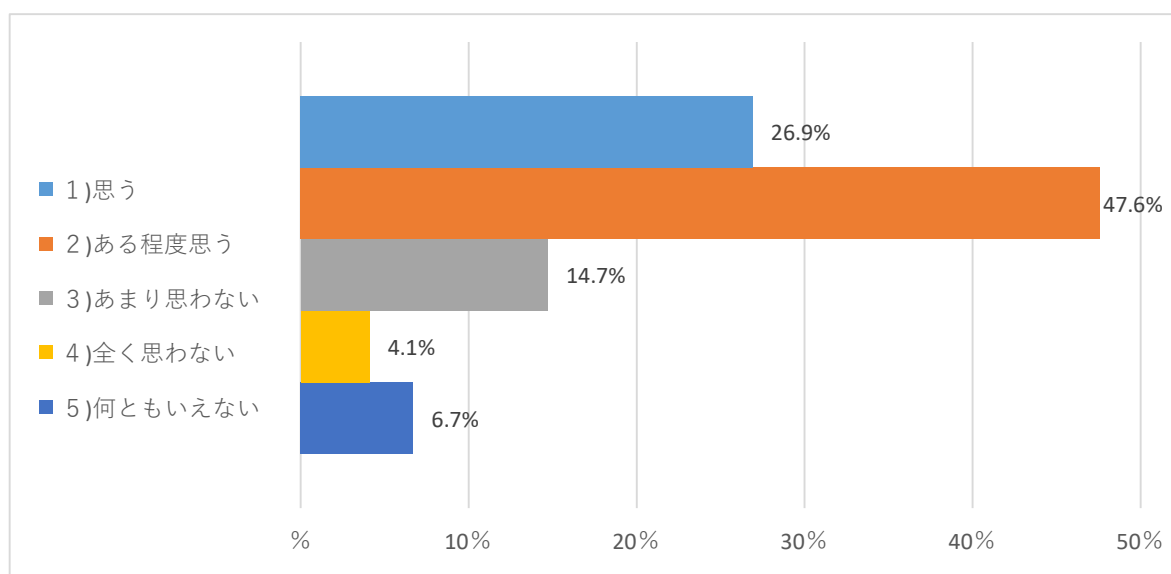
【16歳】

- ・2)は10.7pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・3)は16.5pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・4)は13.2pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・5)は16.6pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・6)は26.7pt高く、割合も高いことから、肯定的にとらえている人がかなり多い。

問5－1

あなたは、家庭教育について行政の支援は必要だと思いますか。

項目	回答数	割合
1)思う	201	26.9
2)ある程度思う	356	47.6
3)あまり思わない	110	14.7
4)全く思わない	31	4.1
5)何ともいえない	50	6.7
合計	748	100



[回答にみえる特徴的なデータ]

<都市部と農村部における回答の比較>

・特徴的な差は見られなかった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

・特徴的な差は見られなかった。

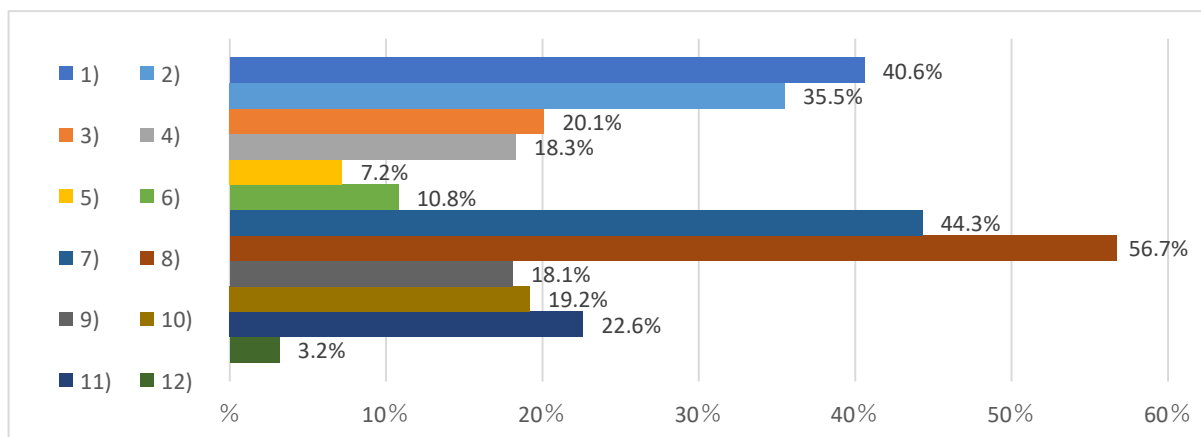
問5－2

問5－1で「1」または「2」と答えた方にお聞きします。

どのような支援が必要だと思いますか。

総回答者数：557人

項目	回答数	割合
1) 各種施設を開放する	226	40.6
2) 何でも気軽に相談できる場をつくる	198	35.5
3) 子どもの自由時間を充実させる	112	20.1
4) 社会環境の浄化に努める	102	18.3
5) 子育て等のサークル活動を充実させる	40	7.2
6) 子どもが参加できるグループをつくる	60	10.8
7) 子どもが日常的に集まれる場をつくる	247	44.3
8) 家庭では体験できない活動の場をつくる	316	56.7
9) 地域の人々が親しくなれる場や機会をつくる	101	18.1
10) 身近に相談できる人材を確保する	107	19.2
11) 家庭教育等の知識を習得できる機会を提供する	126	22.6
12) その他	18	3.2
合計	1653	



【その他】（記述）

- ・発達障害、又はグレーゾーンの子向けのデイサービスなどが欲しい。
- ・保育園（または準ずる施設）の日・祝日預かり（あっても料金が高い）
- ・家庭が基本。祖父母のいない生活をしていたり、兄弟が少ない生活だったり、普段の生活で得られる人間性の幅が減っている。これをおぎなえる環境が欲しい。
- ・親に対する支援。気持ちに余裕を持って子どもと過ごせる時間と環境を確保できるように。
- ・土日出勤の両親、核家族の為の学童保育、仕事の日に見てくれる家族的存在が欲しい。
- ・充実した家庭教育を受けるための経済的支援が欲しい。

※記載なし 12

＜都市部と農村部における回答の比較＞

前問において、必要だと思うと回答した割合に大きな差は見られなかったが、その具体については差が見られた。

- ・2)[何でも気軽に相談できる場をつくる]が、都市部よりも農村部の方が6.1pt高かった。
- ・3)[子どもの自由時間を充実させる]が、都市部よりも農村部の方が10.3pt高かった。
- ・4)[社会環境の浄化に努める]が、農村部よりも都市部の方が14.7pt高かった。
- ・7)[子どもが日常的に集まれる場をつくる]が、都市部よりも農村部の方が17.9pt高かった。

＜全回答者に対する各年齢における回答の比較＞

【4歳】

- ・1)は10.3pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・4)は6.7pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・5)は8.0pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・8)は11.7pt高く、割合も高いことから、肯定的にとらえている人がかなり多い。
- ・9)は8.7pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

【7歳】

- ・7)は10.8pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

【10歳】

- ・4)は6.8pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・10)は7.7pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・家庭問題の解決にあたっては地域住民から干渉してほしくないという傾向がみられる。

【13歳】

- ・2)は7.6pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・10歳同様、家庭問題の解決にあたっては、地域等の家庭から近いところを避ける傾向がみられる。

【16歳】

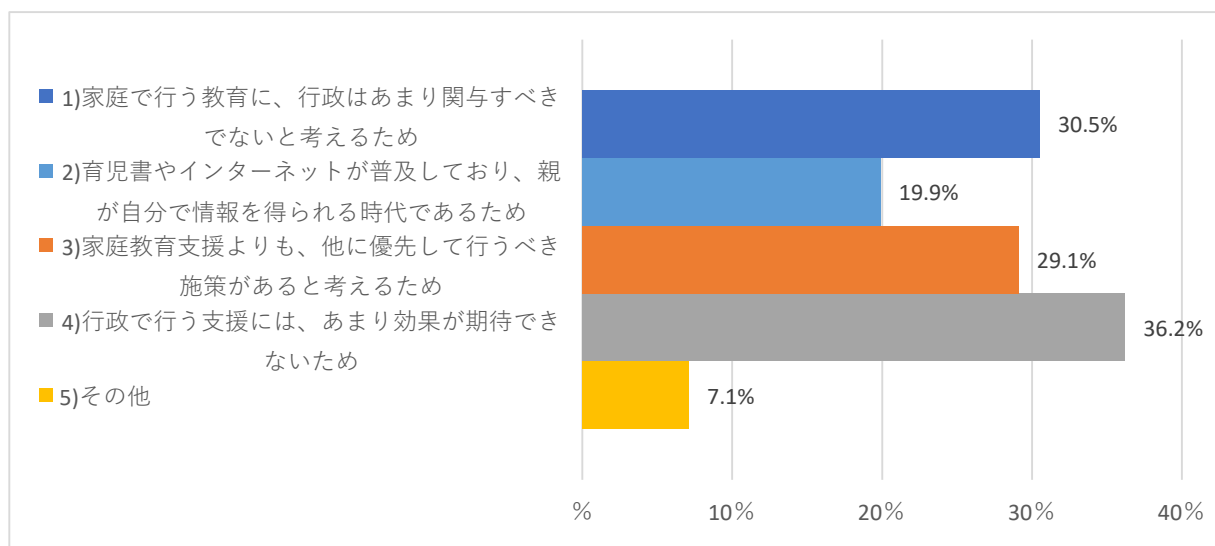
- ・3)は6.1pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・4)は8.4pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・7)は16.4pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。

問5－3

問5－1で「3」or「4」と答えた方：支援が必要ないとする理由について
お教えてください。

総回答者数：141人

項目	回答数	割合
1) 家庭で行う教育に、行政はあまり関与すべきでないとするため	43	30.5
2) 育児書やインターネットが普及しており、親が自分で情報を得られる時代であるため	28	19.9
3) 家庭教育支援よりも、他に優先して行うべき施策があるとするため	41	29.1
4) 行政で行う支援には、あまり効果が期待できないため	51	36.2
5) その他	10	7.1
合計	173	



【その他】（記述）

- ・ 行政で行う支援とはどんなことがあるのか。
- ・ 家庭に干渉するものではなく、児童館やイベントなどの場の提供はありがたい。
- ・ 行政が行う支援とはこういったものかわからない。
- ・ 家庭で行うべきものだと思うため。
- ・ 授業の充実
- ・ 同居の両親や、親戚、友人など、子供に関わることは、いつでもすぐに相談やアドバイスをもらえる人がたくさんいるため。
- ・ 低学年より家庭教育は充分しており、高学年で自立したため現在は不用と思う。むしろ中学からしっかりみてほしい。
- ・ 生まれた瞬間から育児・教育が始まっており、行政はある程度の年齢からしか携わることができないため。
- ・ 学習意欲のない事が心配

※記載なし 1

<都市部と農村部における回答の比較>

前問において、必要ないと思うと回答した割合に大きな差は見られなかったが、その具体については差が見られた。

- ・2)[育児書やインターネットが普及しており、親が自分で情報を得られる時代である]が、農村部よりも都市部の方が12.9pt高かった。
- ・3)[家庭教育支援よりも、他に優先して行うべき施策があると考えるため]が、農村部よりも都市部の方が9.7pt高かった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

【4歳】

- ・3)は9.1pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。

【7歳】

- ・4)は12.7pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・4)5)以外の項目では対象者全員の割合よりも高い。家庭教育には、行政が関与すべきでないとする一方で、支援にはある程度期待している傾向がみられる。

【13歳】

- ・1)は8.6pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・4)は7.6pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・7歳10歳の回答とは逆の結果が表れ、行政には期待していない傾向がみられる。しかし、行政が家庭教育に関与すべきではないとはしていない。

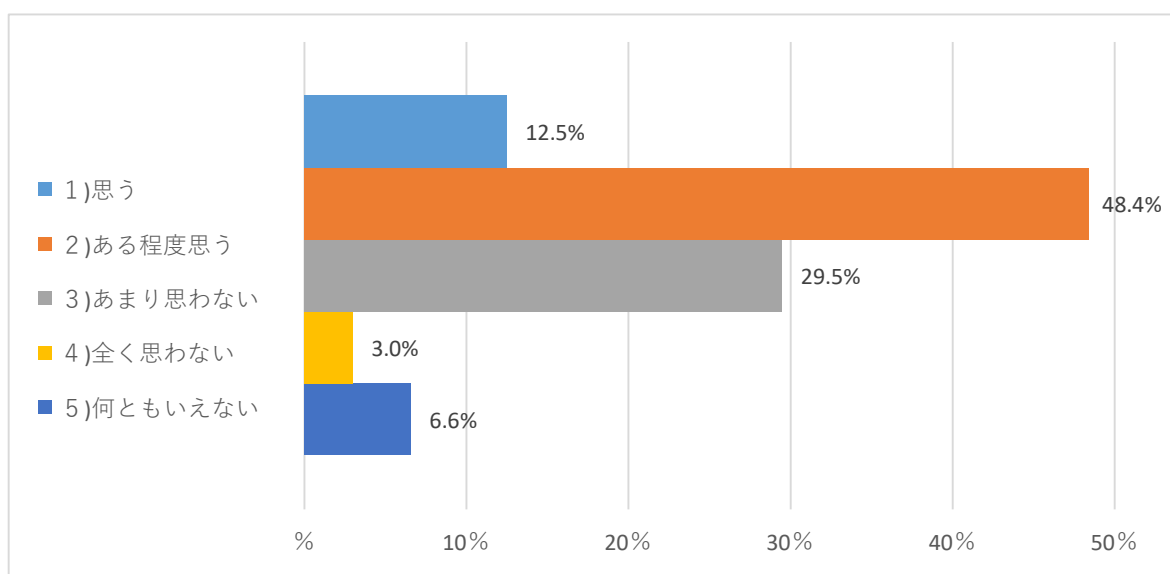
【16歳】

- ・2)は8.1pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・3)は6.9pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

問6－1

近年、「家庭の教育力が低下しているのではないか」という意見がありますが、あなたはどのように思いますか。

項目	回答数	割合
1)思う	101	12.5
2)ある程度思う	391	48.4
3)あまり思わない	238	29.5
4)全く思わない	24	3
5)何ともいえない	53	6.6
合計	807	100



〔 回答にみえる特徴的なデータ 〕

<都市部と農村部における回答の比較>

- ・3)[あまり思わない]が、都市部よりも農村部の方が8.5pt高かった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

【4歳】

- ・「思う・ある程度思う」は8.1pt低い。

【16歳】

- ・「思う・ある程度思う」は11.9pt高く、その割合も高い。
- ・「あまり思わない・全く思わない」は10.0pt低く、その割合も低い。
- ・家庭の教育力が低下していると思う人がかなり多い。

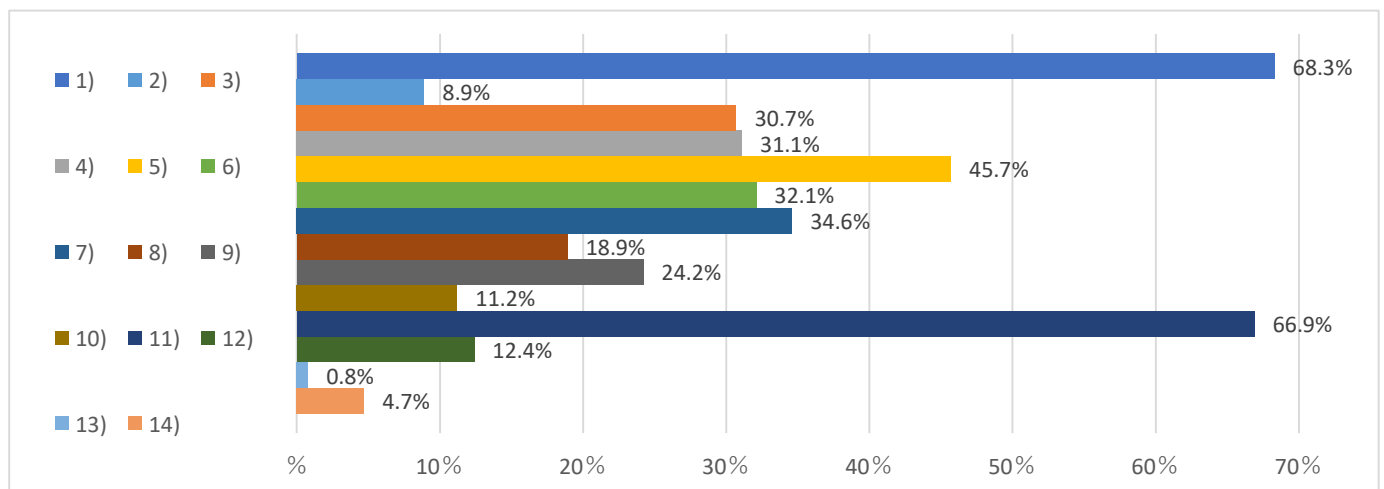
問 6 - 2

問 6 - 1 で「1」または「2」と答えた方にお聞きします。

低下の理由について、いくつでも選んでください。

総回答者数：492人

項目	回答数	割合
1) テレビ・ゲーム・インターネットなどのメディアによる影響	336	68.3
2) 親に対する子どもの信頼感の低下	44	8.9
3) 親子がふれあい、一緒に行動する機会の不足	151	30.7
4) 子どもが親以外の大人（祖父母や近所の人）とふれあう機会の不足	153	31.1
5) 過保護、甘やかせすぎや過干渉な親の増加	225	45.7
6) しつけや教育に無関心な親の増加	158	32.1
7) しつけや教育に自信を持てなかったり、やり方がわからない親の増加	170	34.6
8) しつけや教育について、悩んだ時に相談する相手や場が不足	93	18.9
9) 学校や塾など外部の教育機関に、しつけや教育を過度に依存する親の増加	119	24.2
10) 父親の存在感の低下	55	11.2
11) 共働きの増加や長時間の勤務など、親の仕事の多忙化	329	66.9
12) 働く親の姿を知る機会の不足	61	12.4
13) わからない	4	0.8
14) その他	23	4.7
合計	1921	



【その他】（記述）

- ・昔は、親以外でもおこられたり、注意されたりして、ある程度、子供も親も社会性等を成長できたと思うが、そういうのが少なくなく、おこられ慣れなどができなくなっているのではないかと思う。
- ・国がゆとり育児を推奨しているため。
- ・親の時間的・精神的の余裕のなさによるかわりが低下しているため。
- ・祖父母の子育てが親の子育てに影響している。（祖父母世代の子育てが孫の子育てに影響）
- ・学校授業でわからなかった事を家で学習しようとしても資料不足。教えてくれる人の不足、また、興味を持った内容も学校では最低限の覚えるべき内容以上は求めていないと先生方が考えている事。学校で理解できていないため復習が自宅でもできない。
- ・両親と祖父母との考え方が違う。
- ・他人の迷惑を考えない常識の無い親が増加している。
- ・周囲の厳しさ
- ・昔の考え方のおしつけ
- ・家庭は教育の場ではない。低下といわれても気にしない。家庭は安らぎの場所である。

<都市部と農村部における回答の比較>

- ・9)[学校や塾など外部の教育機関に、しつけや教育を過度に依存する親の増加]が、農村部よりも都市部の方が9.5pt高かった。
- ・10)[父親の存在感の低下]が、都市部よりも農村部の方が7.8pt高かった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

【4歳】

- ・1)は15.9pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・4)は12.8pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・5)は10.3pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・10)は8.3pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

【7歳】

- ・5)は7.7pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・11)は10.1pt高く、割合も高いことから、肯定的にとらえている人がかなり多い。
- ・親自身の問題ではなく親を取り巻く職場を絡めた問題ととらえる傾向がみられる。

【13歳】

- ・4)は13.6pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・11)は13.5pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・7歳の回答とは反対の結果が表れた。

【16歳】

- ・5)は10.0pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・9)は7.8pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

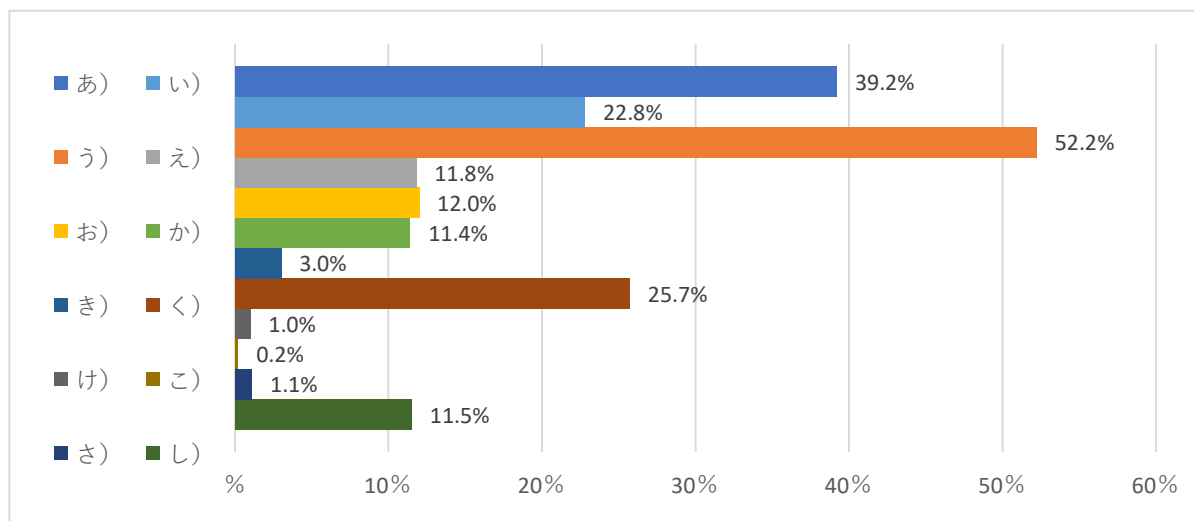
問7（1）

あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから（または誰から）得ていますか。

1)早寝早起きなどの生活習慣

総回答者数：841人

項目	回答数	割合
あ) 夫や妻	330	39.2
い) 友人、知人	192	22.8
う) 祖父母、親族	439	52.2
え) 育児雑誌、書籍	99	11.8
お) 新聞、テレビ、ラジオ	101	12.0
か) インターネット	96	11.4
き) 各種講座、研修会、講演会	25	3.0
く) 学校（園）、教職員、PTA	216	25.7
け) 市町村の広報紙、回覧板	8	1.0
こ) 役場の窓口、公民館など公的機関	2	0.2
さ) パンフレットなどの公的発行物	9	1.1
し) 情報を得ていない	97	11.5
合計	1614	



<都市部と農村部における回答の比較>

- ・く)[学校(園)、教職員、PTA]が、都市部よりも農村部の方が9.4pt高かった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

【4歳】

- ・あ)は6.5pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・か)は8.7pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

【16歳】

- ・く)は7.8pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。

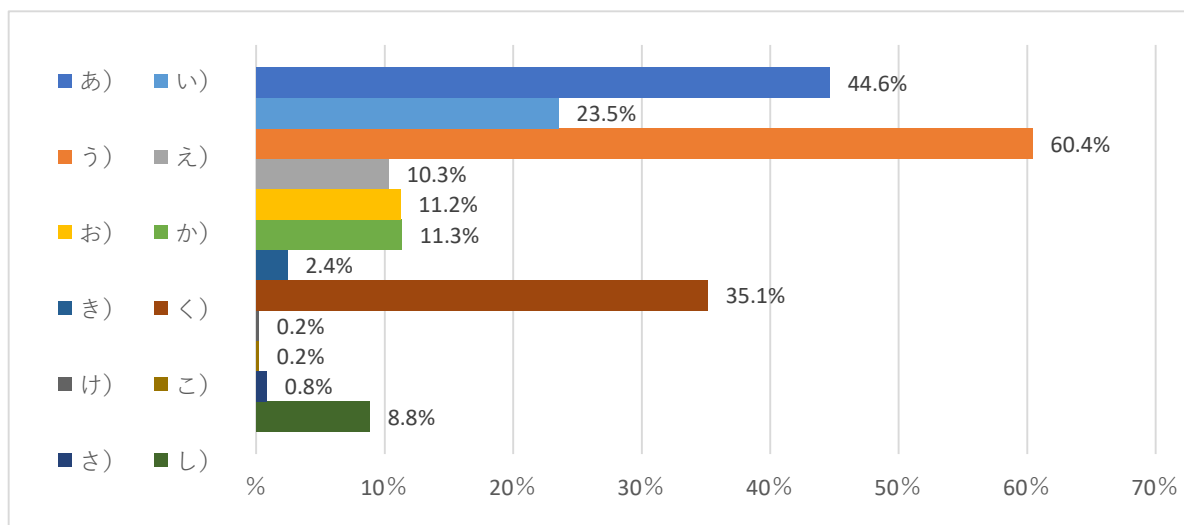
問7（2）

あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから（または誰から）得ていますか。

2)あいさつやしつけ、マナー

総回答者数：841人

項目	回答数	割合
あ) 夫や妻	375	44.6
い) 友人、知人	198	23.5
う) 祖父母、親族	508	60.4
え) 育児雑誌、書籍	87	10.3
お) 新聞、テレビ、ラジオ	94	11.2
か) インターネット	95	11.3
き) 各種講座、研修会、講演会	20	2.4
く) 学校（園）、教職員、PTA	295	35.1
け) 市町村の広報紙、回覧板	2	0.2
こ) 役場の窓口、公民館など公的機関	2	0.2
さ) パンフレットなどの公的発行物	7	0.8
し) 情報を得ていない	74	8.8
合計	1757	



<都市部と農村部における回答の比較>

- ・特徴的な差は見られなかった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

【4歳】

- ・く)は7.0pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

【16歳】

- ・く)は7.1pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。

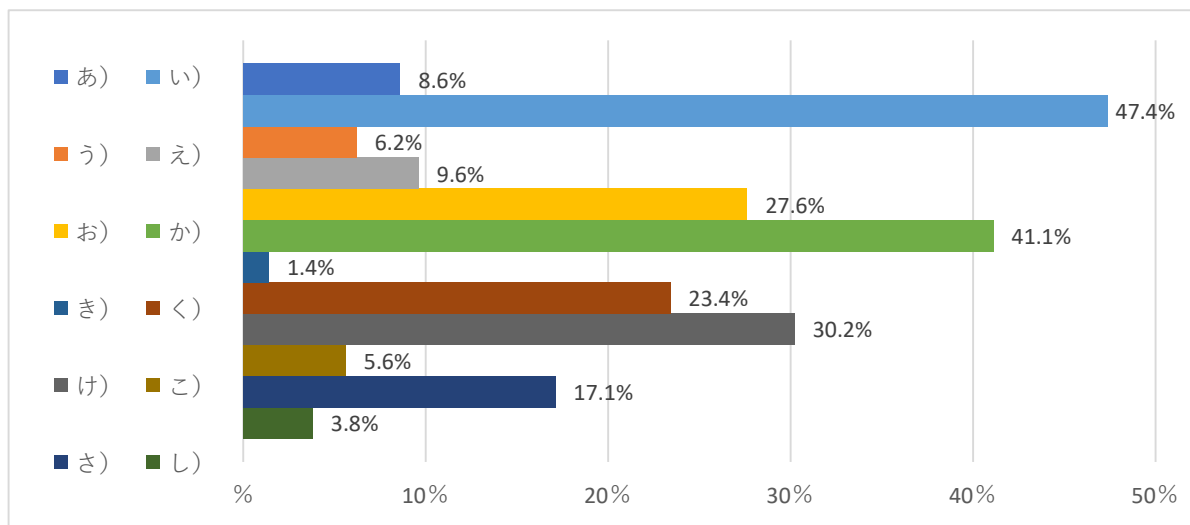
問7（3）

あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから（または誰から）得ていますか。

3)遊び場や子育て施設の情報

総回答者数：841人

項目	回答数	割合
あ) 夫や妻	72	8.6
い) 友人、知人	399	47.4
う) 祖父母、親族	52	6.2
え) 育児雑誌、書籍	81	9.6
お) 新聞、テレビ、ラジオ	232	27.6
か) インターネット	346	41.1
き) 各種講座、研修会、講演会	12	1.4
く) 学校（園）、教職員、PTA	197	23.4
け) 市町村の広報紙、回覧板	254	30.2
こ) 役場の窓口、公民館など公的機関	47	5.6
さ) パンフレットなどの公的発行物	144	17.1
し) 情報を得ていない	32	3.8
合計	1868	



<都市部と農村部における回答の比較>

- ・お)[新聞、テレビ、ラジオ]が、農村部よりも都市部の方が6.8pt高かった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

【4歳】

- ・い)は6.1pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・か)は13.0pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・さ)は10.6pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

【7歳】

- ・け)は7.4pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。

【16歳】

- ・か)は6.1pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。

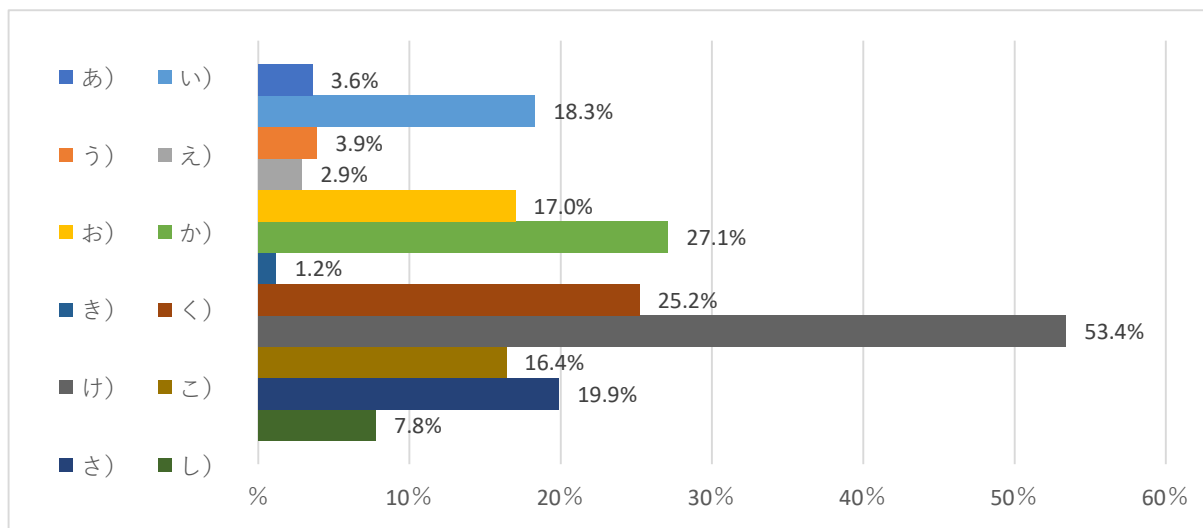
問7（4）

あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから（または誰から）得ていますか。

4)各種行政サービスの情報

総回答者数：841人

項目	回答数	割合
あ) 夫や妻	30	3.6
い) 友人、知人	154	18.3
う) 祖父母、親族	33	3.9
え) 育児雑誌、書籍	24	2.9
お) 新聞、テレビ、ラジオ	143	17.0
か) インターネット	228	27.1
き) 各種講座、研修会、講演会	10	1.2
く) 学校（園）、教職員、PTA	212	25.2
け) 市町村の広報紙、回覧板	449	53.4
こ) 役場の窓口、公民館など公的機関	138	16.4
さ) パンフレットなどの公的発行物	167	19.9
し) 情報を得ていない	66	7.8
合計	1654	



<都市部と農村部における回答の比較>

- ・お)[新聞、テレビ、ラジオ]が、農村部よりも都市部の方が11.5pt高かった。
- ・く)[学校(園)、教職員、PTA]が、都市部よりも農村部の方が14.1pt高かった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

【4歳】

- ・か)は9.4pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・さ)は9.7pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

【7歳】

- ・さ)は6.3pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・問7(5)同様、家庭教育に関する情報収集は公的機関に頼らない傾向がみられる。

【13歳】

- ・く)は6.7pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

【16歳】

- ・お)は10.1pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・く)は10.2pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。

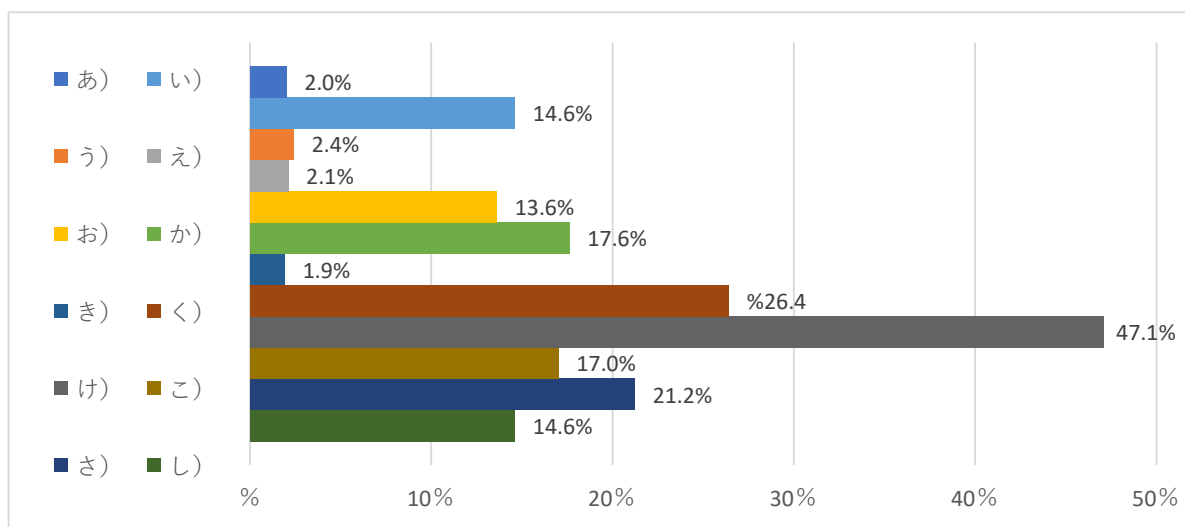
問7（5）

あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから（または誰から）得ていますか。

5) 相談窓口やサークルの情報

総回答者数：841人

項目	回答数	割合
あ) 夫や妻	17	2.0
い) 友人、知人	123	14.6
う) 祖父母、親族	20	2.4
え) 育児雑誌、書籍	18	2.1
お) 新聞、テレビ、ラジオ	114	13.6
か) インターネット	148	17.6
き) 各種講座、研修会、講演会	16	1.9
く) 学校（園）、教職員、PTA	222	26.4
け) 市町村の広報紙、回覧板	396	47.1
こ) 役場の窓口、公民館など公的機関	143	17.0
さ) パンフレットなどの公的発行物	178	21.2
し) 情報を得ていない	123	14.6
合計	1518	



＜都市部と農村部における回答の比較＞

- ・か)[インターネット]が、農村部よりも都市部の方が8.0pt高かった。
- ・く)[学校(園)、教職員、PTA]が、都市部よりも農村部の方が13.3pt高かった。

＜全回答者に対する各年齢における回答の比較＞

【 7 歳】

- ・さは6.0pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・問7(4)同様、家庭教育に関する情報収集は公的機関に頼らない傾向がみられる。

【 13 歳】

- ・こ)は6.5pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

【 16 歳】

- ・いは6.8pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・お)は6.4pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・く)は8.5pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・し)は6.0pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。

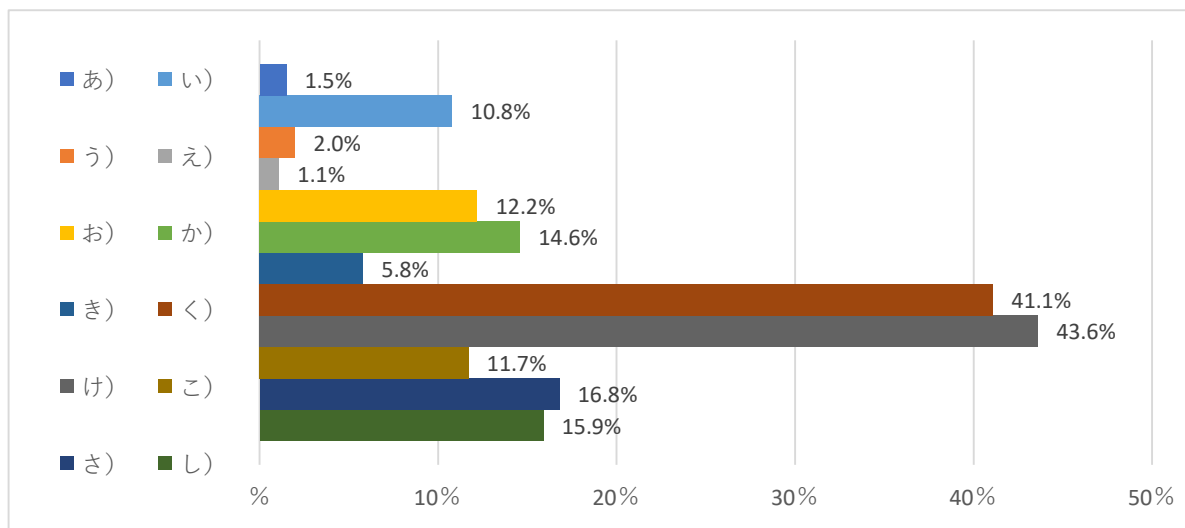
問7（6）

あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから（または誰から）得ていますか。

6)講座や研修会などの学習機会

総回答者数：841人

項目	回答数	割合
あ) 夫や妻	13	1.5
い) 友人、知人	91	10.8
う) 祖父母、親族	17	2.0
え) 育児雑誌、書籍	9	1.1
お) 新聞、テレビ、ラジオ	103	12.2
か) インターネット	123	14.6
き) 各種講座、研修会、講演会	49	5.8
く) 学校（園）、教職員、PTA	346	41.1
け) 市町村の広報紙、回覧板	367	43.6
こ) 役場の窓口、公民館など公的機関	98	11.7
さ) パンフレットなどの公的発行物	141	16.8
し) 情報を得ていない	134	15.9
合計	1491	



＜都市部と農村部における回答の比較＞

- ・か)[インターネット]が、農村部よりも都市部の方が9.0pt高かった。
- ・く)[学校(園)、教職員、PTA]が、都市部よりも農村部の方が19.9pt高かった。
- ・け)[市町村の広報紙、回覧板]が、都市部よりも農村部の方が19.1pt高かった。

＜全回答者に対する各年齢における回答の比較＞

【 4 歳】

- ・く)は8.4pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・し)は7.4pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

【 1 3 歳】

- ・く)は10.1pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・こ)は6.4pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

【 1 6 歳】

- ・い)は7.8pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・く)は10.4pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。

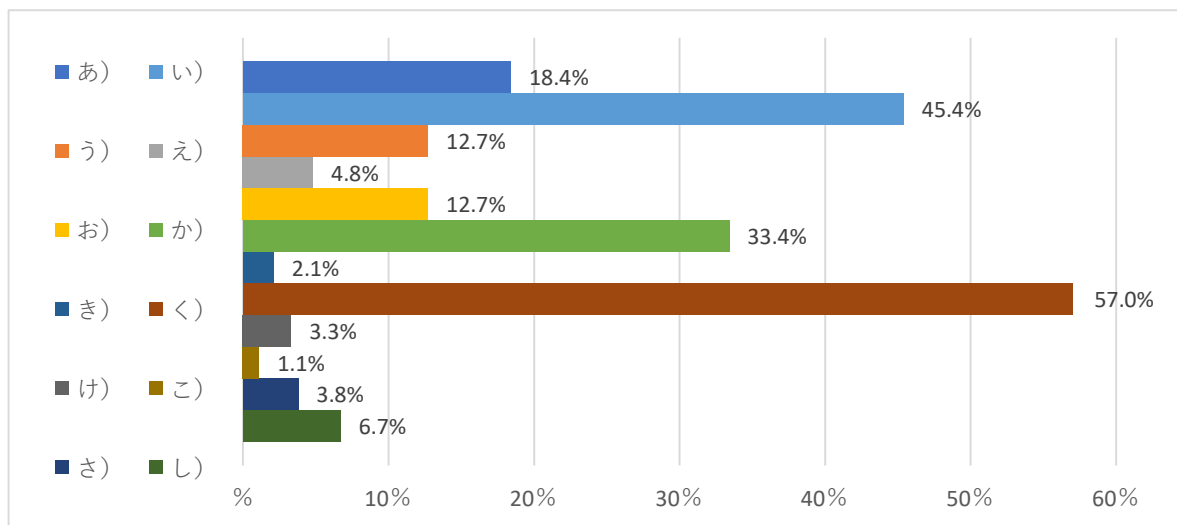
問7（7）

あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから（または誰から）得ていますか。

7)勉強、進学、進路

総回答者数：841人

項目	回答数	割合
あ) 夫や妻	155	18.4
い) 友人、知人	382	45.4
う) 祖父母、親族	107	12.7
え) 育児雑誌、書籍	40	4.8
お) 新聞、テレビ、ラジオ	107	12.7
か) インターネット	281	33.4
き) 各種講座、研修会、講演会	18	2.1
く) 学校（園）、教職員、PTA	479	57.0
け) 市町村の広報紙、回覧板	28	3.3
こ) 役場の窓口、公民館など公的機関	9	1.1
さ) パンフレットなどの公的発行物	32	3.8
し) 情報を得ていない	56	6.7
合計	1694	



＜都市部と農村部における回答の比較＞

- ・か)[インターネット]が、農村部よりも都市部の方が6.6pt高かった。
- ・く)[学校(園)、教職員、PTA]が、農村部よりも都市部の方が6.8pt高かった。

＜全回答者に対する各年齢における回答の比較＞

【4歳】

- ・く)は15.5pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・し)は7.8pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

【7歳】

- ・く)は14.6pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。

【13歳】

- ・く)は18.3pt高く、割合も高いことから、肯定的にとらえている人がかなり多い。
- ・親は学校から情報収集する傾向が強くみられる。

【16歳】

- ・く)は12.3pt高く、割合も高いことから、肯定的にとらえている人がかなり多い。

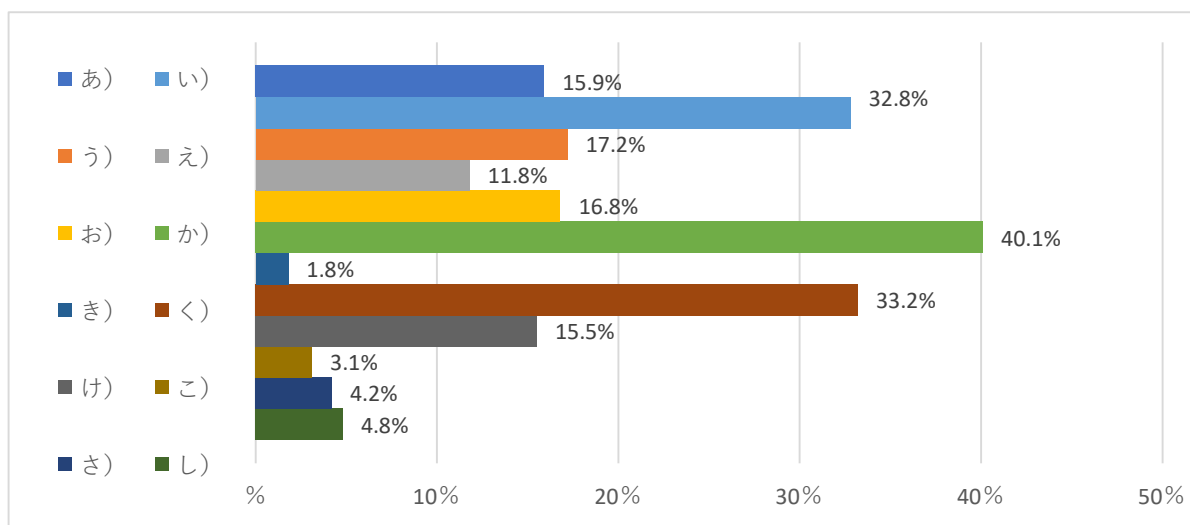
問7（8）

あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから（または誰から）得ていますか。

8)子どもの健康や体力、医療

総回答者数：841人

項目	回答数	割合
あ) 夫や妻	134	15.9
い) 友人、知人	276	32.8
う) 祖父母、親族	145	17.2
え) 育児雑誌、書籍	99	11.8
お) 新聞、テレビ、ラジオ	141	16.8
か) インターネット	337	40.1
き) 各種講座、研修会、講演会	15	1.8
く) 学校（園）、教職員、PTA	279	33.2
け) 市町村の広報紙、回覧板	130	15.5
こ) 役場の窓口、公民館など公的機関	26	3.1
さ) パンフレットなどの公的発行物	35	4.2
し) 情報を得ていない	40	4.8
合計	1657	



〔 回答にみえる特徴的なデータ 〕

<都市部と農村部における回答の比較>

- ・く)[学校(園)、教職員、PTA]が、都市部よりも農村部の方が10.1pt高かった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

【4歳】

- ・か)は12.1pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

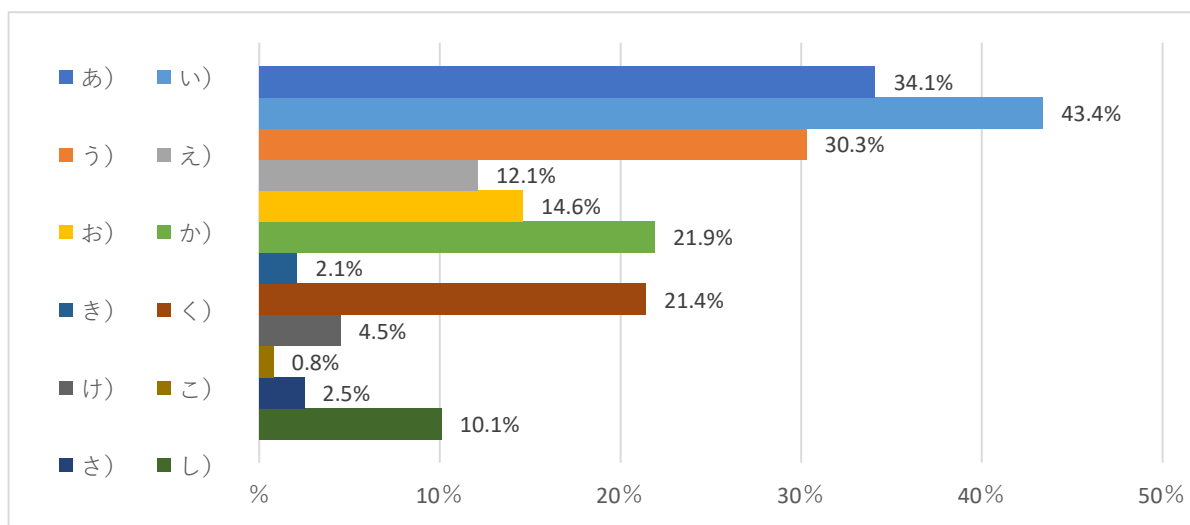
問7（9）

あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから（または誰から）得ていますか。

9)子どもとのコミュニケーション

総回答者数：841人

項目	回答数	割合
あ) 夫や妻	287	34.1
い) 友人、知人	365	43.4
う) 祖父母、親族	255	30.3
え) 育児雑誌、書籍	102	12.1
お) 新聞、テレビ、ラジオ	123	14.6
か) インターネット	184	21.9
き) 各種講座、研修会、講演会	18	2.1
く) 学校（園）、教職員、PTA	180	21.4
け) 市町村の広報紙、回覧板	38	4.5
こ) 役場の窓口、公民館など公的機関	7	0.8
さ) パンフレットなどの公的発行物	21	2.5
し) 情報を得ていない	85	10.1
合計	1665	



<都市部と農村部における回答の比較>

- ・う)[祖父母、親族]が、都市部よりも農村部の方が10.4pt高かった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

【4歳】

- ・か)は9.5pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・く)は11.3pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

【10歳】

- ・あ)は6.0pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

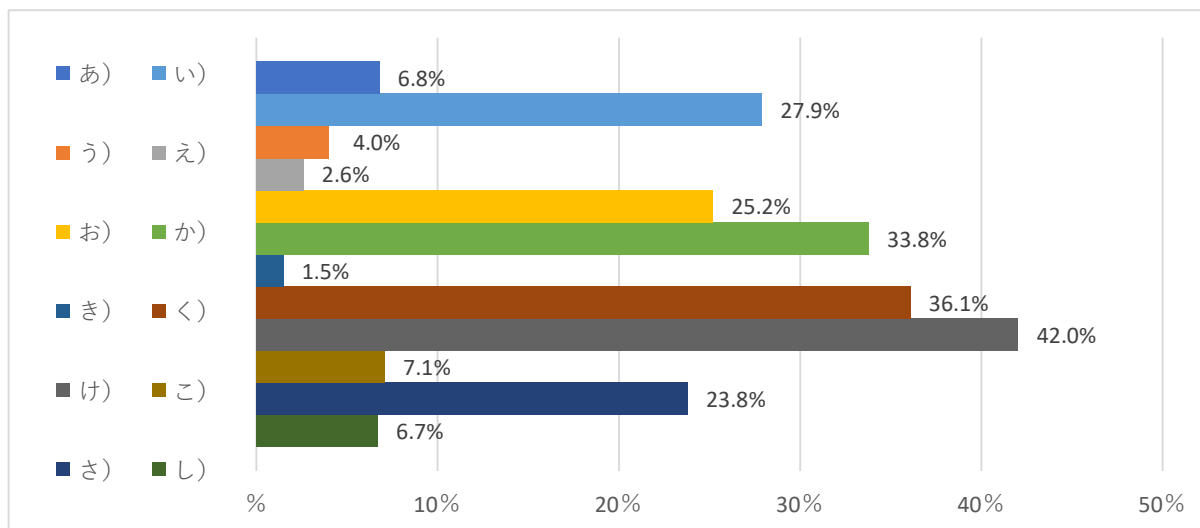
問7（10）

あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから（または誰から）得ていますか。

10)親子で参加できる行事やイベント

総回答者数：841人

項目	回答数	割合
あ) 夫や妻	57	6.8
い) 友人、知人	235	27.9
う) 祖父母、親族	34	4.0
え) 育児雑誌、書籍	22	2.6
お) 新聞、テレビ、ラジオ	212	25.2
か) インターネット	284	33.8
き) 各種講座、研修会、講演会	13	1.5
く) 学校（園）、教職員、PTA	304	36.1
け) 市町村の広報紙、回覧板	353	42.0
こ) 役場の窓口、公民館など公的機関	60	7.1
さ) パンフレットなどの公的発行物	200	23.8
し) 情報を得ていない	56	6.7
合計	1830	



<都市部と農村部における回答の比較>

- ・お)[新聞、テレビ、ラジオ]が、農村部よりも都市部の方が8.3pt高かった。
- ・く)[学校(園)、教職員、PTA]が、都市部よりも農村部の方が16.9pt高かった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

【4歳】

- ・か)は12.1pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・さ)は7.6pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

【16歳】

- ・か)は6.7pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・く)は13.2pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。

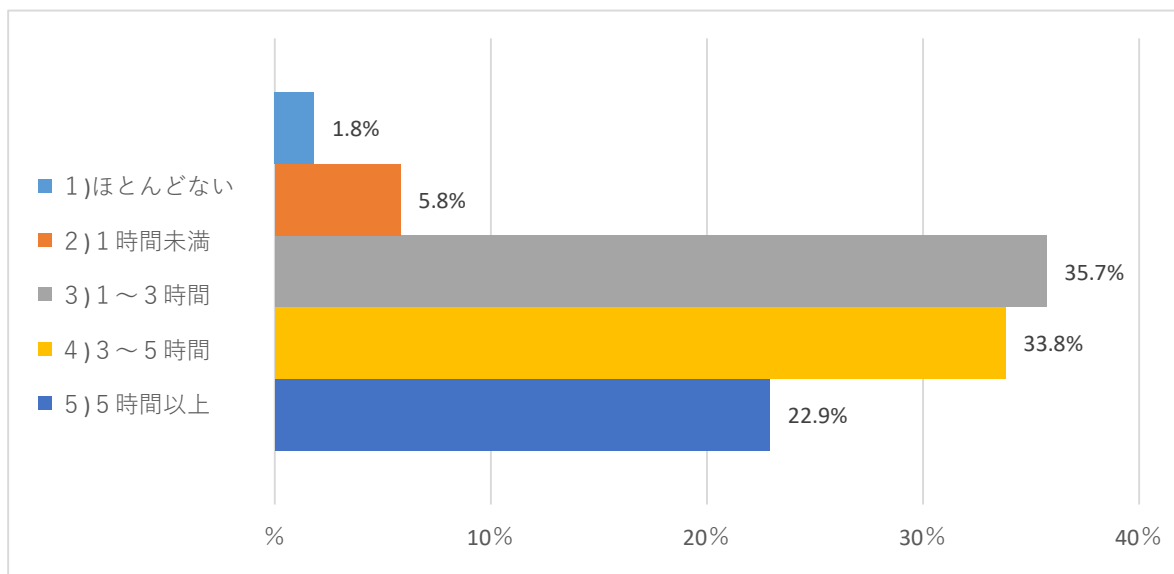
問 8

あなたが、子どもと一緒に過ごす時間はどれくらいですか。

(別室で過ごす時間は除く)

【平日】

項目	回答数	割合
1)ほとんどない	15	1.8
2)1時間未満	48	5.8
3)1～3時間	293	35.7
4)3～5時間	278	33.8
5)5時間以上	188	22.9
合計	822	100



＜都市部と農村部における回答の比較＞

- ・2)[1時間未満]が、農村部よりも都市部の方が6.0pt高かった。
- ・3)[1～3時間]が、農村部よりも都市部の方が8.9pt高かった。
- ・4)[3～5時間]が、都市部よりも農村部の方が6.1pt高かった。
- ・5)[5時間以上]が、都市部よりも農村部の方が9.6pt高かった。

＜全回答者に対する各年齢における回答の比較＞

【4歳】

- ・5)は29.8pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・他の年代よりも一緒に過ごす時間を長くとしていることがわかる。

【7歳】

- ・4)は8.0pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

【13歳】

- ・3)は6.8pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・5)は10.8pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。

【16歳】

- ・2)は7.3pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・3)は15.5pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・4)は6.1pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・5)は18.5pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。

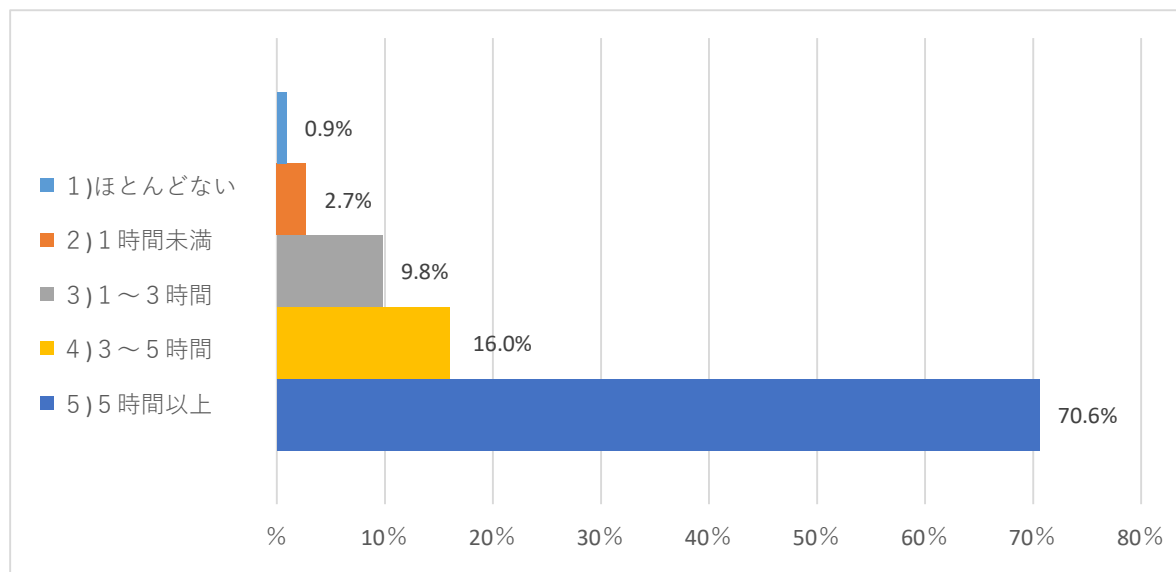
問 8

あなたが、子どもと一緒に過ごす時間はどれくらいですか。

(別室で過ごす時間は除く)

【休日】

項目	回答数	割合
1)ほとんどない	7	0.9
2)1時間未満	21	2.7
3)1～3時間	75	9.8
4)3～5時間	123	16
5)5時間以上	541	70.6
合計	767	100



＜都市部と農村部における回答の比較＞

- ・3) [1～3時間]が、農村部よりも都市部の方が13.0pt高かった。
- ・4) [3～5時間]が、農村部よりも都市部の方が11.1pt高かった。
- ・5) [5時間以上]が、都市部よりも農村部の方が28.8pt高かった。

＜全回答者に対する各年齢における回答の比較＞

【4歳】

- ・3)は9.8pt低く、回答数が0であった。
- ・4)は12.1pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・5)は23.6pt高く、割合も高いことから、肯定的にとらえている人がかなり多い。

【7歳】

- ・3)は6.8pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・5)は13.3pt高く、割合も高いことから、肯定的にとらえている人がかなり多い。
- ・休日とはともに過ごす時間が長い傾向がみられる。

【10歳】

- ・5)は6.6pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・休日はともに過ごす時間が比較的長い傾向がみられる。

【13歳】

- ・4)は7.5pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・5)は13.6pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・7歳10歳の傾向とは異なり、平日休日ともに、一緒に過ごす時間が短くなった。

【16歳】

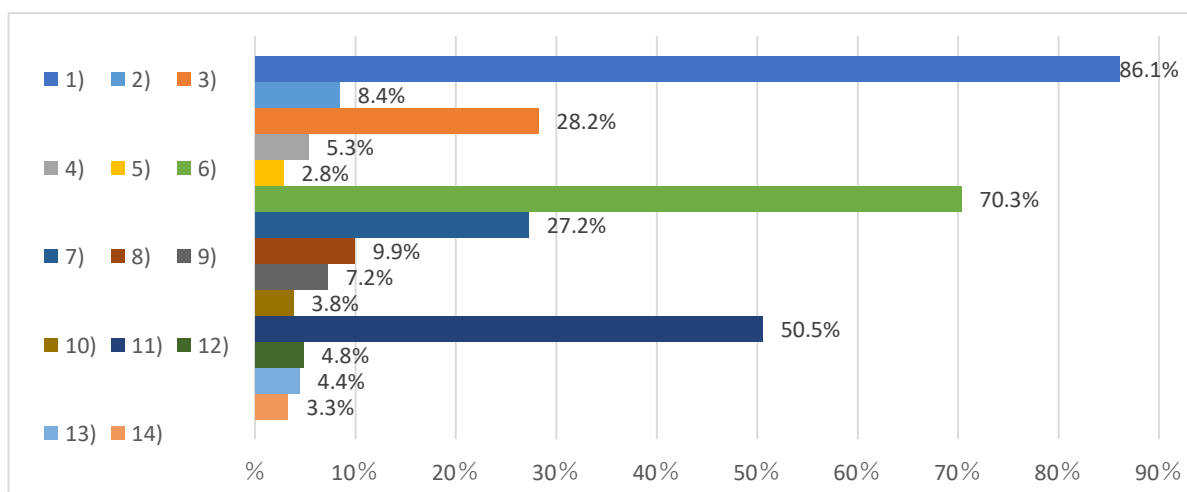
- ・3)は19.8pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・4)は13.6pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・5)は38.5pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。

問9

あなたが平日、子どもと一緒に過ごす時間としてあてはまるのは、主にどのようなことですか。

総回答者数：825人

項目	回答数	割合
1) 家族そろっての食事	710	86.1
2) 家事を一緒にする	69	8.4
3) 家族で出かける	233	28.2
4) ゲームを一緒にする	44	5.3
5) 携帯・パソコンのメール利用	23	2.8
6) テレビ等を一緒に見る	580	70.3
7) 勉強を見る	224	27.2
8) 家族でスポーツ、散歩	82	9.9
9) 一緒に本を読む	59	7.2
10) その他	31	3.8
11) 家族団らんの時間をつくる	417	50.5
12) ペットの世話	40	4.8
13) 家族共通の趣味を楽しむ	36	4.4
14) インターネットの閲覧	27	3.3
合計	2575	



【その他】（記述）

- ・ スポ少
- ・ 一緒にお風呂に入る。
- ・ 習い事の送迎
- ・ 学校配り物を見ながら会話
- ・ 風呂に入れて寝かせるので精一杯
- ・ 一緒に遊ぶ。
- ・ 下の子と先に夕食、入浴（4人家族）
- ・ 習い事の行き帰り
- ・ スポ少、習い事
- ・ 学校への送迎
- ・ 部屋なし子どもと家の中ではずっと一緒にいる。
- ・ 食事（それぞれ）
- ・ 寝る。

<都市部と農村部における回答の比較>

- ・7)[勉強を見る]が、都市部よりも農村部の方が16.2pt高かった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

【4歳】

- ・6)は7.6pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・9)は21.9pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・11)は9.6pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

【7歳】

- ・1)は6.8pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・3)は9.2pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・6)は10.5pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・7)は28.1pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・勉強を見るのが食事や家族旅行よりも優先され、家庭教育の一部として習慣化されている傾向がみられる。

【13歳】

- ・6)は10.9pt高く、割合も高いことから、肯定的にとらえている人がかなり多い。
- ・7)は17.5pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・9)は7.2pt低く、回答数は0であった。
- ・7)(9)の否定的なとらえは7歳10歳ではみられなかった傾向である。

【16歳】

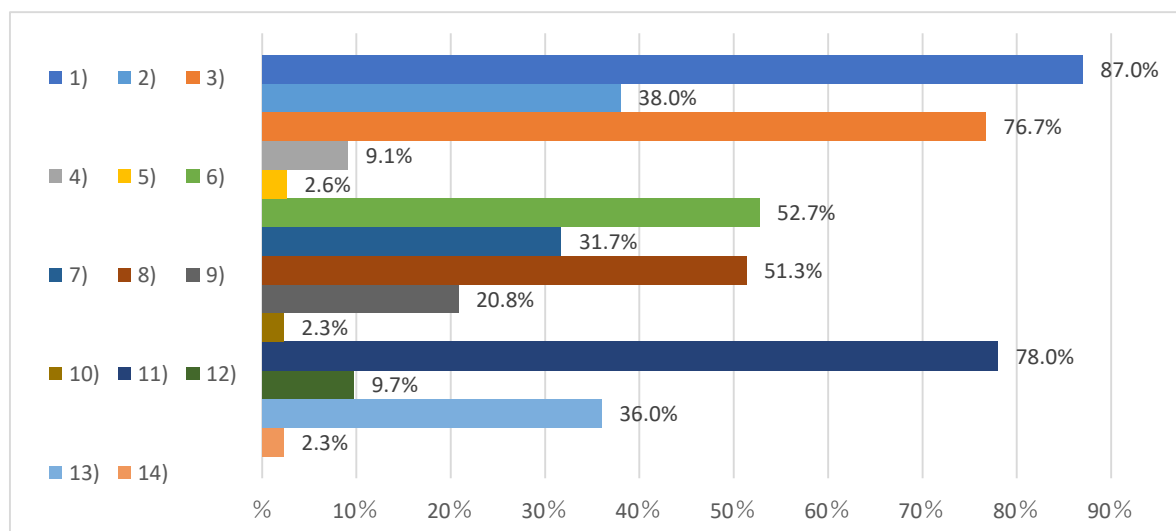
- ・5)は6.1pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・6)は8.2pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・7)は16.1pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・11)は9.0pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。

問 10

あなたは子どもを含め、家族とのコミュニケーションをどのようにとりたいと考えていますか。

総回答者数：823人

項目	回答数	割合
1) 家族そろっての食事	716	87.0
2) 家事を一緒にする	313	38.0
3) 家族で出かける	631	76.7
4) ゲームを一緒にする	75	9.1
5) 携帯・パソコンのメール利用	21	2.6
6) テレビ等を一緒に見る	434	52.7
7) 勉強を見る	261	31.7
8) 家族でスポーツ、散歩	422	51.3
9) 一緒に本を読む	171	20.8
10) その他	19	2.3
11) 家族団らんの時間をつくる	642	78.0
12) ペットの世話	80	9.7
13) 家族共通の趣味を楽しむ	296	36.0
14) インターネットの閲覧	19	2.3
合計	4100	



【その他】（記述）

- ・お風呂に一緒に入る。
- ・トランプ・かるた・しりとりなど言葉を交わしたり、勝負したりする遊び
- ・一緒に働く。（農業）
- ・子供の取り組みを応援すること
- ・旅行
- ・特になし。
- ・一緒にお風呂に入る。
- ・会話
- ・部活動の応援
- ・子どもたちも大きくなってきたので、個々が自分をしっかりと組み立てていけるような子どもであればいいと望んでいる。
- ・勉強、進路、恋愛などの相談や話し合い等
- ・1日の出来事を話す。

※記載なし 7

<都市部と農村部における回答の比較>

- ・7)[勉強を見る]が、都市部よりも農村部の方が23.7pt高かった。
- ・8)[家族でスポーツ、散歩]が、都市部よりも農村部の方が9.2pt高かった。
- ・9)[一緒に本を読む]が、都市部よりも農村部の方が8.6pt高かった。
- ・11)[家族団らんの時間をつくる]が、都市部よりも農村部の方が8.6pt高かった。

<全回答者に対する各年齢における回答の比較>

【4歳】

- ・3)は8.7pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・6)は8.1pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・8)は9.8pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・9)は27.6pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・13)は10.5pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

【7歳】

- ・6)は7.5pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・7)は19.1pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・8)は8.6pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・9)は9.1pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

【10歳】

- ・7)は8.7pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。

【13歳】

- ・2)は8.1pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・6)は9.5pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・7)は15.8pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・8)は10.4pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。
- ・9)は17.1pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。

【16歳】

- ・6)は10.1pt高いことから、肯定的にとらえている人が多い。
- ・7)は22.2pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・8)は17.0pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・9)は18.6pt低く、割合も低いことから、否定的にとらえている人がかなり多い。
- ・11)は6.5pt低いことから、否定的にとらえている人が多い。

☆あなたが家庭教育について日頃感じていることや、PTA・地域団体等、学校教育、行政に対する要望、考えていることや感じていることなど、ご自由にお書きください。

【 原則として、回答原文のまま掲載しています 】

- ・基本的に一緒に「喜び」「悲しみ」等をコミュニケーションをとって共有し、「愛」をもって接すると、自然と子どもは「気づき」「成長」を示してくれると信じています。
- ・子どもとも大人ともとれる年齢になってきたが、今やれること今しかやれないことをやってもらいたい。今を大切にしてもらいたい。有意義な時間を過ごせる環境であってほしい。
- ・共働きであり、子どもを勤務時間に合わせた生活リズムで過ごさせてしまうことがある。夕食が遅くなり、後ろへ時間がおしてしまい申し訳なく思う。父親の勤務時間が朝夜逆のため、父親と一緒に過ごす時間が少なくてかわいそう。
- ・進学や進路について、中学生のうちから詳しく情報が欲しい。
- ・十分に対応していただいています。今後ともよろしくお願いします。
- ・祖父母の存在に感謝している。母親がピリピリガミガミになるとストップをかけてくれる。核家族だとストップ役がいらない可能性もある。度を越してしまうおそれもある。
- ・家庭で必要なしつけやマナーを学校などの教育現場に依存する傾向にあるのではないと思う。PTAや地域活動においては、自分を含め、興味関心を持つことが必要。誰かがやるだろうではダメだと思う。
- ・家庭教育は学習面ですか？生活面の教育は子どもの支援よりも、親を支援して、正しいことのできる親を育てる方が先なのではないかと思います。子どもの学習は学校で正しく行われることを願いますが、人間力を育てるのは親なので、まずは親への支援、教育をした方が子どもは幸せになるとおもいますが。
- ・このアンケートの中に行政という言葉がありますが、具体的に何を示しているのかわからなかった。
- ・高齢者が増え、地域にある広場もグラウンドゴルフの場所になり、子どもが遊べる場所が無くなってきている。自然豊かな場所に住んでいても、子どもたちがおもいっきり遊ぶ場所が減られなくなってきているこの現状をなんとかしてほしい。

- ・学校までの距離が遠いのと自分も仕事があるので、なかなか子どもとの時間がとれません。もう少し子どもと話す時間が増えれば、いい関係がもてそうな気がします。
- ・子ども中心とは言わないものの、バス停までの送迎（特に夜は歩く距離5分の間でも熊や街灯のない暗い道のため）休日バス(学校)のない日の送迎、移動手段が無いため時間に合わせて車を運転している毎日である。子どもが行きたい場所も親の都合が合わないとい我慢してもらう・やめてもらうためか、子どもも消極的になって家にこもりがち、社会勉強の機会が少なくなってしまう。また、学校での楽しかったこと、怒られておもしろくなかった事、その話を聞く時間も無くなり、携帯(ライン)やYouTubeに偏ってしまう申し訳なさもあります。
- ・学校のこと、自分の感情のまま子どもたちに言葉を発言する先生が担任に今年、上の子になってしまい、毎日毎日やっとなってます。そういう時、気軽に相談できる場所があればと思います。その先生はただ叫んでいるそうです。いつもドキドキしながら学校に行っています。わたし思うんですが、教師は頭がいいだけで誰でもなれるんですね。今の時代、人としての教育も勉強してから教師になってほしいです。
- ・朝の集団登校時の地域の方々の見守り、本当にありがたい事と思っています。学校が終わった後、子どもたちが過ごせる場所がもっと増えたらいいなと思っています。
- ・普段朝の集団登校の時間が早くて、逆算して前日の夜の行動を考えると、団らんというより時間に追われて早寝できるようにするのが日々精一杯です。スクールバス等利用できる距離とか知りたいと思う日がある。そんな日々の集団登校で民生委員の方には面倒をみてもらいありがたく思っています。今年は担任の先生にも恵まれ、いろいろ話を聞いてもらい対応の早さや納得できる対応をしてもらい、ありがたく思っています。
- ・親、子どもの顔をうかがいながらの教育はやめてほしい。差別せず平等に先生らしくしっかりと叱って欲しい。
- ・身近なところで行っている子ども用のイベント・キャンプの情報をいつもありがとうございます。親子でワークショップを楽しみたいので、そういった情報をこれからもよろしくお願いします。少し勉強が苦手ですが、嫌いではなさそうです。先生とのコミュニケーションが良好なので本人から「分からない」と言いやすいようで、少しずつ力になっているようで良かったです。
- ・スポ少に入れたくてもできない（送迎ができない）。年寄りの町になっていく。子どもたちの遊ぶ場所が減っていく。

- ・働く母親(父親)に対する支援や配慮が足りない。保育園から小学校に上がった途端に、仕事と子育てとの両立が難しくなる。学校ももっと変わって欲しい。親も子も楽しくつらくなく毎日を過ごせるようにしてほしい。学校ももう少しのびのび個性を大事にしながら、いろんな境遇の人が楽しく過ごせるところであってほしいです。
- ・子どもの勉強や日常的なことを教えてあげたくても、仕事をせざるを得ないのでなかなか大変である。また、子どももスポーツなどして休みの日も家にいないことが多いので、ふれあう時間が少ないのが現状です。
- ・漢字・数字等の書き方について、どこまで丁寧さを子供に求めたら良いのか迷う。
例)「0」が「6」に見える等
- ・部活やクラブに入っている子供や親が固まり、部活、クラブチームに入っていない親、子供が孤立する事が目立つ。部活に入っていないと、友だちではないと思う子供も多い。学校・地域での改善に努めてほしい。
- ・土日祝日も仕事があり、夜勤のある看護師です。子供と過ごす時間が少ない分、学校行事、授業参観には必ず参加したいと、心より思っています。しかし、年間行事予定日とずれたり、お知らせが直前の事が多くて、勤務調整が間に合わない事が多々あります。予め、休みを希望する事は可能なので、行事、PTA、代休の平日休み、雨天時延期の予備日は2ヶ月前までにはお知らせいただけませんか？例えば12月のシフト表を10月には作成するので、10月に知っていれば、休みをとり、参加できます。予定は早めに前もってお知らせいただきたいので、どうかお願いします。マラソン大会も雨天時は、中止なのか、延期なのか知らされず、その日になってから延期日を知らされて困りました。同僚も行ける人と行けない人が居て困ってました。雨かどうかは当日でなければわかりませんが「延期の場合の予備日」くらいは前もって教えて欲しいです。そうすると「当日」と「予備日」希望できます。仕事の都合で行けないと子供がかわいそうなので、お願いします。日にちや予定を知っていれば休む事ができるので、どうかよろしくお願いします。
- ・保育園、小学生、中学生、高校、老人ホーム、障がい者施設などの人々が地域行事を通して、社会的弱者を思いやる機会が定期的にあればいいと思う。大曲地域で花火以外の産業が発展するような学習や教育をし、将来を考えた、見据えた施策が必要だと思う。
- ・大仙市は、他市町村と比べ子どもの遊び場（公園／施設）が少ないと思う。特に小学生以上の遊び場が少ない。テレビ、ゲームに頼らない遊び場を提供してもらいたい。外遊びの機会も作ってほしい。

- ・子どもの心とどう向き合ったらいいか、自分の対応に不安があるが、乳児の頃保健師さんの相談で嫌な思いをしたので、相談先がわからない。家族や友人などではなく専門家の話が聞けるところがほしいです。
- ・秋田市のように、支援センターを充実させて欲しい。気軽に子どもが遊べる場所が少なすぎる。2人目を秋田市で産んだ事もあり、本荘市内での子育て世代が集まる所がなく、秋田市まで行っています。
- ・公園が少ない。プール教室等をしてほしい。
- ・特に今、悩み等はありませんが、気軽にこれら（PTA・地域団体等、学校教育、行政に対する要望）を伝えやすいようにしてほしい。
- ・収入や地域格差にとらわれず、誰でも参加する機会のある教育体験などを提供して欲しいです。（短期留学、ホームステイなどを自治体負担で行う、スポーツ教育の開催など）学力トップの秋田県ならではの政策を行って、高校以上の学力も全国レベルに引き上げるべく、地域格差を埋める政策が必要と考えます。また、将来の県内人口確保のため秋田の良さや、秋田の仕事を伝える道德教育やふるさと学習などを小さい頃から取り入れて欲しいです。
- ・秋田には天気の悪い日でも遊べる施設が少なすぎる。
- ・学校からの宿題は、自主的にしているので、先生方の指導がしっかりしていると思います。ただ、学校の行事が平日なので、なかなか仕事を休めないため、妻が有給をとって参加しているので、申し訳ないと思ってます。日曜日にPTAなどの行事は組めないのはわかっていますが…
- ・親子で参加できるスポーツや、子どもを遊ばせながら親がゆっくりできるカフェなどあるとうれしい。近くの公園に行ってもだれもいないので、そこに行けば、お友だちやママ友がいて、遊べたり習い事などできる場所があるといい。
- ・インターネットやSNSを利用するので田舎の小さな所は、そういった登録や情報の発信がないので利用してほしい。
- ・家庭教育と学校教育は連携すべきだとは思いますが、家庭からの要望は受け入れず、このような形で、家庭の状況を把握し、家庭教育に介入しようとするのは違和感がある。人としてのマナーを教えるのは家庭だが、公共のマナーの平均値を作るのが、公共教育機関の仕事だと個人的には考えている。一度自分達の存在意義を見直されてみては？

- ・ 休日も開放されている施設（遊び場）をもっとふやしてほしいです。
- ・ 自分が子供の時よりも親の負担が大きいように感じる。子供が少なくなり、時代も変わっているのに何十年も変わらずに行なわれている行事などは、特にそう思う。PTA運営も同様、人数の少ない地区の児童の親の負担はとても大きい。
- ・ 少人数クラスで勉強を教えてもらい嬉しいが、PTA役員回数等親の負担が増えている。兄弟が多いと、毎年役員をしている感じになる。
- ・ クマが出る地域なので、登下校が、本当に心配です。（スクールバスがない地域なので。）だいぶ先の話ですが…進学する予定の中学の生徒数が少なく、それで、良いことも悪いこともあるのですが、（一人、一人に目が届くとか、単独で部活動が出来ないとか…）いろいろ考えて心配になります…。
- ・ 時に頑張りすぎるくらい勉強をする時があり、どこまでやらせるか判断できない時があります。
- ・ 学校の先生の生徒への差別。学年が上がると共に勉強を教えることができない。
- ・ 社会に出てからの対応力を付けるための場があればいい。
- ・ 子どもが安心して通える学校になっていないと感じながら過ごし、長男は来春、小学校を卒業します。暴力・暴言（他児童からの）を受けても、あまり重要視されず、なぜいじめをしている子どもを守り、いじめられている子どもを守ってくれないのか、学校、地域、そして先生方一人一人、それぞれにばらつきがあると思います。学力だけでなく、人として基本になる心を育てる教育をして欲しいです。
- ・ 共働きをしているとどうしても時間の確保は難しい。祖父がいるため放課後の時間一緒に過ごしてもらっていること本当にありがたい。母親との時間を今以上に確保してあげたい現状だがやはり家事・仕事してだと平日は難しい。そういつているうちに子どもは成長している…淋しいものだ。もっともっと一緒にあそんだりスポーツしたりしたいものだ…。
- ・ 学校教育（学級内に限る）宿題が統一してなくて困る。多い日、少ない日の差が大きすぎるのである程度統一してもらいたい。（習慣化するため）
- ・ 毎日、先生方ありがとうございます。

- ・宿題や音読などどこまで口を出していけばいいのかわかりにくい。
- ・共働き世帯が増え、子どもが日中遊べる相手が少ないことが残念である。自分が小さい頃は近所にたくさん遊ぶ相手がいたが、近くに小さい子どもがそもそも少ないうえに、いたとしてもなかなか遊べない。
- ・外で遊びたいが、安心して遊べる場が少ない。子どもが大きい声を出したり、楽しく自転車に乗れたりする場の整備をしてほしい。
- ・平日でも休日でも、親子で一緒に遊んだり、学ぶことができる教室などが身近にたくさんあればいいなと思います。
- ・小学校一年生から宿題が多すぎる。持ち物や身の回りの支度等やることが多いよ、宿題も毎日出されると、どうしても叱ることが多くなってしまう。なるべく大らかな心で子どもを導いてあげたいと思っていても、どうしても「早くしなさい」と言ってしまふことが日常となる。一年生のうちはせめてもう少しのびのび育てたいと思うのは間違いなのか…。
- ・高齢者ももちろん大事にしなければならないと思いますが、もっともっと子どもに優しく、子どもの為、子どもの周りの人達の為を想って出かけやすい地域環境（子ども用トイレ、店内の遊び場、公園、行事、子ども向け施設の充実 etc…）を整えていただきたいです。子どもは宝です。将来があります。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・仕事で残業が多く、夫の協力も得られず、家に帰ると家事に追われ子供との時間がほとんどないです。このような家庭も少なからずはあると思うのですが、行政へ相談してもマニュアル通りの回答、「協力します」「困った時は相談して下さい」と言われますが、その家庭に来て、実際の状況を見て、援助してほしいです。
- ・夫婦とも、働いているので、平日などはこども園で、すごくお世話になっている部分が多く、本当は私達がしなければいけない事まで、というような感じですがごくありがたく思う。ちょっと思うのが、私達がお世話になっている園が私立子ども園で、市立ではないため、市の施設を市の行事ではないので免除の対象にならない施設も（市立こども園の運動会などは市の行事として支援できているみたいなの…）あるようなので、なんか、平等じゃないと思う。（私達も市税をおさめているのに市立のこども園だと免除でとか、あんまり平等性がないような気がします）むしろ、市立の方がちょっとわかりませんが市税で運営しているのであれば、逆なのでは？とも思います。市立も私立のどちらのこども園も平等に扱ってほしいです。よろしくお願い申し上げます。

- ・育児家事の時間をさいてアンケートに答えたこの結果をすぐ反映させ活用していただきたいです。
- ・室外で、安全におもいきり遊べる場所、自転車の練習などがしやすい場所などもっとあれば良いと思う。室内で遊べる施設がほとんどないのでそのような場所もあったら良いと思う。
- ・共働きなので子どもと一緒に過ごす時間がとりたくても足りないと思います。そのための行政の支援もありがたいのですが、父親も母親も、さらに社会の皆さん（支援する側の方も）ゆとりある時間で働いたり生活したりできるよう希望します。
- ・近年何かと発達障害について騒がれています。何かすれば障害と言われる世の中に子育てのしにくさを感じます。家庭はもちろんですが、小学校等教育の立場にある先生方の意識始め、そのような子供たちとの上手な付き合い方の向上を求めます。
- ・色々なことをやっているアピールを行政はしているが、それが実際家庭に届き、役に立っているかという点で不十分。行政の知識がレベルすらが低く口だけで何の意味もない。もっとしっかりやって欲しい。本気で助けるつもりがない。それに税金を使っていることがムダ。このやり方では、この国の親子を救うのは不可能です。
- ・学校の長期休暇の時に学習会を行っていただきたい。
- ・学校教育の充実（関わり、信頼、組織力等）
- ・冬期間、学校から5 k m以内の生徒もスクールバスで帰れるようにして欲しいです。不便でこまっています。
- ・スポーツをする子供が少なくなっているのが、親が忙しくても子供のやりたいスポーツができる環境を作ってほしい。遊ぶ所が少なくなっているから、子供達が自由に遊べる場所がほしい。
- ・兄・弟と他に子供がいるとそれぞれの部活動やイベントについていくのがやっとで、余裕のある育児ができていません。親として不足している面もあり日々反省するばかりです。子供を育てる事の大変さを身にしみつつも子供は1年1年成長していきます。「親力」を鍛えられるように知識を身につけたいです。
- ・秋田市にあるようなランドセルを背負ったまま親が帰るまで見てくれる無料の児童センターがあると便利です。遊具も体力UPにつながるものをもっと増やして欲しい。

- ・ いじめや自殺、引き込みりなど社会問題となっている課題に、家庭はもちろん、学校、地域、行政が一丸となって取り組むべきだと思います。学力が全国でトップレベルは素晴らしい事ですがそれ以上に大事なことがあることを忘れないでほしいです。
- ・ 小学校の親子レクが毎年あるのですが、みんな嫌々参加しているのになんで強制的にやらなければいけないのか？せっかくの休みは家族で出掛けたいのにめんどうという意見ばかりなのに…。やらなくてもいいと思います。企画する人たちもめんどうくさいと言っているのにわざわざやる意味ないと思います。
- ・ P T Aの活動について、無関心な人が多く、参加者はいつも同じ。参加する時間があってもしない人が多い。
- ・ 挨拶ができない子供達が多いです。挨拶が基本だと思います。秋田市と潟上市では、英語、パソコンの授業の時間の差があると聞きました。潟上市の子供達にもっと英語、パソコンの授業を増してほしいです。
- ・ 信頼できる教員とそうでない教員の差が大きい。年度末の異動で学校の雰囲気がとても変わってしまう。教員のいじめのニュースが話題になっているが教師に対する不信感がある。（尊敬する先生にも出会ってきましたが全体で考えると極数人）
- ・ 共働きで子どもの勉強を見て上げられない事多くなっています。学校の先生や児童館の先生たちに感謝しております。
- ・ 少子化、子育て支援を進めるのなら、児童館月額3,000円は高い。時間によって年間800円の差が大きすぎると思います。体育着も成長期で買換多い、汚れて買い換えするときに着上下も高すぎると思います。ユニクロ、しまむらで無地に学校公証ワッペンつける等もっと安くすむ方法あると思います。
- ・ 小さい子供、小学生（特に高学年）が遊ぶ場所が無くて困っている。公園といっても高学年は気を使って思い切り遊べない。プールはないし。②地域の人と仲良くと言われますが、何の意味があるのか教えて欲しい。今まで仲良くして（お付き合いをして）良かった事が一度も無い。助けてもらった事もないし、地域の人と仲良くする（ふれあう）必要は無いと考える。家が近いというだけで町内会でつきあわないといけないなんて、意味不明。
- ・ 遊ぶ場所が少ないのが残念です。近場に思いきり体を使ったりできる場所があれば、室内でゲームをするより、外で一緒にコミュニケーションをとる時間が増えるのになと思っています。

- ・子は親を見て育つ。年々それを感じるようになりました。子は一人の人間として見て、正しい方へ導いたり、一緒に悩んだり。親の責任は大きいと考えています。自分自身も子供のおかげで成長させてもらっている事を忘れずに過ごしていきたいと思っています。私が小さい頃の時と比べると、子供が社会に出てからも役に立つイベントが増えてきていると思います。子供たちのためにこれからも色々なイベントを望みます。
- ・子どもがもっと自由に遊べる広場が欲しい。
- ・日頃、子供との時間をもっととりたいと思っているが、家事に追われ、時間が無い。学校の振替休日が平日に多く、一人で留守番させる時間が増え、母子共に不安である。児童館の利用を6年生までにして欲しい。（祖父母もいなく、優先順位を考えていただきたい）子供が一人でいる時間がどんな事につながるか考えていただきたい。早急に対応お願いします。
- ・学校の先生と話す機会がもっとあっても良いと思います。担任以外の先生がよくわからないときがあるので、学校全体で話せると安心します。
- ・小学生の放課後児童クラブ（大館市）の利用が学校によっては3年生までとなっていますが、6年生まで利用できるようにして欲しいと思います。その方が保護者も安心して仕事ができます。
- ・休日・長期休みの際の宿題の量が多い感じがします。毎日勉強する力がつきますが、休みの日くらいは家族と出かけたりゆっくり過ごす日があってもいいと思う。出かけた後、勉強に追われている。
- ・今年度から学校のカリキュラムが増えた事で、遠足等の行事が削減されている状況から、子供たちの地域社会とのふれあい、勉強以外での貴重な体験活動が減っている事を危惧している。
- ・子供たちのスポーツ活動を通して、親同士のトラブルなど経験した事があり、とても苦痛に感じました。
- ・大人が考えすぎたり、工夫しすぎたりしてしまい、逆に子供が自ら考えたり、工夫したりできなくなってしまった。
- ・子供が遊ぶ遊具がなくなっているのが不満。危険だという理由もわかるけれど、危険だからこそ回避する能力もつけなければいけないと思う。外遊びがますますつまらなくなっているように思える。（すみません。対象年齢は小学生以下の意見でした。）

- ・北秋田市のコムコムや鹿角市のような設備が大館市にも早くできると良い。
- ・両親が共働きで時間に追われる生活。子どもは子どもで、毎日6時間目まで授業をし、その後部活動で遅い帰宅。でも授業の進み具合やコマ数が多かったり少なかったりするせいか、家庭での課題もある。この状況で、親子でゆっくりと将来についてや日頃考えている事話し合えるはずも無い。学校の先生はとても頑張ってくれていると思うけど、つらそうなのも感じる。道徳が教科科目となっても授業のコマ数は変わらない。昔のように、土曜日でも半日でも授業があれば、何か変わるのかな・・・と思う事がよくある。
- ・学校では地域の方とのつながりを大切にし、地域の方から様々な事を学んだり、学校生活の中でも様々な経験の場を作り活動したりする機会を多く持ってくれていると感じます。反面、子どもの数が少なく、友達との関わりがうすく、決まった関係性の中で中学校までを過ごしているため、他地域の子供と関わる機会があると良いと思います。
- ・学校や部活、その他の活動を頑張るのを応援し、家ではゆっくり休めるよう安住の場所でありたいと思っています。宿題などやらなければならない事ではあるのですが、やりなさいと強く言わずに、自分から進んでやる方向にもっていきたいため、なかなかうまくいきません。一緒にやって上げる時間も難しいので、見守っていますが悩みます。
- ・子どもはのびのびと遊び、親は過保護になりすぎないようにしたいと思う。自分でよく考えて行動できる大人になれるようにサポートできたらいいと思う。
- ・子どもと楽しく気軽に遊びに行ける場がもっと欲しい。例えば、横手市のふるさと村のワンダーキャスルの規模程のもの。また料金についても、付き添いの大人料金も無償だとありがたい。
- ・家庭学習を見て、一緒に考えられる時とできない時がある。理由は仕事での帰宅時間が遅くなり、夕食、風呂、就寝とドタバタと進めないといけないから。また、自分に余裕がない事が多いから。学年が進級していくにつれ新しい授業（プログラミング等）が入ってきます。家庭で教えられる親がいれば、復習もでき面白さもわかると思うが、本当に必要な授業なのかと考える。先生方も覚えなきゃならない内容と思うので、先生方の年代によって苦痛なのでは・・・と。それらを覚える時間より、今の生徒たちと話したりできる時間が多い方が、子どもたちも楽しいのではと感じる。
- ・子どもの時間を作れるようにして欲しい。

- ・管轄外かもしれませんが、先日の保育料無償化がありましたが、秋田市は給食費免除にならない等不満があります。今後そのことだけにとどまらず、良くなりますよう、よろしくお願いいたします。
- ・保育現場の実情を知るべき。先生たちはすごく頑張っているが、地位や給与面など報われていない部分も多々あると思う。
- ・子供が外内で遊べる施設を作って欲しい。公園は不審者の情報が多く安全では無い。
- ・休日に子どもと一緒に参加できるイベントを増やしてほしい。またはそういう情報発信を活発にして欲しい。
- ・保育園、幼稚園、学校など、先生の数を増加し、保育教育の充実を目指して欲しい。
- ・秋田の最低賃金を首都圏並みにする事。パート・アルバイトの充実を頑張って欲しい。
- ・幼稚園は夏休み、冬休みの預かり保育でも。バス通園があれば、就業しやすいと思います。
- ・一緒に過ごす時間を増やしたい、という思いと、実際の生活にギャップを感じる事は多々あります。子供たちだけで過ごす時間も多いので、そんなとき、子供たちが気軽に集まれる場所があれば家を空けている時間も安心です。（総合的な児童施設、遊びや学習）
- ・家庭では、今しかできない（子供のうちに）体験をいっぱいさせて上げたいと思っています。そして学校以外にも自分の居場所作りができれば良いと思っています。残念な事は、子供の数が少ないせいなのか、スポ少（部活）の種類が少ないのでかわいそうだと感じました。しかし、一人一人よく見てもらい、手厚い教育をしてもらっているのがありがたいです。
- ・学校の勉強だけでは上級の学校に進学しづらい現実。塾や家庭教師等、家庭の事情で通わせられないこともある。格差が出るのではないか。
- ・私自身も、インターネットの普及でとまどうことも多かったが、いろんな面で浸透してきたので、自身もいろんな事を吸収していける手段となってきた気がします。
- ・学校納金の少額や児童手当を高卒までにするなど、親の負担を減らしてほしい。親は支払いの為仕事をして子どもとのコミュニケーションが図れない。

- ・家からそんなに遠くない高校に通学させていますが、バスが廃止になり雨の日や冬期間の通学がたいへんです。毎日のお弁当も働く親にはかなりの負担です。部活動の親の会など、もう少し負担を軽くできたらなあとは日々疲れがとれない母です。
- ・働き方が多様化し、親が仕事と家庭を両立させるのに十分な時間をとれてないと思う。本来、家庭で行われるべきしつけや生活習慣を、親がイライラせず、教えられる社会環境が整うといいと思う。
- ・小学校1年生から家庭学習は難しい。同じような内容ばかりになってしまいがち。1～2年生はいろいろな内容のプリントを宿題として出してもらい、家での勉強を習慣づけ、3年生頃からノートに自由に家庭学習とかにしてほしい。
- ・他県のことは不知のため比較できませんが、秋田の行政が発行する広報、学習関係の企画イベントは充実していると思います。
- ・家庭教育は全て家庭で責任をもって行うべきである。学校への過度な要望は慎むべき。学校現場は多忙極まりない状況であることを社会全体で理解すべきである。
- ・学校等でおこるいじめは、加害者側の親のしつけにも言及するべきだと思う。個性という言葉をはきちがえて、公共の場で騒いでも注意しない。(子どもが)自分中心で育ってしまうから、我慢することも、相手の気持ちを量ることも、むずかしくなってしまうのではないかと考えている。ある程度の不自由さは必要です。
- ・日頃から会話などでのコミュニケーションを大切にしたいと考えています。
- ・他人(子ども)に関わりにくい、関われない世の中が非常に悲しく思います(秋田でも)。地方は都会と違い、郷土に根付いた人と人とのつながりのある暮らしに戻りたい。
- ・PTAの役(小・中)がとても大変だった。PTAがなければ子育てがもっと楽しめた。部活も、スポーツを楽しむを通り越して、親が大変です。体を動かして楽しむということを、もう一度考えてもいいのでは？と思うことがありました(兄の時)。
- ・秋田県は子どもの数が少ないと言われている割に、子どもをもっと喜ばせよう、楽しませようとする思いがあまり無いのではないかなと思う。もっと楽しませる場(施設)を増やす、有名人をもっと呼ぶなど工夫してほしい。
- ・教育にはお金がかかりすぎる。お金がない家は子どものやりたいことをやらせてあげられない。

- ・高校野球を見に行く親は有料で年寄りは無料。無料でくる年寄りはヤジが多く問題になっている。改めて欲しいと思う。
- ・祖父母との同居は、それだけで考えること考えなければならないことがあり、「考えることができる」得がありますが、それに伴う義兄弟家族との不仲な関係があるとストレスになる。同居している家族への出て行った家族の付き合い方をどこかで教えて欲しい。お互い様ではすまされない程度になると同居の上に大きなストレスがかかり、子どもにもよくない。
- ・中1・中3・高2の3人の子育ては、毎日あっという間に過ぎていきます。自分の子育てが良いのか悪いのか、日々自問自答です。自信がなくなる日もありますが、毎日が私にとって勉強だと思いながら頑張っています。まわりのいろんな人から助けてもらいながら子育てをしていければ、家庭教育に不安はなくなるかもしれません。優しい心で、子どもやまわりの人に接する気持ちを大切にしていきたいと思っています。
- ・部活動の時間の練習日と休みのメリハリをもっときちんとつけてほしい。
- ・少子高齢化の進行が、秋田県は急速に進んでいる。その結果、経済的格差が人口の多い首都圏と広がっている。学力レベルがある程度まで維持可能でも、大学進学後、秋田に就職する企業がなく、労働人口の空洞化が更に進んでいくのは必然な状態である。官民併せてもっと真剣に考えていかなければならない。
- ・子どもの心に寄り添って育てていくためには、正しく子どもとかかわること、心の発達等の学びが親となる人には必要だと思います。夫婦になるということ、家族とは…という勉強もこれから大人になる人たちにも必要だと思います。
- ・保護者の意識が低い方が多くなったと感じます。親が親というよりは子どもと同等で、考え方が幼い、自分勝手に自分の都合で行動している方を、PTA活動でも見かけます。親の意識の底上げするための支援を要望します。
- ・学校の宿題が多すぎて、夏休みや冬休み「休み」だと思えない。家族そろって旅行などすると前後に宿題に追われる。思い出より日々に追われ、疲れる。自由研究や工作など必要か？子供らしく、遊んで学ぶ事も必要と強く感じる。
- ・習い事をする場も増やしてほしい。仕事をしながら能代まで習い事につれていくのは難しいため。それが園で簡単な勉強を取り入れてほしい。
- ・GWなどの大型連休の際、何日かでも、園に預けたい。仕事が休めず困っている。

- ・となり近所の関係が薄れている時代。子育てを一緒にする仲間を見つけるのに、苦労しています。昔は祖母や近所のおばあちゃんとか、女の人達と一緒に子供を見ていたのですが…今は子ども園や、車を走らせて友人のところへ行く、遠いけど実家へ行くことで成り立っている私の子育てです。要望としては、1つ、学校給食の食材について。子供が口にする、体の中に入れてそれを栄養として体も心も出来ているので、もっといいもの（できればオーガニックの食材）を選んで欲しいです。それから、牛乳は、100害あって1利なしと言われる程、全国の学校給食でも見直されてきています。カルシウムはマグネシウムと1対1で吸収しないと、骨に吸収されないと言われていきます。しかも、摂りすぎたカルシウムは血液や血管などに残り悪影響をおよぼすそうです。成長ホルモンにも影響したり… 高熱消毒することで栄養化もさがってしまいます。牛さんがガンにならない為に抗生物質を打っているとも聞きます。なので、牛乳は学校給食から無くして欲しいと思っています。和食がベースの献立てが良いのではないかと思います。八峰町山本郡の地産の食べ物を沢山使った給食！子供たちがもっと元気になると思います！
- ・子どもの興味事項を一緒に掘り下げたいと思うが、学校から課される宿題が多くて時間が取れない。
- ・学校で取り組んでいる地域交流やあいさつ運動は、子供達にとって、とても良い事だと思っています。身近な施設や地域のイベントへ参加、訪問により、地域の人々に顔を覚えてもらおうと、登下校または遊びに行った場合、安心して送り出せる気がします。
- ・子供と楽しんだりするイベントが平日が多い。色々なイベントを平日や休日、土曜日の夕方～のものなどが増えるといいなあと思う。無料で育児やしつけの相談できる場所や人がいればいいと思う。1～2時間の低料金での一時保育を増やしてほしい。
- ・子供と一緒に遊べる施設が少ない事が残念だなと思います。
- ・共働きで女性も働き、家事・育事、PTA(役員)活動・部活(スポ少化)・習い事など、毎日目まぐるしく過ぎていきます。先生方の負担軽減も分かりますが、親の負担軽減も考えてほしいです。児童生徒数が減っているのに、先生方の負担が増えているのはなぜでしょうか。
- ・休日の宿題が多く、家族で出かけるためにやらなくちゃいけないようになっている感じがしています。特に夏休みや長期休日は、日数分きっちり宿題が出され、勉強が苦手な我が子には大変です。夏休みなどは子供にたくさん遊んでほしいと思っているので、宿題などいらないと思うのですが…

- ・ どうしてこんなに大変なんだろう？と思っていても、みんなこんなもんかと、自分の子供が発達障害や知的障害なのを気づかないまま悩んでいる親がいると思う。健診や園など、小さいうちに気づき、特徴に合った対処だったり声かけなど、詳しく教えてくれる、サポートしてくれる専門知識のある方が身近にいて、相談したりできる環境をつくってほしい。それに伴って、みんなが、もっと、発達障害や知的障害等、見た目ではわかりづらい特徴をもっている人に対して、理解を深められるような講演だったり、話し合いができる環境づくりをしてどんな人でも認め合える社会になれば、どんなに幸せだろう！と思う。
- ・ 私はシングルマザーですが、分かれた主人の両親と同居をしています。そのおかげで、フルタイムで仕事も出来るので感謝していますが、仕事で遅くなると、帰宅が21時になる時もあり、子供との平日の時間がほとんどとれません。勉強も見れません。こういう時の同じ環境のママ達の交流の場があればうれしいです。
- ・ 家庭に学校、スポーツと三拍子のくり返して、自分の家以外に泊まる事がないため、他の家がどのように過ごしているのか分からないので、ちょっとわがままな面があります。学校でのお泊まりがとてもしげきになったみたいで、またあれば良いと言っていました。
- ・ 放課後の活動できる場所を増やしてほしい。学童だけじゃなくて、井川にも放課後デイサービスなどがあると、長期の休日なども安心して働ける。
- ・ 学校の役員など子供の行事以外の学校の活動に協力しようとしらない人が学年が下がるとともに増えている。同じ親としてもっと頑張してほしい。
- ・ 子どもが外で遊んだりする時間があまりない。休日は、土、日どちらか必ず部活動が入っている為、旅行や、遠くにでかけたりすることがむずかしい。子どもが休める時間が足りない。
- ・ とにかく、子供の数が少なく、遊びや社会性がなかなか育たないことなど、どうにもならない現実がある。
- ・ 言葉づかいの悪い子、ワガママな子、意地の悪い子、すぐに人のせいにしたり悪口を言う子…など、相手を傷つけたり、周りにいる人を不快にさせる言動をとる子が増えているように思います。自分だけ良ければいいという考えでは、協調性も身につけません。相手を認め尊重し、思いやりの心をもって接することのできる子供に育ててほしいと日頃から教えています。学校の先生方はよく見てくれて指導してくださっています。

- ・いつもお世話になっていて、ありがたいです。
- ・子供たちのしつけをする側である親のモラルの低下を感じます。例えば、授業参観中、ずっと教室でしゃべっている親と、それを注意しない先生。あれは、ちょっとどうかと思ったりします。
- ・子供が無料で体を動かせる施設を作ってほしい。
- ・子供達の遊ぶ場所が少なくなっている。もっと場所を確保してほしい。室内、公園など。
- ・PTAでは、授業参観するものの、全体会や懇談には参加せずに帰宅することが当たり前のようになってきており、PTAの役員を同じ人が何度も引き受けなければならぬのが、とても残念に思う。我が子しか目に入らない親の意識の低さが、子どもの周囲の人的環境をよりよくしていきにくい原因ではないかと思う。
- ・生活習慣のあるべき姿の冊子、パンフレットのようなものがあれば配布して欲しい。
- ・長期休暇や連休中の学校からの課題や宿題が多すぎて家族と過ごす時間を十分もてない時があると思います。
- ・昔にくらべて自由に遊べる場所が少なくなったと思います。昔にくらべて先生への尊敬する感じがうすくなってきていると思います。
- ・共働きによる家族の時間の低下
- ・グラウンドゴルフ場は増えていますが、子供たちが遊べる場所がありません。
- ・まず、アンケートを強制的に書かされている事に違和感を感じます。昔とはちがうとよく言いますが、先生に怒られる事もへり、父親がげんこつをとばしたり、そんな昔の日常が今は虐待です。ただ育てにくい環境だと感じます。子供が悪い事をして先生が怒る。→先生から「しかってすみません」との電話や連絡がある。それはおかしいと思います。怒られて当然の事をしているのに、優しく受けとめるような今の教育環境に親がつかれます。
- ・行政から子供達が参加出来る行事の案内等配布されますが、なかなか参加まで至りません。行ってみたいと思うのですが、はじめての場所は不安に感じるの、電話等で問い合わせした時親切に対応してくれる方等がいてくれるとありがたいです。(以前つめたくされた事があったので…)

- ・スポーツ少年団のあり方について考えることがあります。それぞれの団の内部まで把握するのは難しいことと思いますが、親の関わり方、指導者の人間性、誰の為の団体なのか見失われている団もある様です（複数…）。例えば、試合のあと翌日学校にもかかわらず飲み会をひらく（飲まずとも夜遅くまでつれ回す）、頻度が尋常ではなかったり少なからず一部の大人の希望で行動されてる様なので、子供のイベントにかこつけているだけなのでは…。純粋にスポーツと関われる存在であってほしいと思います。
- ・不審者が多くなり、子どもは思うように行動できません。警察、学校等の見回りを強化していただきたい。
- ・地域とのかかわりが薄く、親の教育がとにかく悪い。あいさつをしないのが特にそれで地域の人からのあいさつにスルーするなどだ。学校で教えることではないので親の不出来がなげかわしい。子供がイヤなことはやらせない、努力させない親バカな所がとても多く、「うちの子は人みしりで一」といいながら面倒なことは子供にいわせない。子供が自立できないのは親のせいだと思う。宿題もわからないだけでやらないとかも問題だと思う。自分の子はまだ大丈夫だけど、ちゃんとしていけるか親がとなりで気かけ声、目をかけてあげるのがまず大事と思う。
- ・子供の事を大切に考えてくれている。地域、学校に感謝しております。
- ・スポ少の活動をもっとへらして地域の行事に参加させる環境にしてほしい。
- ・正直、私たち親が勉強をじっくり見て教える時間はほぼ取れません。見たい気持ちはあっても日常で精一杯。先生に頼り切っているのが現状。そして先生たちには、勉強の出来る子を中心に授業をすすめずに勉強が苦手な子にも力を入れて教えて欲しいと強く願います。
- ・世の中が物騒になったからなのか、挨拶をしない子供が増えたと思います。学校内で「イジメ」も無くならないのも事実。☆かたがみ広報に載るような「キャンプ」を実施して欲しいです。色々な体験が出来るものがあったら参加させたいです。
- ・息子が10歳の時、担任の先生に「少し甘えん坊ですね」と言われました。私はこう答えました。「生まれてまだ10年しか経ってません。あと10年かけて、大人に育てて行こうと思っています」と。きっと他のお母さんは、今日から甘えを直そうときびしく接してしまう方もいると思います。自分が産んで自分の子育てをしようと思っている人は少ないと思います。先生や行政の言葉というのは、子育てに不安を抱いている方にとっては影響が大きいと思うので、デリケートな対応をしていただきたいと思いました。

- ・私自身が親からいろいろ言われるのが嫌だったので、自分の子供にはあまりうるさく言っていません。親や祖父母のために頑張るのではなく、自分のために頑張ってほしいと伝えています。家族の仲も良好で、日々楽しく過ごしていますが、近所の人が子供の育て方についてうるさく言うてくる時があり、それが唯一のストレスです（見守り隊と呼ばれる人です）。
- ・部活動を選ぶ選択がほとんどない。PTAを強制にしないでほしいです。役員等を決めずにお手伝い出来る方は、お願いしますという横浜などのスタンスが良いです。負担が大きすぎて子育てがわずらわしいと今の世の中なってる考えは分かります。昔からの決まっている事！などは、時代遅れ。今の時代に合った新しい考え方で、負担を減らしてほしい。
- ・企業の雇い側は子育てに理解を示してくれるものの、もっと全体に浸透して欲しいと思う。肩身がせまい。苦しい。
- ・同居している義父・母と、しつけについてもめることがあります。「自分はこうしたい」と言う考え方、やり方、接し方、全てにおいて「間違ってる！！」と否定されるため、ストレスや不安が子供に伝わっていないか心配です。
- ・職場と児童館の距離があり、6時半までの迎えがギリギリです。7時までの延長もあれば…と思う時があります。（子供がいつも最後なのでかわいそうな気がします）
- ・メディアとの付き合い方を親子で考えていく必要があると思う。価値観が伝わりにくく、情報が氾濫し、偏った人間形成につながってしまうようなこともあるので。
- ・親自身が子供の成長と共に子離れできるよう、小さい時程密に過ごせる世の中であれば良いのにと感じている。小学校からのお知らせを見て世の中より遅れている価値感だと感じる事が度々ある。教育現場の人数を増員し、学校外（プライベートを特に）ですごす時間を増やしてほしい。一日中、一年中、学校内ですごさなくてはならない先生方の世界がもっと広がり充実しますように。
- ・共働きをしていると土日・祝日子供が休みでも、なかなか一緒に過ごす事が出来ない。平日も、家族皆がそろって過ごす事も少なく、もっと子供と一緒にあって地域地元に関する学習、体験ができればと思います。他家族や地域と交流を深めながら学べる体験学習会や意見交換できる場をもうける等）
- ・学校教育に対して不信感があります。教員の教育をもっとしてほしい。コンプライアンスが大切なのは分かりますが、発言に子どもに対しての理解が感じられない。

- ・ 仕事が忙しく、平日に子供と一緒にいられる時間が少ないですが、その中でのコミュニケーションの取り方が本当に大事だと思います。祖母（息子にとっての）とも一緒に暮らしていますが、家庭での役割を分担できているからこそ、ゆとりをもってやれています。私自身、母親教室に祖母も連れて行き、今の子育ての仕方を一緒に学んでもらったりもしました。母親教室への参加などは、子育てに関わる人と誰でもが参加できるようにしてもいいのかなと思います。
- ・ 自分達の時とは違い、毎日の宿題や勉強のすすみ具合の早さが、子供にとっては少々きびしい所もあるのかな～と感じます。家庭での団らんの時間を取りたいが、宿題や音読等によって、減っているのではないか？と思う時があります。
- ・ 主体は子ども自身であるのが大前提であり、自ら考え・判断・決断していけるよう下地を育てていけるようにしたいと考えている。行政等には子どもがやりたい事や夢ができた時に、あるいはできるように受け入れられる環境を多く用意してほしい。
- ・ 私や主人が一生懸命働いている姿を、子どもに見てもらえると嬉しいです。「お父さんやお母さんはこんなに頑張ってるんだな！僕も頑張ろう…」そう思ってもらえたら、それが一番の教育になるような気がします。
- ・ 子どもたちが遊べる室内遊び場を充実させてほしい。山形県にある大型室内遊び場を秋田県にもあればと思う。赤ちゃんが遊べるところがあるので、小学生が主に思いっきり遊べる場所があると助かります。放課後の学童施設、同じ地域に複数あり、一つはルールなどきちんとしているのに、もう一つはルールがあるが守られないという現状…。行政指導するなり、きちんとしていただきたい。環境が思わしくない為、離れた学童へ行っている状態です。
- ・ 日々多忙すぎて、時間も気持ちも余裕がありません。親が親らしく子どもと関わり、子育てができる時間的・金銭的余裕を確保してくれる県であってほしいです。
- ・ 子どもが3人いるが、感染症などの時は欠勤が続くため収入が減る（冬季になると有給がゼロになる）。保育園は特に感染症の時の登園基準が厳しいので、休まざるを得ない。子どもの事を考えるともちろん休ませたいが、例えば下痢の症状のみで元気がある時は、保育園別室でみてくれるように地方の保育室に看護師を増やす等すれば、働きやすくなるのではないか。
- ・ 少子化が進む中、運動会や町内行事など部落によって親の負担が違いすぎる。部活動に追われ、家庭での勉強ができない、しない。共働きが多い中、子どもの宿題まで親が付くのはどうなのか。先生がもう少し指導してくれると助かる。

- ・園や学校から教えられていること（発信されていること）が、子どもの本当の気持ちと矛盾していたりすると心配になる（園・学→明・楽・嬉 子→暗・悲・哀）。昨今、テレビでも学校や園の教育現場での問題が取り上げられているのを見ると、他人事ではないと感じています。先生方が手をあげないにしろ、どなっただけで暴言が多く、嫌な思いをしている子どもたちがたくさんいることを聞きます（特に学校。支度の遅い子に”ビリ”と言ったりケンカしている子どもに”犬と猿”と言ったり・・・）。こういうアンケートが学校からも来ますが、無記名などではないので、その壁を崩して「本音」を調査できるようにしていただけたらもっと変わっていきえると思います。
- ・父子家庭という事があり、例えば家事をしている間、普通ならば父、母がそろってできる遊びの時間など、どうしてもたくさんとれていないような気がして、さみしい思いをさせているのでは、と悩む事があります。日曜や祝日でも、子どもを預けれるような所が、近場にあればいいなと思います。
- ・インターネット、SNSはとても便利で利用していますが、人との付き合いなど、それだけに頼らず、直接口で伝えることを大切にしてほしいと思っています。
- ・片親家庭にとって、高校・大学に入れてあげることには大変な事です。より安心して働き、就学していける子育て家庭に温かい市・県・日本になってほしいです。
- ・中学2年と高校1年の男の子どもがいますが、スマホ・タブレット・プレイステーション等のゲームを一日中（休日）見る時間が長くなってしまい困っています。家庭によっては小学校からスマホを持たせる人もいるので、うちでは持っていませんが（スマホ）これで良いのかといつも考えさせられます。毎日のようにメディアの使用時間を注意するのがいやになります。
- ・生活の中で自然に身につくことが、身につけていないな—と感じることが多いです。親が教えれば良いことなのですが、祖父母や地域の方から自然に学べる環境は良かったと思います。今、小中学校では地域との関わりを大事にした教育をしてくれているので、とてもいいことだと思っています。

付 録

令和元年度 「家庭教育に関する調査」

グラフでみる 秋田の家庭教育

子育てについて、次のように思うことはありますか？

我慢することが
たくさんある！

思う・やや思う
66%

わからないことが
たくさんある！

思う・やや思う
59%

楽しく子育てが
できる！

思う・やや思う
87%

生きがいをもって
子育てができる！

思う・やや思う
85%

※ 詳しくは2Pで！

このリーフレットは、秋田県教育委員会が令和元年度に実施した「家庭教育に関する調査」の集計結果について、平成24年度に実施した前回調査と比較しながら紹介するものです。

家庭を取り巻く環境の変化にともない指摘されるようになった家庭の教育力低下の現状、身近になったメディアやインターネット対策、父親の子育て参加といった現代的な課題も踏まえ、幼児期から思春期までの家庭教育の状況や保護者の意識や実態等について紹介しています。

秋田県教育委員会

1 調査の目的

家庭を取り巻く環境の変化にともない、家庭の教育力低下等が指摘される現状や、メディア対策、父親の子育て参加といった現代的課題も踏まえ、幼児期から思春期までの家庭教育の状況や、保護者の意識や実態を把握する。

2 調査時期

令和元年10月18日（金）から11月7日（木）まで

3 調査の対象および内容

県内の幼稚園・保育所及び認定こども園、小学校、中学校、高等学校の4歳、7歳、10歳、13歳、16歳にあたる幼児・児童・生徒の保護者に対して、家庭教育に関する意識・実態を調査した。

(1) 調査対象者内訳

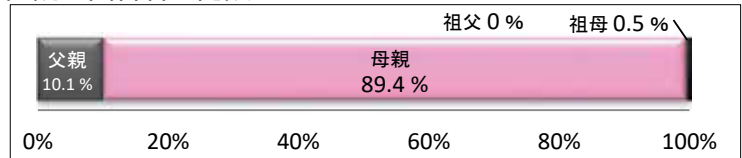
年齢	調査数	回答者数
4歳	195人	160人
7歳	209人	185人
10歳	200人	193人
13歳	176人	166人
16歳	210人	141人
計	990人	845人

※H24回答者数1,070人

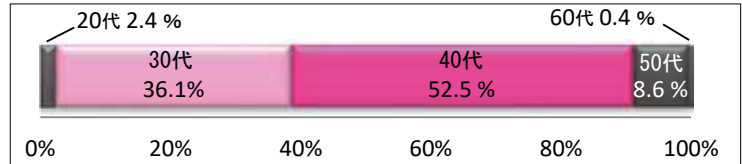
(2) 回答率

85.4%

(3) 調査回答者の内訳

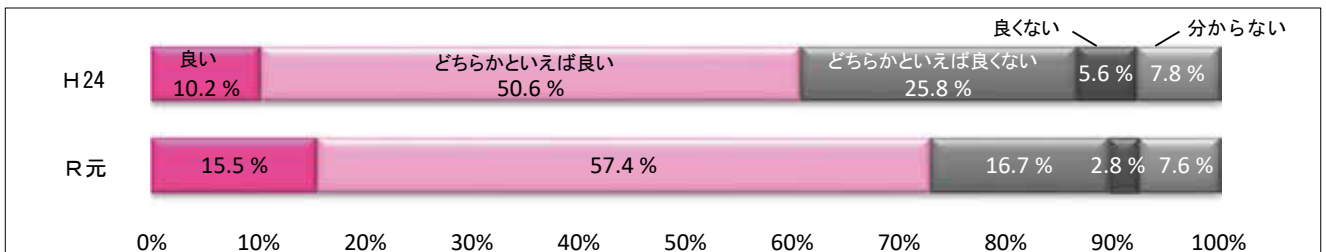


(4) 調査回答者の年齢



4 主な調査結果とコメント (pt = ポイント)

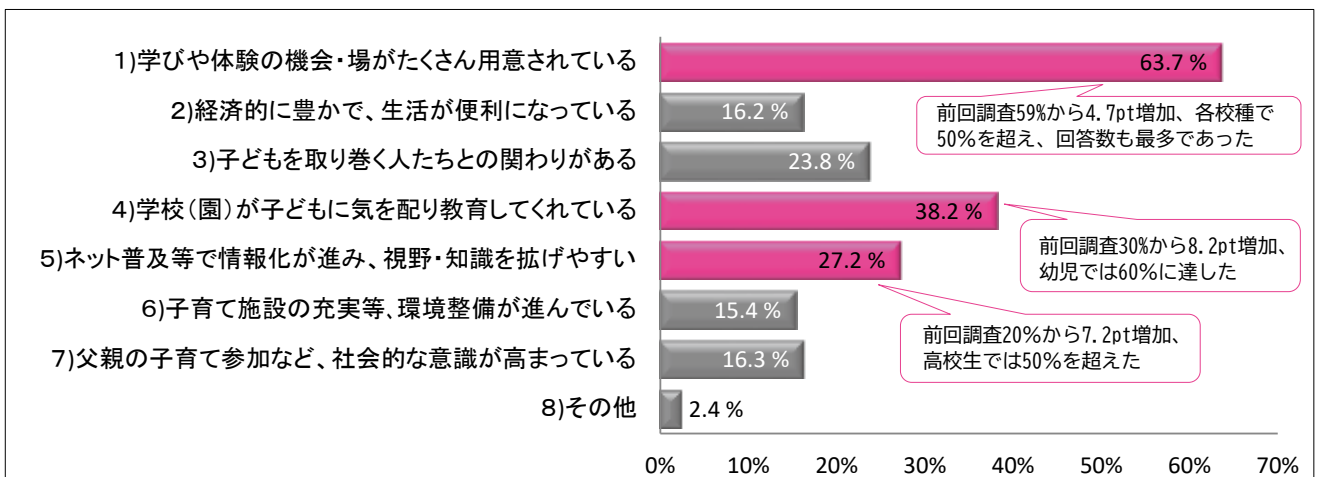
問1-1 あなたは現在の子どもを取り巻く環境について、総合的に見てどのように感じますか。



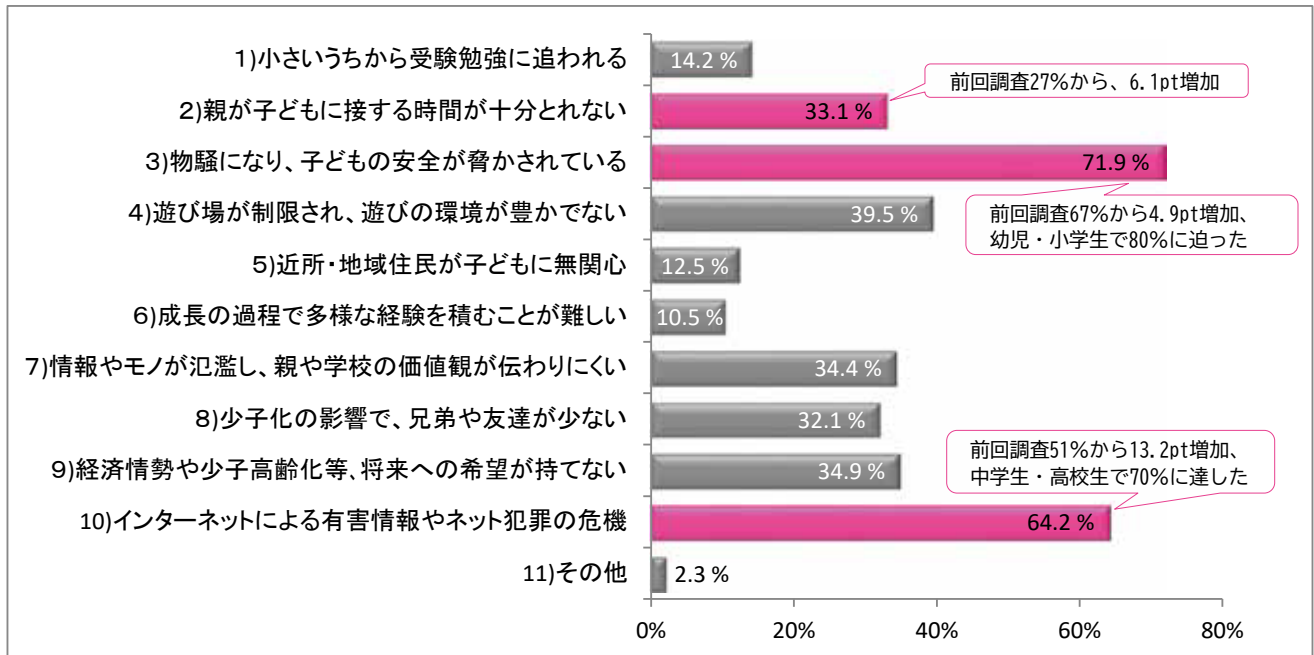
「良い」「どちらかといえば良い」と答えた割合 【H24】60.7% → 【R元】73.0%

★「子どもを取り巻く環境」を肯定的に捉える保護者が大幅に増加している。

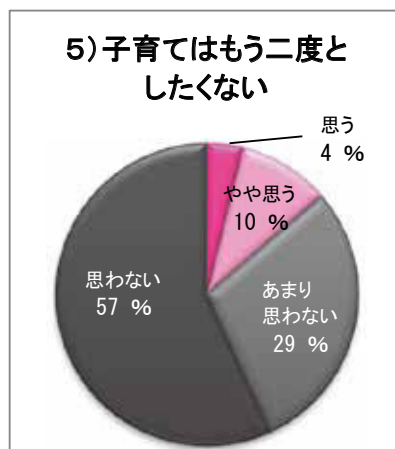
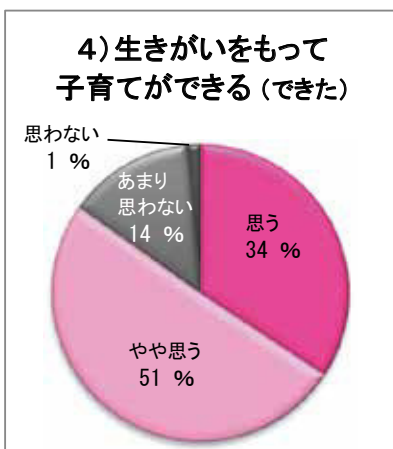
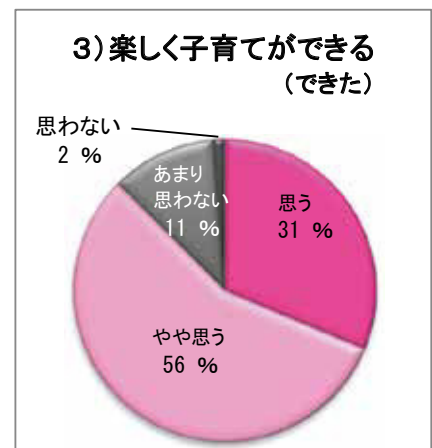
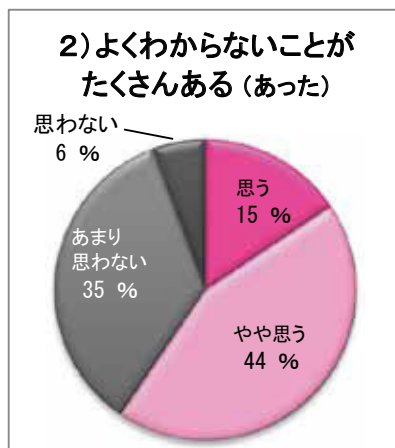
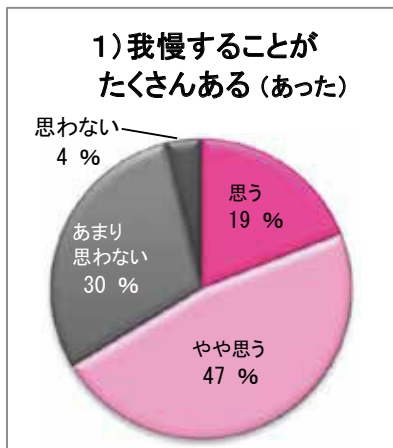
問1-2 子どもを取り巻く環境が「良い」理由（複数回答）



問1-3 子どもを取り巻く環境が「良くない」理由（複数回答）



問2 あなたご自身の子育てについて、次のように思うことはありますか（ありましたか）。



★「思う・やや思う」の割合に、大きな変化はなかった。

1) 我慢することがある

【H24】60% → 【R元】66%

2) よくわからないことがたくさんある

【H24】58% → 【R元】59%

3) 楽しく子育てができる

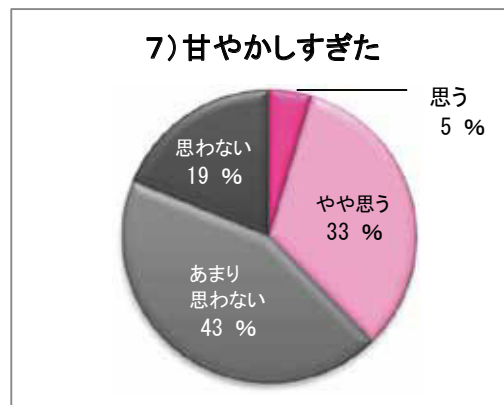
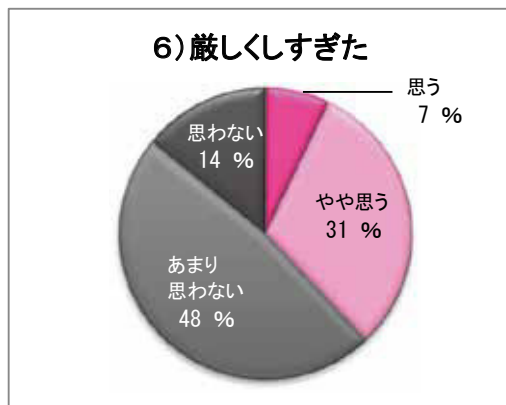
【H24】87% → 【R元】87%

4) 生きがいをもって子育てができる

【H24】84% → 【R元】85%

5) 子育てはもう二度としたくない

【H24】15% → 【R元】14%

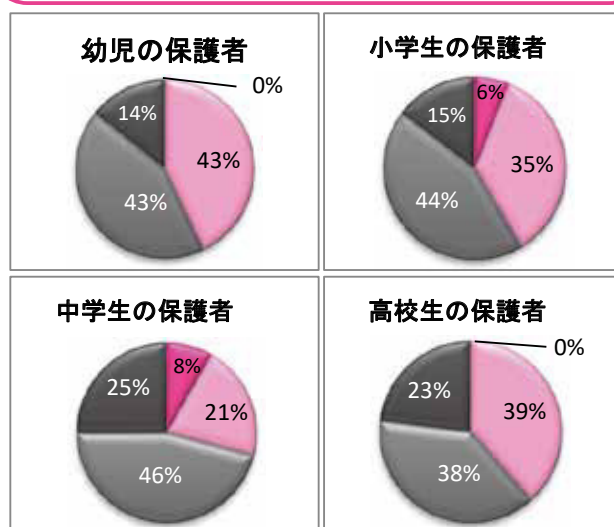
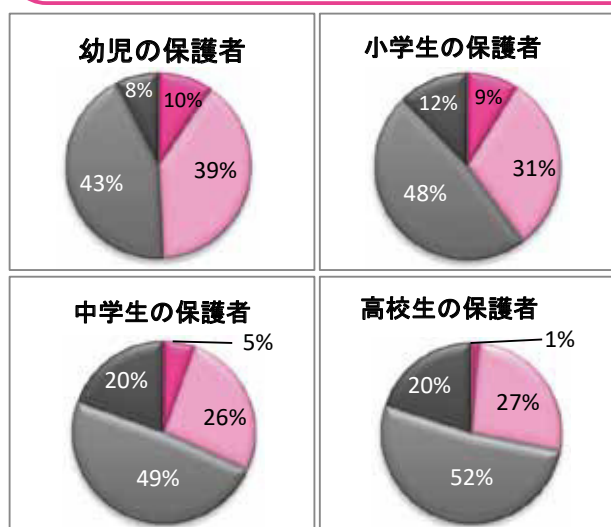


「6) 厳しくしすぎた」について・・・「思う」「やや思う」が増加
【H24】34% → 【R元】38%

★「厳しくしすぎた」と感じている保護者の割合は、幼児がもっとも高く、前回調査から5pt増加して49%となった。高校では変化なく28%であった。

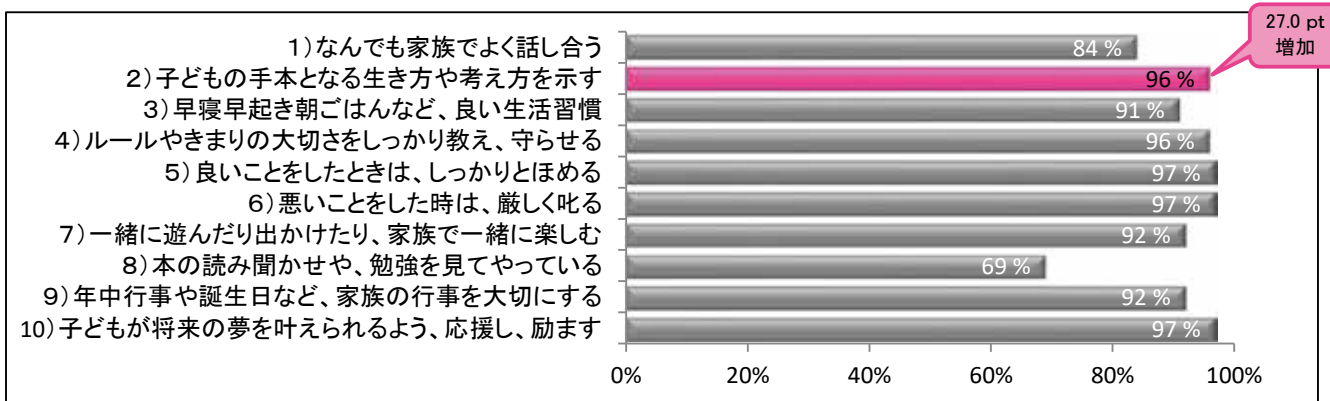
「7) 甘やかしすぎた」について・・・「思う」「やや思う」が減少
【H24】44% → 【R元】38%

★「甘やかしすぎた」と感じている保護者の割合は、中学生で17pt減少して29%、高校生で8pt減少して39%となった。
★幼児43%・小学生41%は、大きく変化していない。



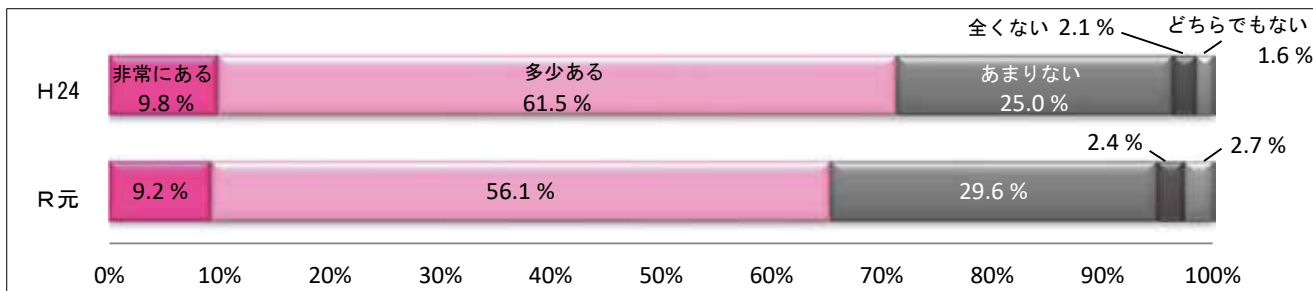
問3 あなたご自身の子育てについて、力を入れている（入れてきた）と思うことがありますか。

★「思う」「やや思う」と答えた保護者の割合



★前回調査と同様、どの項目も概ね高い割合で、自らがやっている（きた）子育てを肯定的に捉えている。
★多くの項目においてほぼ変化がなかった中で、「2) 子どもの手本となる生き方や考え方を示す」については、69%から27ptの増加が見られた。保護者の生き方・考え方を重視する傾向が見られる。

問4-1 あなたは家庭での教育（しつけ等）について、悩みや不安がありますか。

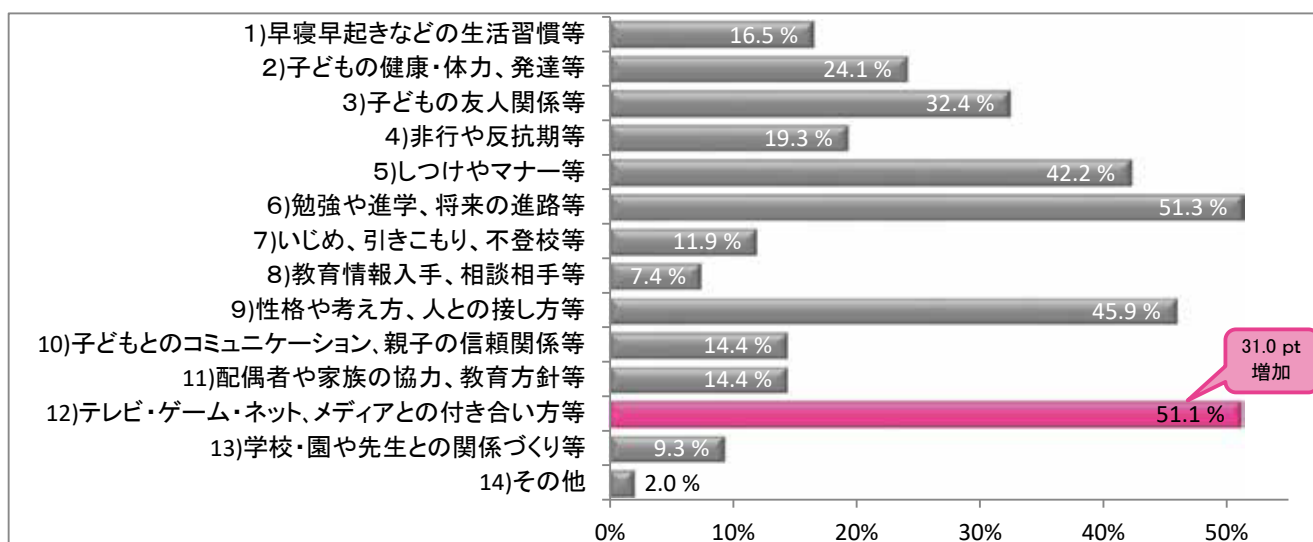


「非常にある」「多少ある」と回答した保護者

【H24】71.3% → 【R元】65.3%

★減少してはいるが、前回調査同様、多くの保護者が悩みや不安を抱えていることが分かる。

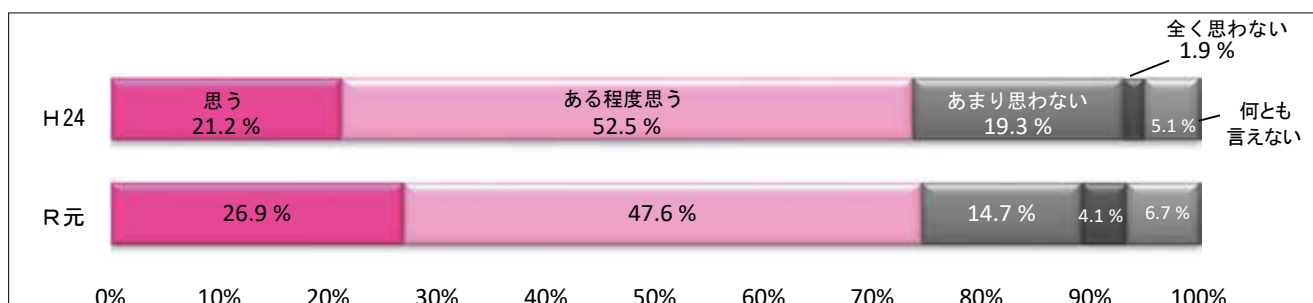
問4-2 どのような悩みや不安がありますか(複数回答)



★「12) テレビ・ゲーム・ネット、メディアとの付き合い方等」に悩みや不安がある保護者が、前回調査の20.1%から31pt増加して51.1%に達した。

★その他の項目には、ほとんど変化が見られない。

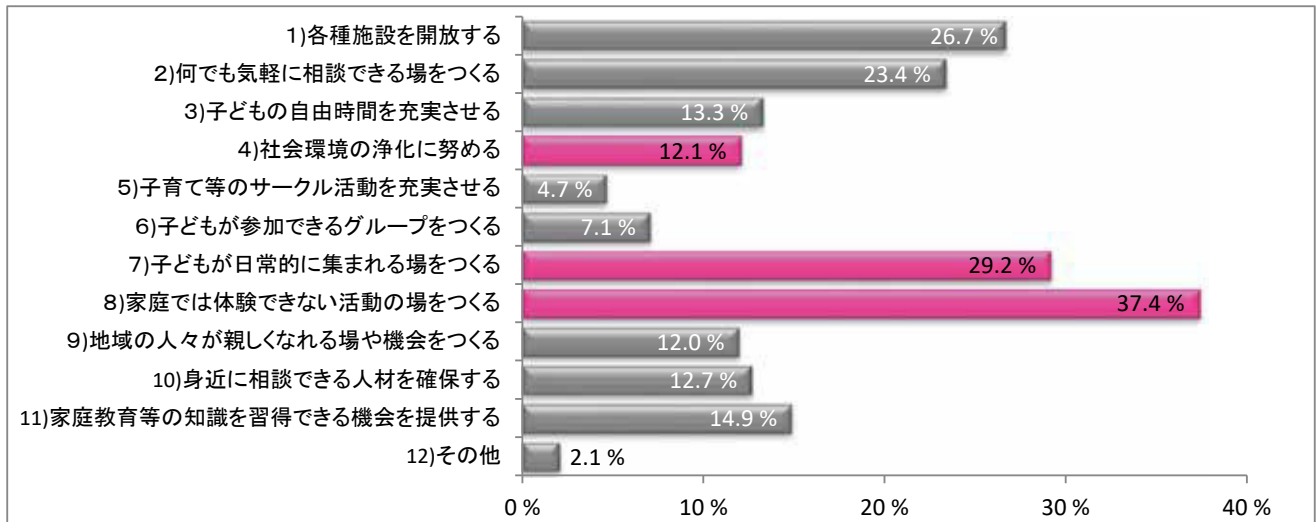
問5-1 家庭教育について行政の支援は必要だと思いますか。



★「思う」「ある程度思う」と答えた保護者の割合はほぼ変わらないが、「思う」と答えた保護者の割合は5.7pt増加していて、行政の支援を強く望む傾向が高まっている。

★「思う」「ある程度思う」の回答が唯一減少したのは、幼児の保護者で、前回調査の88%から8pt減少し、80%であった。

問5-2 家庭教育にどのような支援が必要だと思いますか。(複数回答)



「家庭教育にどのような支援が必要か」

★前回調査から変化が目立った項目は次のとおり。

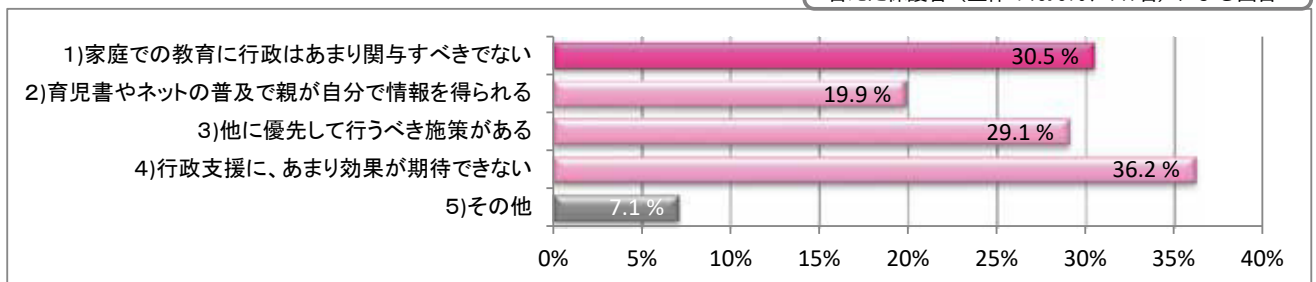
「4」社会環境の浄化に努める	3.7pt減少	【H24】15.8%	→【R元】12.1%
「7」子どもが日常的に集まれる場をつくる	3.5pt増加	【H24】25.7%	→【R元】29.2%
「8」家庭では体験できない活動の場をつくる	4.0pt増加	【H24】33.4%	→【R元】37.4%

★校種別で、前回調査から変化が目立った項目は次のとおり。

幼児「5」子育て等のサークル活動を充実させる	5.2pt増加	【H24】5.4%	→【R元】10.6%
小学生「2」何でも気軽に相談できる場をつくる	5.7pt増加	【H24】20.8%	→【R元】26.5%
中学生「1」各種施設を開放する	4.8pt増加	【H24】19.3%	→【R元】24.1%
高校生「5」子育て等のサークル活動を充実させる	3.9pt減少	【H24】7.4%	→【R元】3.5%

問5-3 家庭教育に支援が必要ないと思う理由(複数回答)

問5-1で「あまり思わない」「全く思わない」と答えた保護者(全体の18.8%、141名)による回答



「家庭教育について支援が必要ないと思う理由」について

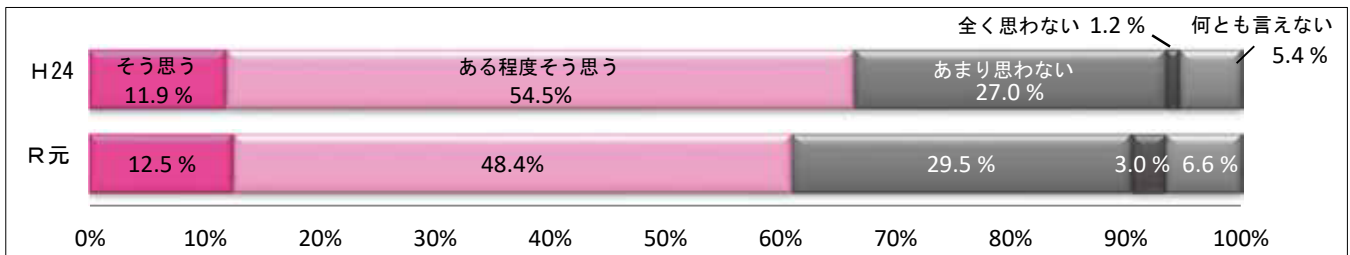
★前回調査より変化が目立った項目は次のとおり。

「2」育児書やネットの普及で親が自分で情報を得られる	8.4pt増加	【H24】11.5%	→【R元】19.9%
「3」他に優先すべき施策がある	6.8pt減少	【H24】35.9%	→【R元】29.1%
「4」行政支援に、あまり効果が期待できない	7.0pt減少	【H24】43.2%	→【R元】36.2%

★「1」家庭での教育に行政はあまり関与すべきでない」は、校種によって変化が分かれた。

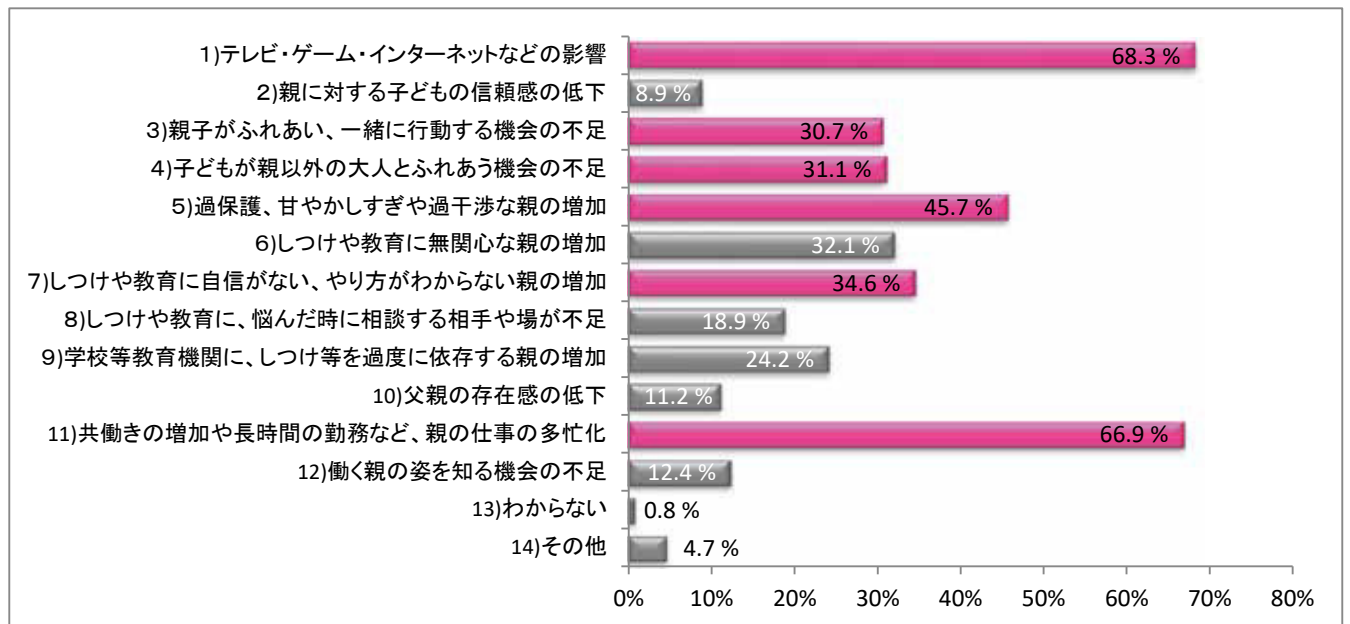
幼児	15.0pt増加	【H24】20.0%	→【R元】35.0%
小学生	0.7pt減少	【H24】31.9%	→【R元】31.2%
中学生	13.8pt減少	【H24】35.7%	→【R元】21.9%
高校生	18.9pt増加	【H24】17.1%	→【R元】36.0%

問6-1 「家庭の教育力が低下しているのではないか」という意見を、あなたはどのように思いますか。



★「そう思う」・「ある程度そう思う」と答えた保護者が、前回調査の66.4%から5.4pt減少して61.0%であった。校種別でみると、幼児の保護者の回答が特に顕著であり、64.2%から52.9%へ11.3pt減少している。

問6-2 家庭教育力低下の理由(複数回答)



★前回調査から大きく増加した項目は次のとおり。

「1) テレビ・ゲーム・インターネットなどの影響」	32.8 pt 増加	【H24】 35.5%	→ 【R元】 68.3%
「11) 共働き増加・長時間勤務等、親の仕事の多忙化」	30.7 pt 増加	【H24】 36.2%	→ 【R元】 66.9%
「7) 自信がない、やり方がわからない親の増加」	13.3 pt 増加	【H24】 21.3%	→ 【R元】 34.6%
「4) 子どもが親以外の大人とふれあう機会の不足」	13.2 pt 増加	【H24】 17.9%	→ 【R元】 31.1%
「5) 過保護、甘やかし、過干渉な親の増加」	12.2 pt 増加	【H24】 33.5%	→ 【R元】 45.7%
「3) 親子がふれあい、一緒に行動する機会の不足」	10.5 pt 増加	【H24】 20.2%	→ 【R元】 30.7%

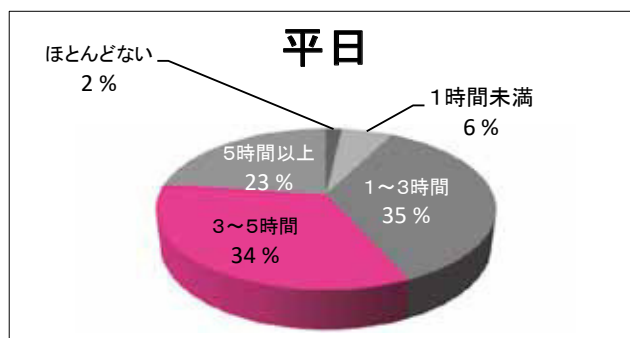
問7 あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから(誰から)得ていますか。

★主な情報入手先

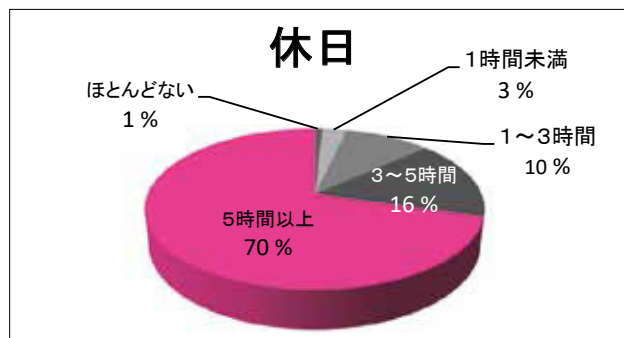
■「生活習慣」「挨拶・しつけ・マナー」...	祖父母・親族／夫や妻から
■「各種行政サービス」「遊び場・子育て施設等」...	友人・知人／広報紙・回覧板／インターネットから
■「相談窓口・サークル」「講座等学習機会」「親子参加イベント」...	広報紙・回覧板／学校(園)・教職員・PTAから
■「勉強・進学」「健康・体力・医療」...	学校(園)・教職員・PTA／友人・知人から
■「子どもとのコミュニケーション」...	友人・知人／夫や妻から

★「学校(園)・教職員・PTA」と「インターネット」が、全ての項目において、前回調査から大きく増加している。インターネットが身近な道具となってきたこと、学校(園)が情報発信としての役割を高めていることが分かる。

問8 子どもと一緒に過ごす時間はどれくらいですか。



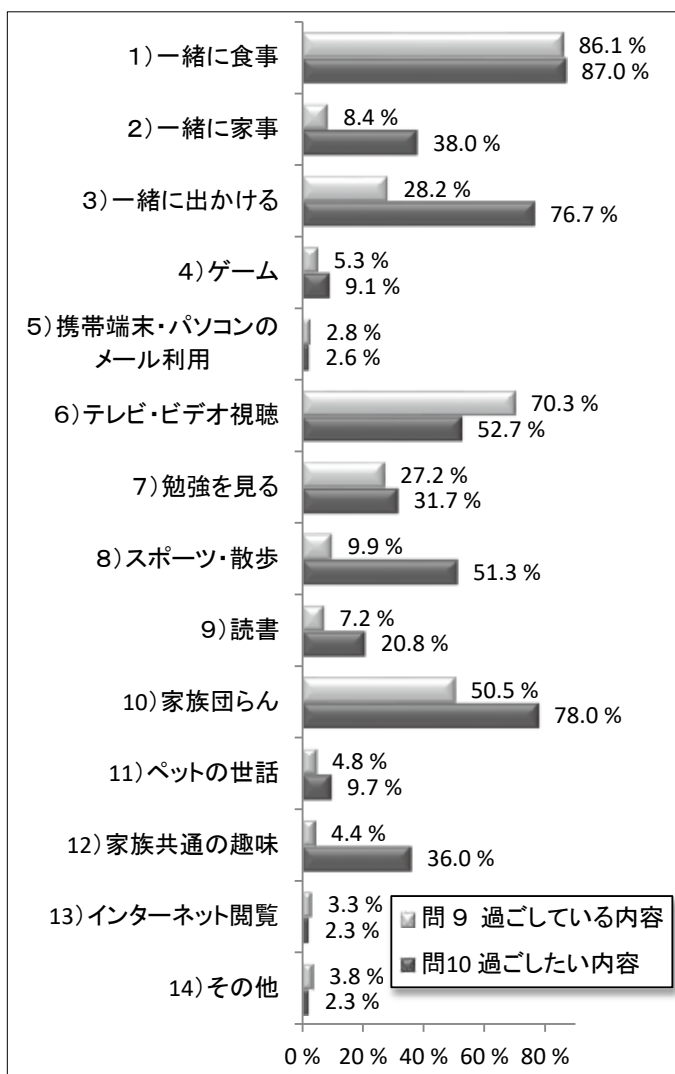
★「3～5時間」の割合がわずかながら増加して、それ以外の項目が少しずつ減少している。
★校種別では、「5時間以上」が幼児50.0%に対し、高校生4.4%と違いが顕著であった。



★「5時間以上」の割合がわずかながら増加して、それ以外の項目が少しずつ減少している。
★校種別では、「5時間以上」が幼児94.1%に対し、高校生32.0%と、違いが顕著であった。

問9 平日、子どもと一緒に過ごしている内容は主にどのようなことですか。（3つまで）

問10 子どもとのコミュニケーションのため、一緒に過ごしたい内容はどのようなことですか。（複数回答）



子どもとの過ごし方について…

「過ごしている内容」と「過ごしたい内容」を比較。
各項目の傾向は、前回調査とほぼ変わらなかった。

★「過ごしている内容」<「過ごしたい内容」

- 2)一緒に家事 8.4% < 38.0%
- 3)一緒に出かける 28.2% < 76.7%
- 8)スポーツ・散歩 9.9% < 51.3%
- 10)家族団らん 50.5% < 78.0%
- 12)共通の趣味 4.4% < 36.0%

※子どもと様々なことを通してコミュニケーションを図りたいという保護者の思いとは異なり、実際にはなかなかできていない様子がうかがえる。

★「過ごしている内容」>「過ごしたい内容」

- 6)テレビ・ビデオ視聴 70.3% > 52.7%

※テレビ・ビデオの視聴は実際よりも控えたいという保護者の思いがうかがえる。

★「過ごしている内容」「過ごしたい内容」いずれも高い

- 1)一緒に食事 86.1% ÷ 87.0%

※多くの家庭で、普段から子どもと一緒に食事をとることができていて、これからも、そうありたいと思っていることが分かる。

★校種による差が顕著だった項目

(過ごしている内容 / 過ごしたい内容)

- 6)テレビ・ビデオ視聴 幼 児 62.7% / 44.6%
高校生 78.5% / 62.8%
- 7)勉強を見る 小学生 43.1% / 45.6%
高校生 11.1% / 9.5%
- 8)スポーツ・散歩 幼 児 9.5% / 61.1%
高校生 6.7% / 34.3%
- 9)読書 幼 児 29.1% / 48.4%
高校生 0% / 2.2%

発行／秋田県教育委員会

問い合わせ先／秋田県生涯学習センター

〒010-0955 秋田県秋田市山王中島町1-1 TEL 018-865-1171 FAX 018-824-1799

E-mail sgcen002@mail2.pref.akita.jp URL https://www.pref.akita.lg.jp/lifelong/

令和2年3月発行